

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年9月28日

【中間会計期間】 2022年度中(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

【会社名】 スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト
(Svenska Handelsbanken AB (publ))

【代表者の役職氏名】 ヨハンナ・シュミット
(Johanna Schmidt)
シニア・ヴァイス・プレジデント
(Senior Vice President)
リーゼロッテ・エルフストランド
(Liselotte Elfstrand)
ヴァイス・プレジデント
(Vice President)

【本店の所在の場所】 スウェーデン王国 SE-106 70 ストックホルム クングストラッドゴード
シュガータン 2
(Kungsträdgårdsgatan 2, SE-106 70 Stockholm, Sweden)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1029

【事務連絡者氏名】 弁護士 佐藤 孝成
弁護士 森 真幸人
弁護士 瀬田 裕貴

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1623
03-6775-1679
03-6775-1747

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除いて、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、 スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトをいう。

「当行グループ」とは、 スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト及びその連結子会社をいう。

「北欧諸国」又は「北欧」とは、 スウェーデン、デンマーク、フィンランド及びノルウェーをいう。

「スウェーデン」とは、 スウェーデン王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを、「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「円」は日本円を、「英ポンド」は英貨ポンドを、「ノルウェー・クローネ」はノルウェー・クローネを、「ユーロ」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき単一通貨を採用する又は採用した欧州連合の加盟国の通貨を指す。2022年8月26日現在(日本時間)、株式会社三菱UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1スウェーデン・クローネ=12.91円であった。本書におけるスウェーデン・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、スウェーデン・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「予想している」、「目指す」、「見積もっている」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、複数箇所に登場する(「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を含むが、これらに限られない。)。

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行グループ及び当行は誠実に、かつ合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行グループ及び当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行グループ及び当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」におけるすべての将来の見通しに関する記述は、本半期報告書提出日現在で見積もられたものである。

将来の見通しに関する記述に依拠する場合、読者は、前述の要素、その他の不確定要素及び事象、特に当行グループ及び当行が事業を行う環境における政治的、経済的、社会的及び法律的な要因について慎重に検討すべきである。かかる将来の見通しに関する記述は、それらの記述がなされた日現在における記述に過ぎない。したがって、当行グループ又は当行のいずれも、それらの記述について、新たな情報、将来の事象又はその他の要因にかかわらず、更新又は修正する義務を負わない。当行グループ及び当行は、かかる将来の見通しに関する記述により期待される結果が達成されると表明し、保証し又は予想するものではなく、また、将来の見通しに関する記述は、いずれの場合も、多くの想定されるシナリオのうちの一つを示しているに過ぎず、もっとも可能性の高いシナリオ又は標準的なシナリオと考えられるべきではない。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

以下の事項を除き、2022年6月27日に提出した有価証券報告書の「第一部 - 第1 本国における法制等の概要」に記載された事項に重要な変更はなかった。変更箇所は以下に下線で示した部分である(なお、上記有価証券報告書において付されていた下線は、訂正箇所を明示するため、以下においては表示していない。)。

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

()規制環境及び資本基盤

(変更前)

(中略)

所要自己資本

(中略)

自己資本比率

(中略)

2017年3月19日以降、カウンターシクリカル・バッファがスウェーデンにおいて適用されている。カウンターシクリカル・バッファは当初2%であり、2019年9月には2.5%に増加したが、2020年3月に0%に減少した。スウェーデン国外のエクスポージャーに対するカウンターシクリカル・バッファ要件に関して、SFSAは、その他の国の所轄当局がその国のエクスポージャーに関して決定する2.5%までのバッファ水準を認めることとなる。2020年3月、スウェーデン、デンマーク及び英国は、COVID-19及びその経済効果に対応して、自国のカウンターシクリカル・バッファを0%に引き下げた。同様に、ノルウェーはそのバッファ要件を2.5%から1%に引き下げた。カウンターシクリカル・バッファ要件の引き下げは、COVID-19の大流行に直接対応したものであったが、現在、要件は徐々に元の水準に引き上げられている。スウェーデン及び英国において、2022年9月にカウンターシクリカル・バッファが1%に引き上げられる予定である。ノルウェーにおいては、2022年6月30日からカウンターシクリカル・バッファ要件の1.5%への引き上げが適用され、2022年12月31日から2%、2023年3月31日から2.5%にさらに引き上げられる。

(中略)

2021年12月31日現在、普通株式等Tier 1比率は19.4%であった。当行の評価では、同日のSFSAの当行グループに対する普通株式等Tier 1資本要件は13.9%(P2Gの1.5%を含む。)であった。したがって、当行グループの普通株式等Tier 1比率は目標範囲を大幅に上回った。上記のとおり、2019年12月31日以降のカウンターシクリカル・バッファ要件が緩和されたことにより、当行グループの普通株式等Tier 1資本要件は減少している。

(後略)

(変更後)

(中略)

所要自己資本

(中略)

自己資本比率

(中略)

2017年3月19日以降、カウンターシクリカル・バッファがスウェーデンにおいて適用されている。カウンターシクリカル・バッファは当初2%であり、2019年9月には2.5%に増加したが、2020年3月に0%に減少した。スウェーデン国外のエクスポージャーに対するカウンターシクリカル・バッファ要件に関して、SFSAは、その他の国の所轄当局がその国のエクスポージャーに関して決定する2.5%までのバッファ水準を認めることとなる。2020年3月、スウェーデン、デンマーク及び英国は、COVID-19及びその経済効果に対応して、自国のカウンターシクリカル・バッファを0%に引き下げた。同様に、ノルウェーはそのバッファ要件を2.5%から1%に引き下げた。カウンターシクリカル・バッファ要件の引き下げは、COVID-19の大流行に直接対応したものであったが、現在、要件は徐々に元の水準に引き上げられている。カウンターシクリカル・バッファは、スウェーデンにおいて、2022年9月29日から1%へ、さらに2023年6月22日から2%への引き上げが適用される予定であり、また英国においては、2022年12月13日から1%へ、さらに2023年7月5日から2%への引き上げが適用される予定である。ノルウェーにおいては、2022年6月30日からカウンターシクリカル・バッファ要件の1.5%への引き上げが適用され、2022年12月31日から2%、2023年3月31日から2.5%にさらに引き上げられる予定である。

(中略)

2022年6月30日現在、普通株式等Tier 1比率は18.7%であった。当行の評価では、同日のSFSAの当行グループに対する普通株式等Tier 1資本要件は13.9% (P2Gの1.5%を含む。)であった。したがって、当行グループの普通株式等Tier 1比率は目標範囲を大幅に上回った。上記のとおり、2019年12月31日以降のカウンターシクリカル・バッファ要件が緩和されたことにより、当行グループの普通株式等Tier 1資本要件は減少している。

(後略)

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結

当行がフィンランド及びデンマークでの事業停止を決定した結果、2021年12月31日現在、これらは非継続事業として計上されている。比較可能性の観点から、2021年6月30日に終了した6ヶ月間及び2020年12月31日に終了した年度の損益計算書は修正再表示されている。2020年6月30日に終了した6ヶ月間の数値は、非継続事業に関して再計算されていない。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	2020年 1月 - 6月期 ¹	2021年度	2020年度
要約損益計算書					
純利息収益	16,402	15,000	15,852	30,321	29,963
純手数料及びコミッション収益	5,652	5,428	5,230	11,458	9,670
金融取引による純損益	93	770	539	1,699	1,217
保険リスク	82	101	64	179	194
その他配当金収益	16	1	16	2	53
関連会社の持分利益	-38	28	21	63	18
その他収益	1,136	69	81	555	137
収益合計	23,345	21,397	21,803	44,277	41,252
人件費	-6,337	-6,467	-6,942	-12,452	-13,907
その他費用	-3,165	-2,653	-3,155	-5,577	-5,245
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	-813	-936	-883	-1,814	-1,775
費用合計	-10,315	-10,056	-10,980	-19,843	-20,927
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益	13,030	11,341	10,823²	24,434	20,325
正味信用損失	-62	97	-635	-43	-649
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	18	6	8	14	5
リスク税及び破綻処理手数料 ³	-1,153	-465	-	-930	-884
営業利益	11,832	10,979	10,196	23,475	18,797
法人税等	-2,386	-2,317	-2,300	-4,627	-4,240
継続事業からの当期利益	9,446	8,662	-	18,848	14,557
非継続事業からの純利益	380	452	-	695	1,031
当期利益	9,826	9,114	7,896	19,543	15,588

要約貸借対照表⁴

一般顧客への貸出金	2,249,615	2,337,419	2,302,177	2,163,135	2,269,612
うち、住宅ローン	1,459,202	1,482,561	1,405,529	1,417,639	1,439,328
うち、その他の貸出金	790,413	854,858	896,648	745,496	830,284
一般顧客からの預金及び借入金	1,448,836	1,427,959	1,375,922	1,286,637	1,229,763
うち、個人	615,114	598,868	560,169	571,402	560,888
資本合計	185,679	178,623	163,215	181,731	171,473
資産合計	3,689,057	3,436,487	3,533,187	3,346,764	3,135,288

主要指標の要約

事業合計における株主資本利益率	11.7%	11.1%	10.3%	11.8%	10.0%
継続事業におけるC/I比率	44.2%	47.0%	50.4%	44.8%	51.8%
一株当たり利益(単位：スウェーデン・クローネ)	4.96	4.60	3.99	9.86	7.87
- 希薄化後	4.96	4.60	3.99	9.86	7.87
普通株式等Tier 1比率、CRR	18.7%	20.5%	18.7%	19.4%	20.3%
総自己資本比率、CRR	23.4%	24.5%	23.5%	23.3%	24.3%

¹ 2020年6月30日に終了した6ヶ月間の数値は、非継続事業に関して再計算されていない。

² 数値は、2020年1月 - 6月期の「信用損失控除前利益」を表している。

³ 破綻処理手数料は、2022年第1四半期をもって、純利息収益内ではなく、営業利益内の独立項目として計上されるようになった。また、リスク税も同項目の一部として計上されている。そのため、表に示された2021年1月 - 6月期並びに2020年度及び2021年度の比較数値は再計算されている。2020年1月 - 6月期の数値は再計算されていない。

⁴ 2021年12月31日現在、処分グループであるデンマーク及びフィンランドの金額は、「一般顧客への貸出金」及び「一般顧客からの預金及び借入金」の行に含まれていない。これらの金額を前年同期から除いた場合、2021年6月30日と比較して、一般顧客への貸出金は8%増加し、一般顧客からの預金及び借入金は10%増加した。処分グループであるデンマーク及びフィンランドにおいて売却目的で保有する資産及び負債の明細は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記9」に記載されている。

非連結

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	2020年 1月 - 6月期	2021年度	2020年度
収益合計	11,441	12,663	11,572	41,727	39,359
信用損失控除前費用合計	-10,533	-9,648	-9,457	-19,047	-20,045
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益	908	3,015	2,115 ¹	22,680	19,314 ¹
営業利益	169	2,800	1,692	21,079	18,758
税引前利益	170	2,831	1,740	21,306	19,501
当期利益	72	2,230	1,313	16,688	15,226
損益計算書に組み替えられない項目合計	15	48	157	59	-572
その後に損益計算書に組み替えられる可能性の ある項目合計	2,543	456	-1,098	1,247	-3,434
当期その他包括利益合計	2,561	504	-941	1,306	-4,006

当期包括利益合計	2,633	2,734	372	17,994	11,220
資産合計	2,588,176	2,377,301	2,527,483	2,230,134	2,124,863
負債合計	2,450,012	2,238,944	2,394,544	2,085,208	1,981,091
資本合計	137,458	137,455	131,307	144,220	142,839
負債及び資本合計	2,588,176	2,377,301	2,527,483	2,230,134	2,124,863

¹ 数値は、2020年1月 - 6月期及び2020年度の「信用損失控除前利益」を表している。数値は、破綻処理手数料に関して再計算されていない。

2【事業の内容】

2022年6月27日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

3【関係会社の状況】

2022年6月27日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

4【従業員の状況】

2022年1月1日から2022年6月30日までの6ヶ月間(以下「当該6ヶ月間」という。)において、継続事業においては平均10,767名の従業員を有していた。

当該6ヶ月間における当行グループの継続事業における各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

	平均従業員数
スウェーデンにおける支店業務	3,814
英国における支店業務	2,442
ノルウェーにおける支店業務	753
オランダにおける支店業務	351
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット	581
その他の部門	2,827
継続事業合計	10,768

* 数値は、四捨五入されている。上表の数値には、当行グループのデンマーク及びフィンランドにおける事業の従業員数は含まれていない。

第3【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

以下の事項を除き、2022年6月27日に提出した有価証券報告書の「第一部 - 第3 - 1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」に記載された事項に重要な変更はなかった。

(2)経営環境

当行グループの資産及び顧客の多数は、スウェーデン、ノルウェー及び英国に所在し又は関連する事業を有している。その結果、当行グループは、これらの国々のマクロ経済状況の影響を大きく受ける。

COVID-19のパンデミック及びウクライナにおける戦争は、北欧諸国、英国及びオランダの経済に悪影響を及ぼし続けることが予想される。ウクライナにおける戦争の勃発以降、当行は、2022年度に係るインフレ予測を大幅に引き上げ、GDP成長率の見積りを引き下げた。2022年度に係る当行の現在の見積りでは、スウェーデン、英国、ノルウェー及びオランダにおける実質GDPはそれぞれ2.4%、3.2%、3.6%及び4.1%増加すると予想されている。スウェーデンにおいて、2022年度の年間消費者物価指数のインフレ率は、6.5%に達すると見込まれている。

2022年4月、リクスバンクは、政策金利を、長期間のマイナス又はゼロ金利から0.25%に引き上げ、2022年6月にはさらに0.50%引き上げ、0.75%とした。2022年9月20日、リクスバンクは政策金利をさらに1.0%引き上げて1.75%とし、また、2023年までに政策金利が2.5%となるよう、さらに段階的な引上げを行うことを示唆した。リクスバンクは、今後の金利上昇がGDP成長率を低下させ、住宅価格の若干の下落につながると予測した。

近年、住宅不足及び低金利を含むいくつかの要因により、スウェーデンにおける特に個人へのモーゲージ貸付高が急激に増加した。その結果、スウェーデンの個人の負債の水準は記録的に高い水準となっている。したがって、個人は金利の上昇、収益の損失及び住宅価格の下落の影響をより受け易くなる。個人の負債の増加に関連するリスクを低減する手段として、2016年6月に住宅ローンに関連する償却要件が導入され、それ以降、さらなる償却要件が導入されている。

当行グループはスウェーデンにおいて市場リーダーであり、スウェーデンにおいて営業する4つの主要な銀行の1つであって、その他3つの銀行はノルディア・バンク・エイ・ビー・ピー・フィリアル・アイ・スヴェリエ (Nordea Bank Abp filial i Sverige)、スカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケン・エイ・ビー (Skandinaviska Enskilda Banken AB)及びスウェッドバンク・エイ・ビー (Swedbank AB)である。当行グループは、スウェーデン及び海外の両方において当行グループが事業展開する市場内で厳しい競争にさらされている。商業銀行に加えて、当行は金融会社及び住宅金融専門機関とも競合している。

銀行部門を含む社会のデジタル化の速度及び範囲は近年加速しており、その結果、顧客はますますデジタル・チャネルを通じて銀行取引を行っている。当行は引き続き、当行のサービスをデジタル化し、顧客の希望やニーズに合わせているが、これらのデジタル・サービスは支店の現地拠点と連携している。

経営環境についての追加情報については、下記「第3 - 2 事業等のリスク - 世界金融市場の現状及び世界の経済状況に伴うリスク」を参照のこと。

2【事業等のリスク】

2022年6月27日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績等の概要

下記「(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2)生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

本セクションに含まれる将来の見通しに関する記述は、本書提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づいている。

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

営業利益は、比較可能性に影響する項目及び2022年度におけるスウェーデンリスク税の導入に関連する影響を調整後、2%増加した。2022年第1四半期中、不動産保有子会社の売却により、1,059百万スウェーデン・クローネの非経常収益合計が計上された。スウェーデンリスク税は、-658百万スウェーデン・クローネ(前年同期はなし)となった。オクトゴネンへの引当金及び割当は、-137百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-247百万スウェーデン・クローネ)となり、為替の影響により、134百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。営業利益は、8%増加して11,832百万スウェーデン・クローネ(前年同期は10,979百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計は、不動産の売却及び為替の影響を調整後、2%増加した。収益合計は、堅調な事業展開により増加した。収益合計は、9%増加して23,345百万スウェーデン・クローネ(前年同期は21,397百万スウェーデン・クローネ)となった。

オクトゴネン及び為替の影響により、費用合計は245百万スウェーデン・クローネ増加し、これらを調整後、費用合計は1%増加した。かかる増加はすべて、283百万スウェーデン・クローネすなわち20%の開発費の増加に起因する。またこれらを調整後、費用合計は159百万スウェーデン・クローネすなわち-2%減少した。費用合計は、3%増加して-10,315百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-10,056百万スウェーデン・クローネ)となった。

継続事業からのC/I比率は、上記の非経常項目を調整後、46.3%(前年同期は47.0%)に改善した。継続事業からのC/I比率は、44.2%(前年同期は47.0%)に改善した。

信用損失率は、0.00%(前年同期も0.00%)となった。

2022年度上半期の継続事業からの利益は、9%増加して9,446百万スウェーデン・クローネ(前年同期は8,662百万スウェーデン・クローネ)となった。株主資本利益率は、11.7%(前年同期は11.1%)に増加し、一株当たり利益は、8%増加して4.96スウェーデン・クローネ(前年同期は4.60スウェーデン・クローネ)となった。

普通株式等Tier 1比率は、18.7%(前年同期は20.5%)であった。

営業利益のうち非経常項目及び特別項目

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期
非経常項目		
不動産の売却によるキャピタルゲイン	1,059	-
非経常項目合計	1,059	-

特別項目

オクトゴーネン:2021年度の割当の調整	-53	21
オクトゴーネン:当年度の引当金	-84	-268
特別項目合計	-137	-247

収益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動
純利息収益	16,402	15,000	9%
うち、預金保証手数料	-132	-157	-16%
純手数料及びコミッション収益	5,652	5,428	4%
金融取引による純損益	93	770	-88%
その他	1,196	199	
収益合計	23,345	21,397	9%

純利息収益は、9%すなわち1,402百万スウェーデン・クローネ増加して16,402百万スウェーデン・クローネ(前年同期は15,000百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加の大半は、取引額の増加によるものであり、純利息収益に523百万スウェーデン・クローネの寄与が生じた。利鞘及び資金調達費用の正味の影響により、331百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。流動性ポートフォリオにより、79百万スウェーデン・クローネのプラスの寄与が生じた。為替の影響により、307百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。その他の正味の影響により、純利息収益は、162百万スウェーデン・クローネ増加した。

純手数料及びコミッション収益は、4%増加して5,652百万スウェーデン・クローネ(前年同期は5,428百万スウェーデン・クローネ)となった。ミューチュアル・ファンド手数料は、83百万スウェーデン・クローネすなわち3%増加して2,799百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,716百万スウェーデン・クローネ)となった。全体として、ファンド運用手数料、カストディ手数料及びその他の資産運用手数料は、4%増加して合計3,274百万スウェーデン・クローネ(前年同期は3,146百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、20%増加して810百万スウェーデン・クローネ(前年同期は675百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出手数料及び預金手数料は、2%減少して562百万スウェーデン・クローネ(前年同期は576百万スウェーデン・クローネ)となった。保険による収益は、6%増加して408百万スウェーデン・クローネ(前年同期は386百万スウェーデン・クローネ)となった。仲介収益は、12%減少して252百万スウェーデン・クローネ(前年同期は287百万スウェーデン・クローネ)となった。アドバイザリー手数料は、16%増加して138百万スウェーデン・クローネ(前年同期は119百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の純手数料及びコミッション収益は、206百万スウェーデン・クローネ(前年同期は239百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、合計93百万スウェーデン・クローネ(前年同期は770百万スウェーデン・クローネ)となった。ハンデルスバンケン・リヴが管理している従来型保険の利回りが契約上保証されている利率を下回ったため、2022年度上半期に、繰延資本拠出のための引当金により-367百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-19百万スウェーデン・クローネ)のマイナスの影響が生じた。ハンデルスバンケン・マーケットツにおける顧客主導型事業からの寄与は、81百万スウェーデン・クローネ減少したが、これは特に債券取引におけるボラティリティの高さ及び流動性の低下によるものであった。金利及びクレジットスプレッドの上昇を伴う不安定な市場により、当行の流動性ポートフォリオ及び当行の資金調達及び貸付のヘッジの両方にそれぞれ、-208百

万スウェーデン・クローネ及び-363百万スウェーデン・クローネの負荷が生じた。流動性ポートフォリオ及び当行の借入及び貸付のヘッジに対するこれらの影響は、時間の経過とともにほとんど完全に元に戻ると見込まれている。

保険リスクは合計82百万スウェーデン・クローネ(前年同期は101百万スウェーデン・クローネ)となった。

その他の種類の収益は、上記の不動産保有子会社の売却により、1,114百万スウェーデン・クローネ(前年同期は98百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

費用

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	
人件費	-6,337	-6,467	130	-2%
うち、オクトゴーネン	-137	-247	110	-45%
うち、開発費	-674	-586	-88	15%
うち、為替の影響	-152		-152	
うち、その他	-5,374	-5,634	260	-5%
その他費用	-3,165	-2,653	-512	19%
うち、開発費	-719	-469	-250	53%
うち、為替の影響	-87		-87	
うち、その他	-2,359	-2,184	-175	8%
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	-813	-936	123	-13%
うち、開発費	-295	-350	55	-16%
うち、為替の影響	-6		-6	
うち、その他	-512	-586	74	-13%
費用合計	-10,315	-10,056	-259	3%
うち、オクトゴーネン	-137	-247	110	-45%
うち、為替の影響	-245		-245	
うち、開発費	-1,688	-1,405	-283	20%
うち、その他	-8,245	-8,404	159	-2%
為替の影響及びオクトゴーネンの調整後の 変動				1%

開発費

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動
開発投資費	-1,696	-1,289	32%
うち、人件費	-809	-722	12%

うち、その他費用	-887	-567	56%
資本化費用	303	234	29%
うち、人件費	135	136	-1%
うち、その他費用	168	98	71%
資本化費用後の開発投資費	-1,393	-1,055	32%
無形資産の償却費及び減損費用	-295	-350	-16%
開発費	-1,688	-1,405	20%

人件費はオクトゴーネンを調整後、3%減少し、また為替の影響により、費用を152百万スウェーデン・クロネ増加させた。その結果、純人件費は減少した。一方で、同時に、IT開発に関連する人件費は15%増加した。人件費は、2%減少して-6,337百万スウェーデン・クロネ(前年同期は-6,467百万スウェーデン・クロネ)となった。継続事業における平均従業員数は、366名減少して10,767名(前年同期は11,133名)となった。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用を含むその他費用は、389百万スウェーデン・クロネすなわち11%増加して-3,978百万スウェーデン・クロネ(前年同期は-3,589百万スウェーデン・クロネ)となった。かかる増加のうち、195百万スウェーデン・クロネはIT開発の増加による。不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用は、13%減少して-813百万スウェーデン・クロネ(前年同期は-936百万スウェーデン・クロネ)となった。

開発費は、合計20%増加して-1,688百万スウェーデン・クロネ(前年同期は-1,405百万スウェーデン・クロネ)となった。開発投資費合計は、32%増加して-1,696百万スウェーデン・クロネ(前年同期は-1,289百万スウェーデン・クロネ)となった。資本収益率は、18%(前年同期も18%)となり、資本化費用は、303百万スウェーデン・クロネ(前年同期は234百万スウェーデン・クロネ)となった。資本収益率は、開発に関連する計画の性質により、時間の経過と共に変化する。現在、当行はクラウドサービスへの移行に関連した多くの計画を実施しており、現時点で費用の大部分が計上されている。2020年秋、当行は2021年度から2022年度中のIT開発投資費を一時的に合計1十億スウェーデン・クロネ増加することを決定し、そのうち約500百万スウェーデン・クロネは2021年度に計上された。かかる開発は、主にデジタル・チャネルにおけるカスタマー・ミーティングを目的とし、さらに、より効率的な情報フロー及びデータ分析並びにクラウドソリューションへの投資も目的とする。かかる投資対象のうち、330百万スウェーデン・クロネ(前年同期は168百万スウェーデン・クロネ)は、2022年度上半期中に実施され、そのうち-237百万スウェーデン・クロネ(前年同期は-130百万スウェーデン・クロネ)は、費用として計上された。

信用損失

(単位：百万スウェーデン・クロネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動
正味信用損失	-62	97	-159
うち追加の引当必要額	-94	2	-96
一般顧客への貸出金に対する信用損失率 (単位：%)	0.00	0.00	

正味信用損失は、-62百万スウェーデン・クロネ(前年同期は97百万スウェーデン・クロネ)となり、一般顧客への貸出金に対する信用損失率は、0.00%(前年同期も0.00%)であった。エキスパートベースの引当金は、593百万スウェーデン・クロネ(前年同期は494百万スウェーデン・クロネ)となった。

リスク税及び破綻処理手数料

リスク税及び破綻処理手数料は、合計-1,153百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-465百万スウェーデン・クローネ)となった。リスク税は、-658百万スウェーデン・クローネ(前年同期はなし)となり、破綻処理手数料は、-495百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-465百万スウェーデン・クローネ)となった。

税金等

事業合計における実行税率は20.7%(前年同期は21.4%)であった。継続事業における実効税率は20.2%(前年同期は21.1%)に減少したが、これは主に、2022年第1四半期における不動産保有子会社の売却にかかる非課税キャピタルゲインによるものであった。

税控除することができない劣後ローンの利息費用は、法人税率と比較して、税率に1.1パーセント・ポイントの影響が生じた。

非継続事業

非継続事業からの損益は、売却予定のデンマーク及びフィンランドの事業における外部収益及び外部費用により構成される。デンマークの事業売却に関するジスク・バンク・エイ/エスとの契約は6月に締結され、かかる譲渡は、2022年第4四半期中に完了する見込みである。

税引前の非継続事業からの利益は、総額554百万スウェーデン・クローネ(前年同期は621百万スウェーデン・クローネ)であった。

収益合計は、2,021百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,038百万スウェーデン・クローネ)であった。

費用合計は、12%増加して-1,460百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,299百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、2022年第2四半期に、当行のフィンランドにおける事業売却に関連して、潜在的な将来の費用への引当金を計上したことによる。

正味信用損失は、74百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-42百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額で構成された。

事業の展開

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

本拠地市場(スウェーデン、ノルウェー、英国及びネザerland)における一般顧客への貸出金は7%増加し、平均額は147十億スウェーデン・クローネ増加して、2,186十億スウェーデン・クローネ(前年同期は2,039十億スウェーデン・クローネ)となった。

本拠地市場における一般顧客からの預金及び借入金は13%増加し、平均額は149十億スウェーデン・クローネ増加して、1,259十億スウェーデン・クローネ(前年同期は1,110十億スウェーデン・クローネ)となった。

2022年度上半期末の当行グループにおける運用資産の総額は、900十億スウェーデン・クローネ(前年同期は980十億スウェーデン・クローネ)であった。運用資産のうち、844十億スウェーデン・クローネ(前年同期は892十億スウェーデン・クローネ)は、当行の投資信託に投資された。投資信託の総額のうち、EUのサステナブル・ファイナンス開示規則(SFDR)で示された分類に基づいて、16%は持続可能性の観点から最も高い分類(第9条)に、78%は2番目に高い分類(第8条)に投資された。2022年度上半期における当行グループの投資信託の正味の新規資金流入額は、合計-1.3十億スウェーデン・クローネ(前年同期は36.0十億スウェーデン・クローネ)であった。当行は、純流出が他のプレーヤーより相対的に少なかったことにより、市場におけるミューチュアル・ファンドの発行残高の総額に占める当行の市場シェアを向上させた。スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場に占める当行のシェアは12.2%(前年同期は12.0%)に増加した。

資金調達及び流動性

2022年度初頭、非常に不安定な市場環境に置かれることもあったにもかかわらず、当行は資金調達市場に自由にアクセスし、活用することができた。

2022年度上半期の社債発行は、106十億スウェーデン・クローネ(前年同期は85十億スウェーデン・クローネ)であり、そのうち63十億スウェーデン・クローネ(前年同期は62十億スウェーデン・クローネ)はカバード・ボンド、38十億スウェーデン・クローネ(前年同期は23十億スウェーデン・クローネ)はシニア債であり、約11十億スウェーデン・クローネ(前年同期は10十億スウェーデン・クローネ)が適格債務を構成した。さらに、2022年度上半期中に、5十億スウェーデン・クローネ(前年同期はなし)の期限付劣後債を発行した。

当行は、多くの流動資金、住宅ローン及び担保に供されていないその他の資産を有しており、これは当行のシニアレンダーが保護されていることを示している。2022年第2四半期末、すべての無担保資金調達額に対する担保に供されていない資産の割合は280%(2021年度末は268%)であった。2022年第2四半期末における中央銀行に預け入れられた現金資金及び流動資産は、2021年度末における439十億スウェーデン・クローネに対して、651十億スウェーデン・クローネであった。流動債券及びその他の流動資産の額は合計175十億スウェーデン・クローネ(2021年度末は157十億スウェーデン・クローネ)であった。このように、2022年度上半期中、当行は将来における市場の混乱に対する耐性をさらに強化した。

2022年度上半期末における欧州委員会による委任規制に基づき計算された当行グループの流動性カバレッジ比率(LCR)は、180%(2021年第4四半期末は169%)であった。2022年度上半期末におけるCRRに基づく安定調達比率(NSFR)は、116%(2021年12月31日現在114%)であった。

資本

2022年度上半期末の普通株式等Tier 1比率は18.7%であった。当行の評価における2022年第2四半期末のSFSAの予想普通株式等Tier 1資本要件は13.9%であり、116十億スウェーデン・クローネに相当する。23十億スウェーデン・クローネに相当する2.7パーセント・ポイント(うち1.5パーセント・ポイントは第二の柱の指針、1.2パーセント・ポイントは第二の柱の要件から成る。)は、第二の柱における普通株式等Tier 1資本要件から成る。

2022年度上半期末の総自己資本比率は23.4%であった。当行の評価における同日のSFSAの予想所要自己資本合計は18.1%(150十億スウェーデン・クローネ)であった。そのうち28十億スウェーデン・クローネに相当する3.4パーセント・ポイントは、第二の柱における所要自己資本合計から成る。

2021年第4四半期に報告されているように、SFSAは、2022年度から当行の構造的な為替ポジションを所要自己資本から除外しないことを決議した。2022年第2四半期末において、これらのポジションに対する当行のリスク加重エクスポージャー金額は26十億スウェーデン・クローネであった。当行の見解では、これらのリスクを軽減するポジションは引き続き所要自己資本から除外されるべきであり、現在SFSAとの議論を進めている。全体として、構造的な為替ポジションに係る当該所要自己資本は、当行の長期的な資本の必要性に重大な影響を及ぼすものではないと評価している。為替ポジションは、デンマーク及びフィンランドにおいて売却される事業と一部関連しており、構造的な為替リスクを管理するための代替的な手段を選択することが可能である。

当行の資本目標は、通常の状況下において、当行の普通株式等Tier 1比率がSFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1要件を1から3パーセント・ポイント上回ることである。したがって、当行の資本は、目標範囲を超えるものであった。

2021年6月30日と比較した2022年6月30日における資本(連結)

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年6月30日現在	2021年6月30日現在	変動
普通株式等Tier 1比率、CRR	18.7%	20.5%	-1.8
自己資本比率合計、CRR	23.4%	24.5%	-1.1
リスク加重エクスポージャー額、CRR	830,705	744,288	12%
普通株式等Tier 1資本	155,434	152,867	2%
自己資本合計	194,039	182,578	6%
当行グループの資本	185,679	178,623	4%

自己資本合計は、194十億スウェーデン・クローネ(前年同期は183十億スウェーデン・クローネ)であり、当行の自己資本比率合計は、23.4%(前年同期は24.5%)であった。普通株式等Tier 1資本は、155十億スウェーデン・クローネ(前年同期は153十億スウェーデン・クローネ)であった一方、普通株式等Tier 1比率は、18.7%(前年同期は20.5%)であった。

利益は、分配された配当金及び予想配当金の控除後、普通株式等Tier 1比率を0.1パーセント・ポイント低下させた。2022年第2四半期の配当性向は、規制当局の実務に沿って、56%となることが見込まれている。純年金の影響はほとんどなかった。エクスポージャー額の増加により、普通株式等Tier 1比率は0.6パーセント・ポイント減少した。流入及び流出の信用度の差により、普通株式等Tier 1比率に0.2パーセント・ポイントのプラスの影響が生じたが、格付けの移行による影響はほとんどなかった。為替の影響はほとんどなかった。構造的な為替リスクに対する追加のリスク加重エクスポージャー金額は26十億スウェーデン・クローネであり、これにより、普通株式等Tier 1比率に0.6パーセント・ポイントのマイナスの影響が生じた。ノルウェーの商業用不動産を扱う企業への貸出金に係る新規のリスク加重のフロアにより、普通株式等Tier 1比率は0.3パーセント・ポイント減少した。ノルウェーの住宅ローンに係るリスク加重のフロアの第二の柱から第一の柱への移行により、普通株式等Tier 1比率に0.4パーセント・ポイントのマイナスの影響が生じた。

経済資本及び利用可能な財源

所要自己資本の当行の内部評価は、当行の所要自己資本、ストレステスト及び当行の経済資本(EC)に係るモデルに基づいている。これは当行の利用可能な財源(AFR)に関連して測定される。取締役会は、当行グループのAFR/EC比率は120%を上回らなければならない旨を定めている。2022年第2四半期末、当行グループのECは合計で56.1十億スウェーデン・クローネ(前年同期は60.7十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、AFRは247.3十億スウェーデン・クローネ(前年同期は207.7十億スウェーデン・クローネ)であった。したがって、AFR/EC比率は441%(前年同期は342%)であった。連結では、ECは合計で31.6十億スウェーデン・クローネ(前年同期は30.6十億スウェーデン・クローネ)となり、AFRは237.7十億スウェーデン・クローネ(前年同期は202.0十億スウェーデン・クローネ)であった。

ハンデルスバンケン・スウェーデン

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
純利息収益	9,845	9,386	5%	18,880
純手数料及びコミッション収益	4,273	4,166	3%	8,800
金融取引による純損益	-117	218		480
保険リスク	81	94	-14%	168
その他の収益	44	32	38%	471
収益合計	14,126	13,896	2%	28,799
人件費	-2,011	-2,084	-4%	-4,035
その他費用	-687	-615	12%	-1,216
内部購入及び売却されたサービス	-2,327	-2,158	8%	-4,289
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-212	-212	0%	-358
費用合計	-5,237	-5,069	3%	-9,898
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益	8,889	8,827	1%	18,901
正味信用損失	116	84	38%	15
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	4	5	-20%	9
リスク税及び破綻処理手数料	-826	-347	138%	-696
営業利益	8,183	8,569	-5%	18,229
利益配分	186	148	26%	296
利益配分後の営業利益	8,369	8,717	-4%	18,525
内部収益	-39	-363	89%	-345
C/I比率(単位：%)	36.6	36.1		34.0
信用損失率(単位：%)	-0.01	-0.01		0.00
割当済資本	99,607	94,861	5%	104,414
割当済資本に係る利益率(単位：%)	13.2	14.3		14.8
平均従業員数	3,814	3,987	-4%	3,899

取引額

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

平均額	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
一般顧客への貸出金 [*]				
個人	968	923	5%	937
うち、住宅ローン	929	883	5%	896

企業	583	530	10%	536
うち、住宅ローン	387	369	5%	373
合計	1,551	1,453	7%	1,473
一般顧客からの預金及び借入金				
うち、個人	472	429	10%	439
うち、企業	401	341	18%	357
合計	873	770	13%	796

* 国債局に対する貸出金を除く。

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

営業利益は、5%減少して8,183百万スウェーデン・クローネ(前年同期は8,569百万スウェーデン・クローネ)となった。リスク税を調整後、堅調な事業の展開及び正味回収額に牽引され、営業利益は1%増加した。割当済資本に係る利益率は、13.2%(前年同期は14.3%)であった。C/I比率は、36.6%(前年同期は36.1%)であった。

純利息収益は、5%増加して9,845百万スウェーデン・クローネ(前年同期は9,386百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出高の増加により、純利息収益は286百万スウェーデン・クローネ増加したと同時に、預金高の増加は73百万スウェーデン・クローネ寄与した。利鞘の変動及び資金調達費用の正味の影響により、81百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。スウェーデンの預金保証制度の手数料は、24百万スウェーデン・クローネ減少して-118百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-143百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の影響により、純利息収益に-5百万スウェーデン・クローネの寄与が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、107百万スウェーデン・クローネすなわち3%増加して4,273百万スウェーデン・クローネ(前年同期は4,166百万スウェーデン・クローネ)となり、ミューチュアル・ファンド手数料は、2%増加して2,417百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,360百万スウェーデン・クローネ)となった。カストディ及びその他の資産運用のコミッションは、9%増加して344百万スウェーデン・クローネ(前年同期は315百万スウェーデン・クローネ)となり、保険手数料は、6%増加して395百万スウェーデン・クローネ(前年同期は374百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、20%増加して591百万スウェーデン・クローネ(前年同期は491百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、合計-117百万スウェーデン・クローネ(前年同期は218百万スウェーデン・クローネ)であった。かかる減少はすべて、ハンデルスバンケン・リヴの従来型保険事業に対する-367百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-19百万スウェーデン・クローネ)の繰延資本拠出に起因する。

その他の種類の収益は、合計125百万スウェーデン・クローネ(前年同期は126百万スウェーデン・クローネ)であった。

費用合計は、3%増加して-5,237百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-5,069百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費は、4%減少して-2,011百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-2,084百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、4%減少して3,814名(前年同期は3,987名)となった。その他の種類の費用は、主にIT投資の増加及び事業の展開により、8%増加して-3,226百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-2,985百万スウェーデン・クローネ)となった。

正味信用損失は、116百万スウェーデン・クローネ(前年同期は84百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額で構成された。信用損失率は、-0.01%(前年同期も-0.01%)であった。

リスク税は-459百万スウェーデン・クローネ(前年同期はなし)、破綻処理手数料は-367百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-348百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業の展開

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

貸出金の平均額の合計は、7%増加して1,551十億スウェーデン・クローネ(前年同期は1,453十億スウェーデン・クローネ)となった。個人への貸出金は、5%増加して968十億スウェーデン・クローネ(前年同期は923十億スウェーデン・クローネ)となり、企業への貸出金は、10%増加して583十億スウェーデン・クローネ(前年同期は530十億スウェーデン・クローネ)となった。

預金の平均額の合計は、13%増加して873十億スウェーデン・クローネ(前年同期は770十億スウェーデン・クローネ)となった。個人からの預金は、10%増加して472十億スウェーデン・クローネ(前年同期は429十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、企業からの預金も18%増加して401十億スウェーデン・クローネ(前年同期は341十億スウェーデン・クローネ)となった。

スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場に占める当行のシェアは、12.2%(前年同期は12.0%)に増加し、結果として、2022年度上半期末において、当行は総額710十億スウェーデン・クローネ(前年同期は749十億スウェーデン・クローネ)の運用資産を有する2番目に大きいプレーヤーとなった。近年、当行はスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場への純流入において、発行残高の総額に占める当行のシェアを上回る、極めて高いシェアを獲得している。2022年度上半期中、スウェーデンのファンド市場全体を純流出が占めた。しかし、当行のミューチュアル・ファンドからの純流出は、市場全体の流出の1%未満であった。したがって流出は、発行残高の総額に占める当行の市場シェアを大幅に下回った。スウェーデンにおける当行のミューチュアル・ファンドへの純流入は、-0.3十億スウェーデン・クローネ(前年同期は23.0十億スウェーデン・クローネ)であった。

ハンデルスバンケン英国

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
純利息収益	3,269	2,696	21%	5,452
純手数料及びコミッション収益	409	366	12%	751
金融取引による純損益	112	88	27%	189
その他の収益	0	0	-50%	0
収益合計	3,790	3,150	20%	6,392
人件費	-1,289	-1,214	6%	-2,467
その他費用	-394	-481	-18%	-1,045
内部購入及び売却されたサービス	-539	-452	19%	-912
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-150	-142	6%	-316
費用合計	-2,371	-2,289	4%	-4,740
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益	1,419	861	65%	1,652
正味信用損失	-26	50		95
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	10	9	11%	9
営業利益	1,403	920	52%	1,756
利益配分	22	21	5%	46
利益配分後の営業利益	1,425	941	51%	1,802
内部収益	-301	-467	36%	-961
C/I比率(単位：%)	62.2	72.2		73.6
信用損失率(単位：%)	0.01	-0.04		-0.04
割当済資本	19,466	20,320	-4%	20,547
割当済資本に係る利益率(単位：%)	11.4	7.4		7.0
平均従業員数	2,442	2,505	-3%	2,509

現地通貨建ての損益計算書

(単位：百万英ポンド)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
純利息収益	262.8	230.9	14%	461.9
純手数料及びコミッション収益	32.8	31.4	4%	63.6
金融取引による純損益	9.0	7.5	20%	16.0
その他の収益	0.0	0.0	-91%	0.0
収益合計	304.7	269.8	13%	541.5

人件費	-103.6	-104.0	0%	-208.9
その他費用	-31.7	-41.2	-23%	-88.6
内部購入及び売却されたサービス	-43.3	-38.8	12%	-77.3
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失	-12.0	-12.1	-1%	-26.7
費用合計	-190.6	-196.1	-3%	-401.5
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	114.1	73.7	55%	140.0
正味信用損失	-2.1	4.3		8.0
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0.8	0.8	0%	0.8
営業利益	112.8	78.8	43%	148.8
利益配分	1.8	1.8	0%	3.9
利益配分後の営業利益	114.5	80.6	42%	152.7

取引額

(単位：百万英ポンド)

平均額	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
一般顧客への貸出金				
うち、個人	6,222	6,653	-6%	6,563
うち、企業	14,053	14,296	-2%	14,203
合計	20,275	20,949	-3%	20,766
一般顧客からの預金及び借入金				
うち、個人	5,646	5,456	3%	5,502
うち、企業	13,876	13,727	1%	13,630
合計	19,522	19,183	2%	19,132

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

営業利益は、52%すなわち483百万スウェーデン・クローネ増加して1,403百万スウェーデン・クローネ(前年同期は920百万スウェーデン・クローネ)となり、これは収益の増加によるものであった。営業利益への為替の影響は42百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、営業利益は43%増加した。割当済資本に係る利益率は、11.4%(前年同期は7.4%)であった。C/I比率は、62.2%(前年同期は72.2%)に改善した。

収益合計は、20%増加して3,790百万スウェーデン・クローネ(前年同期は3,150百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計への為替の影響は199百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、収益合計は13%増加した。

純利息収益は、21%すなわち573百万スウェーデン・クローネ増加して3,269百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,696百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、純利息収益に169百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。現地通貨では、純利息収益は14%増加した。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は374百万スウェーデン・クローネ増加し、これは主に、預金の利鞘の増加及びイングランド銀行へ預け入れた流動性預金の利益が改善したことによる。取引額の減少により、17百万ス

ウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。その他の純利息収益への影響は、47百万スウェーデン・クローネであった。

純手数料及びコミッション収益は、12%増加して409百万スウェーデン・クローネ(前年同期は366百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、24百万スウェーデン・クローネのプラスの寄与が生じた。現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は4%増加した。仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用事業、カストディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、11%増加して214百万スウェーデン・クローネ(前年同期は193百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、4%増加して-2,371百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-2,289百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、費用合計は3%減少した。人件費は、6%増加して-1,289百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,214百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、人件費に実質的な変動はなかった。平均従業員数は、3%減少して2,442名(前年同期は2,505名)となった。その他の種類の費用は、1%増加して-1,083百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,075百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、その他の種類の費用は6%減少した。

正味信用損失は、合計-26百万スウェーデン・クローネ(前年同期は50百万スウェーデン・クローネ)であった。信用損失率は、0.01%(前年同期は-0.04%)であった。

事業の展開

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

貸出金の平均額の合計は、3%減少して20.3十億英ポンド(前年同期は20.9十億英ポンド)となった。個人への貸出金は、6%減少して6.2十億英ポンド(前年同期は6.7十億英ポンド)となり、企業への貸出金は、2%減少して14.1十億英ポンド(前年同期は14.3十億英ポンド)となった。

預金の平均額の合計は、2%増加して19.5十億英ポンド(前年同期は19.2十億英ポンド)となった。個人からの預金は、3%増加して5.6十億英ポンド(前年同期は5.5十億英ポンド)となり、企業からの預金は、1%増加して13.9十億英ポンド(前年同期は13.7十億英ポンド)となった。

2022年度上半期末において、ハンデルスバンケン・ウェルス&アセット・マネジメントにおける運用資産総額は、合計4.0十億英ポンド(前年同期は4.4十億英ポンド)であった。2022年度上半期中、純流入は合計-49百万英ポンド(前年同期は209百万英ポンド)となった。

ハンデルスバンケン・ノルウェー

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
純利息収益	2,131	1,901	12%	3,867
純手数料及びコミッション収益	346	313	11%	656
金融取引による純損益	35	23	52%	55
保険リスク	1	7	-86%	11
その他の収益	8	3	167%	26
収益合計	2,521	2,247	12%	4,615
人件費	-498	-437	14%	-908
その他費用	-137	-82	67%	-195
内部購入及び売却されたサービス	-288	-254	13%	-510
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-45	-42	7%	-84
費用合計	-968	-815	19%	-1,697
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益	1,553	1,432	8%	2,918
正味信用損失	-166	16		-150
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	3	3	0%	6
リスク税及び破綻処理手数料	-178	-84	112%	-167
営業利益	1,211	1,367	-11%	2,607
利益配分	34	28	21%	54
利益配分後の営業利益	1,246	1,395	-11%	2,661
内部収益	-1,234	-743	-66%	-1,447
C/I比率(単位：%)	37.9	35.8		36.3
信用損失率(単位：%)	0.08	-0.01		0.06
割当済資本	19,353	19,166	1%	17,993
割当済資本に係る利益率(単位：%)	10.3	11.6		11.4
平均従業員数	753	734	3%	742

現地通貨建ての損益計算書

(単位：百万ノルウェー・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
純利息収益	2,029	1,909	6%	3,874
純手数料及びコミッション収益	329	314	5%	657
金融取引による純損益	34	23	48%	55

保険リスク	1	7	-86%	11
その他の収益	8	3	167%	26
収益合計	2,400	2,256	6%	4,623
人件費	-474	-439	8%	-910
その他費用	-130	-79	65%	-194
内部購入及び売却されたサービス	-274	-258	6%	-512
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-43	-42	2%	-84
費用合計	-921	-818	13%	-1,700
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	1,479	1,438	3%	2,923
正味信用損失	-158	16		-150
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	2	3	-33%	6
リスク税及び破綻処理手数料	-169	-84	101%	-168
営業利益	1,153	1,373	-16%	2,611
利益配分	33	28	18%	54
利益配分後の営業利益	1,186	1,401	-15%	2,665

取引額

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

平均額	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
一般顧客への貸出金				
うち、個人	110.7	105.1	5%	106.8
うち、企業	175.5	170.3	3%	170.3
合計	286.1	275.4	4%	277.1
一般顧客からの預金及び借入金				
うち、個人	30.4	27.0	13%	27.8
うち、企業	65.9	63.8	3%	63.8
合計	96.3	90.8	6%	91.6

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

営業利益は、11%減少して1,211百万スウェーデン・クローネ(前年同期は1,367百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益に対する為替の影響は、74百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、営業利益は16%減少した。リスク税を調整後、営業利益は10%減少した。割当済資本に係る利益率は、10.3%(前年同期は11.6%)に減少した。C/I比率は、37.9%(前年同期は35.8%)であった。

収益合計は、12%増加して2,521百万スウェーデン・クローネ(前年同期は2,247百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、116百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、収益合計は6%増加した。

純利息収益は、12%増加して2,131百万スウェーデン・クローネ(前年同期は1,901百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、96百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は6%増加した。取引額の増加により、74百万スウェーデン・クローネのプラスの寄与が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は22百万スウェーデン・クローネ減少した。その他の影響により、純利息収益は81百万スウェーデン・クローネ増加した。

純手数料及びコミッション収益は、11%増加して346百万スウェーデン・クローネ(前年同期は313百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、18百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は5%増加した。この増加は、仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用事業、カストディ口座運用事業及びその他の資産運用事業による純コミッション収益が4%増加して192百万スウェーデン・クローネ(前年同期は184百万スウェーデン・クローネ)となったことに起因する。純コミッションは30%増加して、合計91百万スウェーデン・クローネ(前年同期は70百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、合計35百万スウェーデン・クローネ(前年同期は23百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、19%増加して-968百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-815百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計に対する為替の影響は、-45百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、費用合計は13%増加したが、これは主にリテール市場を中心とした、デジタル・ミーティング・プラットフォームの強化に焦点をあわせたIT投資の増加によるものであった。

人件費は、14%増加して-498百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-437百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、8%増加した。平均従業員数は3%増加して753名(前年同期は734名)となった。

その他の種類の費用は、24%増加して-470百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-378百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、18%増加した。

正味信用損失は、-166百万スウェーデン・クローネ(前年同期は16百万スウェーデン・クローネ)となり、その増加の大部分はエキスパートベースの引当金の変動によって説明された。信用損失率は、0.08%(前年同期は-0.01%)であった。

リスク税は-87百万スウェーデン・クローネ(前年同期はなし)であり、破綻処理手数料は-91百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-84百万スウェーデン・クローネ)となった。

事業の展開

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

貸出金の平均額の合計は4%増加して286.1十億ノルウェー・クローネ(前年同期は275.4十億ノルウェー・クローネ)となった。個人への貸出金は5%増加して110.7十億ノルウェー・クローネ(前年同期は105.1十億ノルウェー・クローネ)となり、企業への貸出金は3%増加して175.5十億ノルウェー・クローネ(前年同期は170.3十億ノルウェー・クローネ)となった。

預金の平均額の合計は、6%増加して96.3十億ノルウェー・クローネ(前年同期は90.8十億ノルウェー・クローネ)となった。個人からの預金は、13%増加して30.4十億ノルウェー・クローネ(前年同期は27.0十億ノルウェー・クローネ)となり、企業からの預金は、3%増加して65.9十億ノルウェー・クローネ(前年同期は63.8十億ノルウェー・クローネ)となった。

2022年度上半期において、ノルウェーにおける当行のミューチュアル・ファンドへの純流入額は、合計-2.0十億スウェーデン・クローネ(前年同期は2.3十億スウェーデン・クローネ)となった。運用資産合計は、36十億スウェーデン・クローネ(前年同期は39十億スウェーデン・クローネ)であった。

ハンデルスバンケン・ネザーランド

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
純利息収益	619	513	21%	1,076
純手数料及びコミッション収益	72	67	7%	224
金融取引による純損益	14	11	27%	32
その他の収益	0	0	0%	0
収益合計	705	591	19%	1,332
人件費	-216	-201	7%	-395
その他費用	-45	-39	15%	-76
内部購入及び売却されたサービス	-116	-82	41%	-176
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-24	-26	-8%	-50
費用合計	-401	-348	15%	-697
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	304	243	25%	635
正味信用損失	0	0		-5
リスク税及び破綻処理手数料	-42	-15	180%	-31
営業利益	262	228	15%	599
利益配分	0	1	-100%	1
利益配分後の営業利益	261	229	14%	600
内部収益	-244	-200	-22%	-401
C/I比率(単位：%)	56.9	58.8		52.3
信用損失率(単位：%)	0.00	0.00		0.01
割当済資本	3,221	2,856	13%	3,013
割当済資本に係る利益率(単位：%)	13.1	13.2		16.7
平均従業員数	351	336	4%	337

現地通貨建ての損益計算書

(単位：百万ユーロ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
純利息収益	59.0	50.6	17%	106.0
純手数料及びコミッション収益	6.9	6.5	6%	22.1
金融取引による純損益	1.3	1.0	30%	3.2
その他の収益	0.0	0.0	-90%	0.0
収益合計	67.3	58.1	16%	131.3
人件費	-20.6	-19.8	4%	-38.9

その他費用	-4.3	-3.8	13%	-7.5
内部購入及び売却されたサービス	-11.1	-8.1	37%	-17.4
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失	-2.3	-2.5	-8%	-4.9
費用合計	-38.3	-34.2	12%	-68.7
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	29.0	23.9	21%	62.6
正味信用損失	0.0	-		-0.5
リスク税及び破綻処理手数料	-4.0	-1.5	167%	-3.0
営業利益	25.0	22.4	12%	59.1
利益配分	-	0.1		0.1
利益配分後の営業利益	25.0	22.5	11%	59.2

取引額

(単位：百万ユーロ)

平均額	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
一般顧客への貸出金				
うち、個人	4,554	3,757	21%	3,935
うち、企業	3,316	2,773	20%	2,864
合計	7,871	6,530	21%	6,799
一般顧客からの預金及び借入金				
うち、個人	656	405	62%	500
うち、企業	3,366	2,103	60%	2,417
合計	4,023	2,508	60%	2,917

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

営業利益は、堅調な事業の展開に牽引され、15%改善して262百万スウェーデン・クローネ(前年同期は228百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益への為替の影響は、8百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、営業利益は12%増加した。またリスク税を調整後、営業利益は21%増加した。割当済資本に係る利益率は、13.1%(前年同期は13.2%)であり、C/I比率は、56.9%(前年同期は58.8%)に改善した。

収益合計は、19%増加して705百万スウェーデン・クローネ(前年同期は591百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、20百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、収益合計は16%増加した。

純利息収益は、21%増加して619百万スウェーデン・クローネ(前年同期は513百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、17百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は17%増加した。取引額の増加により、純利息収益に107百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、23百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、7%増加して72百万スウェーデン・クローネ(前年同期は67百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は2百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は6%増加した。仲介業務及びアドバイザリー・サービスを含むファンド運用事業、カスタ

ディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、13%増加して72百万スウェーデン・クローネ(前年同期は64百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、15%増加して-401百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-348百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、費用合計は12%増加した。人件費は、7%増加して-216百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-201百万スウェーデン・クローネ)となり、現地通貨では4%の増加を示した。平均従業員数は、4%増加して351名(前年同期は336名)となった。その他の種類の費用は、26%増加して合計-185百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-147百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、23%の増加に相当し、主にIT開発及び金融犯罪防止業務に係る費用の増加による。

正味信用損失は、0百万スウェーデン・クローネ(前年同期も0百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。信用損失率は、0.00%(前年同期も0.00%)であった。

リスク税は-23百万スウェーデン・クローネ(前年同期はなし)、破綻処理手数料は-19百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-15百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業の展開

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

貸出金の平均額の合計は、21%増加して7.9十億ユーロ(前年同期は6.5十億ユーロ)となった。個人への貸出金は、21%増加して4.6十億ユーロ(前年同期は3.8十億ユーロ)となり、企業への貸出金は、20%増加して3.3十億ユーロ(前年同期は2.8十億ユーロ)となった。

預金の平均額の合計は、60%増加して4.0十億ユーロ(前年同期は2.5十億ユーロ)となった。個人からの預金は、62%増加して0.7十億ユーロ(前年同期は0.4十億ユーロ)となり、企業からの預金は、60%増加して3.4十億ユーロ(前年同期は2.1十億ユーロ)となった。

2022年度上半期末現在のオプティミクスにおける運用資産は、合計1.9十億ユーロ(前年同期も1.9十億ユーロ)であった。

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
純利息収益	137	127	8%	245
純手数料及びコミッション収益	432	385	12%	786
金融取引による純損益	525	606	-13%	1,185
その他の収益	6	10	-40%	9
収益合計	1,100	1,128	-2%	2,225
人件費	-579	-619	-6%	-1,211
その他費用	-146	-193	-24%	-361
内部購入及び売却されたサービス	-198	-175	13%	-317
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-75	-106	-29%	-233
費用合計	-998	-1,093	-9%	-2,122
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	102	35	191%	103
正味信用損失	-5	-16	-69%	11
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	0	-10		-10
リスク税及び破綻処理手数料	-18	-11	64%	-22
営業利益	79	-2		82
利益配分	-261	-217	20%	-434
利益配分後の営業利益	-182	-219	17%	-352
内部収益	-160	-203	21%	-362
C/I比率(単位：%)	119.0	120.0		118.5
信用損失率(単位：%)	0.04	-0.02		-0.01
割当済資本	2,374	2,056	15%	2,575
割当済資本に係る利益率(単位：%)	-12.4	-15.9		-11.8
平均従業員数	581	663	-12%	647

キャピタル・マーケットについては、キャピタル・マーケットの商品に関連する手数料及びコミッション収益並びに金融取引による純損益の大部分が各本拠地市場の損益に計上されている。

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

営業利益は、79百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-2百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは費用の減少によるものであった。

収益合計は、2%減少して1,100百万スウェーデン・クローネ(前年同期は1,128百万スウェーデン・クローネ)となった。純手数料及びコミッション収益は、12%増加して432百万スウェーデン・クローネ(前年同期は385百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主にアドバイザー収益及び貸出手数料の増加によるものであった。金融取引による純損益は、13%減少して525百万スウェーデン・クローネ(前年同期は606百万スウェー

デン・クローネ)となったが、これは主に地政学的状況、エネルギー価格の上昇及びインフレ率の上昇を受けて生じた不確実性及び混乱によるものであった。

費用合計は、9%減少して-998百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,093百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費は、6%減少して-579百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-619百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは従業員数の減少によるものであった。平均従業員数は、12%減少して581名(前年同期は663名)となった。

その他の種類の費用は、55百万スウェーデン・クローネ減少して-419百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-474百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に国際業務のリストラクチャリングによるものであった。セグメントのその他の部分においても、費用の減少が報告された。

リスク税及び破綻処理手数料は、合計-18百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-11百万スウェーデン・クローネ)であった。

正味信用損失は、-5百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-16百万スウェーデン・クローネ)となり、信用損失率は、0.04%(前年同期は-0.02%)であった。

事業の展開

2022年度上半期において、当行は7.1十億ユーロ(前年同期は6.7十億ユーロ)に上る63の社債発行のアレンジを行い、そのうちグリーン・ボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドは1.7十億ユーロすなわち24%(前年同期は30%)を占めた。銀行融資だけでなく資本市場においても、サステナビリティ・リンク融資及びグリーン融資に対する顧客の関心は非常に高かった。

事業セグメントにより報告されないその他の部門

損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年 1月 - 6月期	2021年 1月 - 6月期	変動	2021年度 (通年)
純利息収益	402	377	7%	801
純手数料及びコミッション収益	121	131	-8%	241
金融取引による純損益	-476	-176	-170%	-242
保険リスク	-	-		-
関連会社の持分利益	-38	28		63
その他の収益	1,093	25		51
収益合計	1,102	385	186%	914
人件費	-1,763	-1,858	-5%	-3,267
その他費用	-1,757	-1,243	41%	-2,684
内部購入及び売却されたサービス	3,469	3,121	11%	6,204
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損損失	-292	-408	-28%	-726
費用合計	-342	-388	-12%	-473
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料				
控除前利益	760	-3		441
正味信用損失	19	-37		-9
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	1	-1		-
リスク税及び破綻処理手数料	-89	-8		-14
営業利益	691	-49		418
利益配分	19	19	0%	37
利益配分後の営業利益	710	-30		455
内部収益	1,978	1,977	0%	3,516
平均従業員数	2,827	2,908	-3%	2,905
デンマーク及びフィンランドにおける割当済資本	13,941	15,063	-7%	15,155

2021年1月 - 6月期と比較した2022年1月 - 6月期

事業セグメントにより報告されないその他の部門における営業利益は、691百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-49百万スウェーデン・クローネ)であった。

収益合計は、1,102百万スウェーデン・クローネ(前年同期は385百万スウェーデン・クローネ)に増加した。純利息収益は、合計402百万スウェーデン・クローネ(前年同期は377百万スウェーデン・クローネ)となった。前述の不動産売却により、その他の収益は1,093百万スウェーデン・クローネ(前年同期は25百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

費用合計は、12%減少した。人件費は、-1,763百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-1,858百万スウェーデン・クローネ)であり、オクトゴーネン利益分配制度への引当金の-137百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-247百万スウェーデン・クローネ)の減少により影響を受けた。その他の費用は、主にIT開発費の増加によ

り41%増加した。不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失は、28%減少して-292百万スウェーデン・クローネ(前年同期は-408百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に比較対象期間すなわち2021年度上半期中のITシステムの減損によるものであった。

平均従業員数は、3%減少して2,827名(前年同期は2,908名)となり、IT部の従業員数は、合計1,851名(前年同期は1,938名)となった。

4【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

5【研究開発活動】

該当事項なし。

第4【設備の状況】

1【主要な設備の状況】

2022年6月27日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

2【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

A種株式

(2022年9月21日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
6,000,000,000	1,944,777,165	4,055,222,835

B種株式

(2022年9月21日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
150,000,000	35,251,329	114,748,671

【発行済株式】

(2022年9月21日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品 取引所名又は 登録認可金融商品 取引業協会名	内容
無記名式 割当価額 ¹	A種株式	1,944,777,165	ナスダック ストックホルム	A種株式1株につき、1個の議決 権が付与される。
無記名式 割当価額 ¹	B種株式	35,251,329	ナスダック ストックホルム	B種株式1株につき、10分の1個 の議決権が付与される。
計	-	1,980,028,494	-	-

¹ 割当価額は、以下の算式に基づき計算される。

(株式資本残高 / 発行済株式数)

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3) 【発行済株式総数及び資本金の状況】

() A種株式

(2022年9月21日現在)

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2022年1月1日 時点	-	1,944,777,165	-	3,014,404,605.75	-

() B種株式

(2022年9月21日現在)

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2022年1月1日 時点	-	-	-	54,639,559.95	-

(4) 【大株主の状況】

以下の表において、保管銀行は通常は実際の株主ではなく、株主が複数の保管銀行を通じて所有している可能性がある。

(2022年6月30日現在)

名称	住所	A種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
インドゥストリーヴァルデン・インベスト・ エイ・ビー	スウェーデン	219,200,000	11.1	11.3
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9 [*]	米国	211,404,571	10.7	10.9
オクトゴーネン、スティフテルセン	スウェーデン	183,225,141	9.3	9.4
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ、W9 [*]	米国	147,874,044	7.5	7.6
BNY メロン NA (旧メロン)、W9 [*]	米国	80,250,549	4.1	4.1
ノーザン・トラスト・カンパニー、ロンドン支店 [*]	英国	64,887,647	3.3	3.3
ランドバークフォレターゲン・エイ・ビー、LE	スウェーデン	58,000,000	2.9	3.0
BNY メロン SA/NV (旧BNY)、W8IMY [*]	ベルギー	37,563,773	1.9	1.9
ブラウン・ブラザーズ・ハリマン&コー、W9 [*]	米国	30,083,909	1.5	1.5
J.P.モルガン・エス・イー、ルクセンブルク支 店、W8IMY/NQI [*]	ルクセンブルク	27,628,908	1.4	1.4

A種株式合計	1,944,777,165	98.2	99.8
--------	---------------	------	------

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

名称	住所	B種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
アヴァンザ・ペンション	スウェーデン	982,346	0.05	0.005
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ、 W9*	米国	745,251	0.04	0.004
BNY メロン SA/NV (旧BNY)、W8IMY*	ベルギー	530,176	0.03	0.003
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	436,143	0.02	0.002
スティフト・エディット及びエリック・ フェーンストレームス	スウェーデン	278,590	0.01	0.001
BNY メロン NA (旧メロン)、W9*	米国	243,498	0.01	0.001
SHB ルクセンブルク・シーエル・エーシーシー ティー・スウェーデン	ルクセンブルク	199,550	0.01	0.001
ランスフォルシェクリンガー・スヴェリエ・イン デックスナーラ	スウェーデン	159,061	0.01	0.001
スカンディア保険会社 (プブリクト)	スウェーデン	153,122	0.01	0.001
スウェドバンク・フォルシェクリン・エイ・ピー	スウェーデン	152,888	0.01	0.001
B種株式合計		35,251,329	1.8	0.2

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

2 【役員の状況】

2022年6月27日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループの邦文の連結中間財務書類及び当行グループの親会社の邦文の中間財務書類は、2022年度上半期の原文の中間財務書類を翻訳したものである。原文の中間財務書類は、当行グループの連結中間財務書類及び親会社の個別中間財務書類で構成されている。当行グループの連結中間財務書類は、EUにより採択された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年、第1559号)に準拠して作成されている。親会社の個別中間財務書類は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されている。また、当行グループ及び親会社の中間財務書類の日本における開示については、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)第76条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び手続並びに表示方法の相違点については、下記「第6 - 3 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 2022年度上半期の原文の中間財務書類は、監査を受けていない。

- c. 邦文の中間財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2022年8月26日(日本時間)現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1スウェーデン・クローネ = 12.91円のスウェーデン・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているスウェーデン・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、スウェーデン・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

- d. なお、中間財務書類中の括弧内の数値は比較数値を示している。

- e. 本「第6 経理の状況」において、「親会社」はスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトを意味する。

1【中間財務書類】

要約財務書類 - 当行グループ

損益計算書 - 当行グループ

		2022年度上半期		2021年度上半期	
		(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)
利息収益		21,942	283,271	17,889	230,947
うち、実効金利法による利息収益及び ヘッジ会計デリバティブに係る利息		20,501	264,668	17,190	221,923
利息費用		-5,540	-71,521	-2,889	-37,297
純利息収益	注記2	16,402	211,750	15,000	193,650
純手数料及びコミッション収益	注記3	5,652	72,967	5,428	70,075
金融取引による純損益	注記4	93	1,201	770	9,941
保険リスク		82	1,059	101	1,304
その他配当金収益		16	207	1	13
関連会社の持分利益		-38	-491	28	361
その他収益		1,136	14,666	69	891
収益合計		23,345	301,384	21,397	276,235
人件費		-6,337	-81,811	-6,467	-83,489
その他費用	注記5	-3,165	-40,860	-2,653	-34,250
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用		-813	-10,496	-936	-12,084
費用合計		-10,315	-133,167	-10,056	-129,823
信用損失、リスク税及び安定化手数料控 除前利益		13,030	168,217	11,341	146,412
正味信用損失	注記6	-62	-800	97	1,252
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益		18	232	6	77
リスク税及び安定化手数料		-1,153	-14,885	-465	-6,003
営業利益		11,832	152,751	10,979	141,739
法人税等		-2,386	-30,803	-2,317	-29,912
継続事業からの当期利益		9,446	121,948	8,662	111,826
非継続事業からの純利益	注記9	380	4,906	452	5,835
当期利益		9,826	126,854	9,114	117,662
帰属先：					
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・ エイ・ビーの株主		9,825	126,841	9,111	117,623
非支配株主持分		1	13	3	39

一株当たり利益 - 当行グループ

	2022年度上半期		2021年度上半期	
	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・				
エイ・ビーの株主に帰属する当期利益	9,825	126,841	9,111	117,623
- うち、転換可能劣後ローンに係る利息費用 (税引後)	-	-	-	-
平均発行済株式数、百万株	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0
平均発行済株式数、希薄化後、百万株	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0
一株当たり利益、スウェーデン・クローネ/円	4.96	64.03	4.60	59.39
- 希薄化後	4.96	64.03	4.60	59.39
継続事業からの一株当たり利益、 スウェーデン・クローネ/円	4.77	61.58	4.37	56.42
- 希薄化後	4.77	61.58	4.37	56.42
非継続事業からの一株当たり利益、 スウェーデン・クローネ/円	0.19	2.45	0.23	2.97
- 希薄化後	0.19	2.45	0.23	2.97

希薄化後の一株当たり利益は、発行済転換可能負債性金融商品の転換による影響を考慮して算定されている。これは、平均株式数が潜在株式によって調整され、当期の損益が発行済転換可能負債性金融商品に係る当期利息費用（税引後）によって調整されることを意味している。

包括利益計算書 - 当行グループ

	2022年度上半期		2021年度上半期	
	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)
当期利益	9,826	126,854	9,114	117,662
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
確定給付年金制度	4,236	54,687	6,771	87,414
その他包括利益を通じて公正価値で測定される 資本性金融商品	16	207	51	658
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-866	-11,180	-1,394	-17,997
うち、確定給付年金制度	-866	-11,180	-1,391	-17,958
うち、その他包括利益を通じて公正価値で 測定される資本性金融商品	-1	-13	-3	-39
損益計算書に組み替えられない項目合計	3,386	43,713	5,428	70,075
その後に損益計算書に組み替えられる可能性の ある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	-1,993	-25,730	-1,321	-17,054
その他包括利益を通じて公正価値で測定される 負債性金融商品	-74	-955	16	207
当期為替換算差額	1,752	22,618	1,539	19,868
うち、在外営業活動体に対する純投資のヘッジ	-201	-2,595	-777	-10,031
その後に損益計算書に組み替えられる可能性の ある項目に係る税金	460	5,939	431	5,564
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	411	5,306	272	3,512
うち、その他包括利益を通じて公正価値で 測定される負債性金融商品	9	116	-3	-39
うち、在外営業活動体に対する純投資のヘッジ	41	529	162	2,091
その後に損益計算書に組み替えられる可能性の ある項目合計	146	1,885	665	8,585
当期その他包括利益合計	3,531	45,585	6,093	78,661
当期包括利益合計	13,357	172,439	15,207	196,322
帰属先：				
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・ エイ・ビーの株主	13,355	172,413	15,204	196,284
非支配株主持分	2	26	3	39

四半期別業績推移 - 当行グループ

百万スウェーデン・クローネ	2022年度 第2四半期	2022年度 第1四半期	2021年度 第4四半期	2021年度 第3四半期	2021年度 第2四半期
利息収益	12,122	9,820	9,058	8,885	8,931
利息費用	-3,733	-1,807	-1,323	-1,299	-1,360
純利息収益	8,389	8,013	7,735	7,586	7,571
純手数料及びコミッション収益	2,741	2,911	3,163	2,867	2,766
金融取引による純損益	-147	240	395	534	429
保険リスク	41	41	29	49	34
その他配当金収益	15	1	1	0	0
関連会社の利益持分	-40	2	17	18	10
その他収益	38	1,098	453	33	46
収益合計	11,040	12,305	11,793	11,087	10,856
人件費	-3,164	-3,173	-3,145	-2,840	-3,192
その他費用	-1,602	-1,563	-1,594	-1,330	-1,373
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-382	-431	-448	-430	-495
費用合計	-5,148	-5,167	-5,187	-4,600	-5,060
信用損失、リスク税及び安定化手数料控除前利益	5,892	7,138	6,606	6,487	5,796
正味信用損失	-56	-6	-9	-131	108
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	4	14	4	4	11
リスク税及び安定化手数料	-594	-559	-232	-233	-243
営業利益	5,246	6,586	6,369	6,127	5,672
法人税等	-1,144	-1,242	-1,058	-1,252	-1,165
継続事業からの当期利益	4,102	5,344	5,311	4,875	4,507
非継続事業に係る当期利益（税引後）	73	307	-75	318	226
当期利益	4,176	5,650	5,236	5,193	4,733
一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	2.11	2.85	2.64	2.62	2.39
- 希薄化後	2.11	2.85	2.64	2.62	2.39

貸借対照表 - 当行グループ

		2022年6月30日		2021年12月31日	
		(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		569,790	7,355,989	291,584	3,764,349
中央銀行へのその他の貸出金	注記7	10,749	138,770	1,255	16,202
中央銀行への担保として適格な利付証券		114,338	1,476,104	100,538	1,297,946
その他金融機関への貸出金	注記7	27,385	353,540	21,745	280,728
一般顧客への貸出金	注記7	2,249,615	29,042,530	2,163,135	27,926,073
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値 変動		-15,158	-195,690	-1,900	-24,529
債券及びその他の利付証券		38,954	502,896	33,317	430,122
株式		20,179	260,511	19,471	251,371
関連会社に対する投資		532	6,868	478	6,171
顧客が価値変動リスクを負う資産		205,044	2,647,118	235,761	3,043,675
デリバティブ商品	注記10、11	55,078	711,057	28,508	368,038
無形資産		8,317	107,372	8,302	107,179
不動産及び器具備品	注記12	4,766	61,529	5,272	68,062
当期税金資産		2,442	31,526	469	6,055
繰延税金資産		1,133	14,627	845	10,909
正味年金資産		13,514	174,466	8,766	113,169
売却目的で保有する資産	注記9	354,426	4,575,640	421,417	5,440,493
その他資産		25,252	326,003	5,785	74,684
前払費用及び未収金		2,702	34,883	2,016	26,027
資産合計	注記16	3,689,057	47,625,726	3,346,764	43,206,723
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記13	121,449	1,567,907	83,034	1,071,969
一般顧客からの預金及び借入金	注記13	1,448,836	18,704,473	1,286,637	16,610,484
顧客が価値変動リスクを負う負債		205,044	2,647,118	235,761	3,043,675
発行済証券	注記14	1,484,153	19,160,415	1,353,768	17,477,145
デリバティブ商品	注記10、11	21,782	281,206	13,784	177,951
ショートポジション		14,140	182,547	4,105	52,996
保険負債		451	5,822	532	6,868
当期税金負債		1,016	13,117	108	1,394
繰延税金負債		6,209	80,158	5,276	68,113
引当金		864	11,154	1,026	13,246
売却目的で保有する負債	注記9	139,326	1,798,699	133,922	1,728,933
その他負債		17,935	231,541	11,304	145,935
未払費用及び繰延収益		3,658	47,225	3,519	45,430
劣後負債		38,516	497,242	32,257	416,438
負債合計	注記16	3,503,378	45,228,610	3,165,033	40,860,576
非支配株主持分		12	155	25	323

株式資本	3,069	39,621	3,069	39,621
資本剰余金	8,758	113,066	8,758	113,066
準備金	19,375	250,131	15,845	204,559
利益剰余金	144,639	1,867,289	134,507	1,736,485
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの 株主に帰属する当期利益	9,825	126,841	19,527	252,094
資本合計	185,679	2,397,116	181,731	2,346,147
負債及び資本合計	3,689,057	47,625,726	3,346,764	43,206,723

持分変動計算書 - 当行グループ

2022年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む利益 剰余金	非支配 株主 持分	合計
2022年期首資本	3,069	8,758	11,313	1,789	158	2,585	154,034	25	181,731
当期利益							9,825	1	9,826
その他包括利益			3,369	-1,582	-50	1,793		1	3,531
うち、資本の中での 分類変更						-505			-505
当期包括利益合計			3,369	-1,582	-50	1,793	9,825	2	13,357
利益剰余金への分類変更							505		505
配当金							-9,900		-9,900
非支配株主持分の変動								-15	
期末資本	3,069	8,758	14,683	206	108	4,378	154,464	12	185,679

2021年度 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む利益 剰余金	非支配 株主 持分	合計
2021年期首資本	3,069	8,758	5,891	3,353	94	-806	151,105	9	171,473
当期利益							19,527	16	19,543
その他包括利益			5,422	-1,564	64	3,391		0	7,313
うち、資本の中での 分類変更						-67			-67
当期包括利益合計			5,422	-1,564	64	3,391	19,527	16	26,856
利益剰余金への分類変更							67		67
配当金 [*]							-16,666		-16,666
ハンデルスバンケン・ピーエ ルシーの従業員に対する 株式報酬 ^{**}							37		37
自己株式の買戻し ^{**}							-36		-36
非支配株主持分の変動							-		-
期末資本	3,069	8,758	11,313	1,789	158	2,585	154,034	25	181,731

2021年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む利益 剰余金	非支配 株主 持分	合計
2021年期首資本	3,069	8,758	5,891	3,353	94	-806	151,105	9	171,473
当期利益							9,111	3	9,114
その他包括利益			5,380	-1,049	61	1,701		0	6,093
うち、資本の中での 分類変更						-18			-18
当期包括利益合計			5,380	-1,049	61	1,701	9,111	3	15,207
利益剰余金への分類変更							18		18
配当金							-8,118		-8,118

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
 半期報告書

ハンデルスバンケン・ピーエ
 ルシーの従業員に対する

株式報酬**							44		44
非支配株主持分の変動								-1	-1
期末資本	3,069	8,758	11,271	2,304	155	895	152,160	11	178,623

* 普通配当は8,118百万スウェーデン・クローネ、特別配当は8,548百万スウェーデン・クローネであった。特別配当は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーがスヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから取得したAB Industrivärdenの株式で分配された。

** 2020年以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は、株式報奨制度（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

2022年度上半期 百万円	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む利益 剰余金	非支配 株主 持分	合計
2022年期首資本	39,621	113,066	146,051	23,096	2,040	33,372	1,988,579	323	2,346,147
当期利益							126,841	13	126,854
その他包括利益			43,494	-20,424	-646	23,148		13	45,585
うち、資本の中での 分類変更						-6,520			-6,520
当期包括利益合計			43,494	-20,424	-646	23,148	126,841	26	172,439
利益剰余金への分類変更							6,520		6,520
配当金							-127,809		-127,809
非支配株主持分の変動								-194	
期末資本	39,621	113,066	189,558	2,659	1,394	56,520	1,994,130	155	2,397,116

2021年度 百万円	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む利益 剰余金	非支配 株主持 分	合計
2021年期首資本	39,621	113,066	76,053	43,287	1,214	-10,405	1,950,766	116	2,213,716
当期利益							252,094	207	252,300
その他包括利益			69,998	-20,191	826	43,778		0	94,411
うち、資本の中での 分類変更						-865			-865
当期包括利益合計			69,998	-20,191	826	43,778	252,094	207	346,711
利益剰余金への分類変更							865		865
配当金*							-215,158		-215,158

ハンデルスバンケン・
 ピーエルシーの従業員
 に対する

株式報酬**							478		478
自己株式の買戻し**							-465		-465
非支配株主持分の変動							-		-
期末資本	39,621	113,066	146,051	23,096	2,040	33,372	1,988,579	323	2,346,147

2021年度上半期 百万円	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む利益 剰余金	非支配 株主持 分	合計
------------------	------	-----------	--------------	------------	---------------------	-------------------	----------------------	-----------------	----

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
半期報告書

2021年期首資本	39,621	113,066	76,053	43,287	1,214	-10,405	1,950,766	116	2,213,716
当期利益							117,623	39	117,662
その他包括利益			69,456	-13,543	788	21,960		0	78,661
うち、資本の中での 分類変更						-232			-232
当期包括利益合計			69,456	-13,543	788	21,960	117,623	39	196,322
利益剰余金への分類変更							232		232
配当金							-104,803		-104,803
ハンデルスバンケン・ ピーエルシーの従業員 に対する 株式報酬**							568		568
非支配株主持分の変動								-13	-13
期末資本	39,621	113,066	145,509	29,745	2,001	11,554	1,964,386	142	2,306,023

* 普通配当は104,803百万円、特別配当は110,355百万円であった。特別配当は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーがスヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから取得したAB Industrivärdenの株式で分配された。

** 2020年以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は、株式報酬制度（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

要約キャッシュ・フロー計算書 - 当行グループ

	2022年度上半期		2021年度上半期	
	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)
営業利益	11,832	152,751	11,600	149,756
非継続事業からの利益(税引前)	554	7,152	-	-
損益及び非継続事業による損益における 非現金項目の調整	1,349	17,416	687	8,869
法人税の支払	-3,367	-43,468	-3,104	-40,073
営業活動による資産及び負債の変動	171,291	2,211,367	198,165	2,558,310
営業活動からのキャッシュ・フロー	181,658	2,345,205	207,348	2,676,863
子会社の取得/処分	1,273	16,434	-	-
株式の変動	-101	-1,304	-64	-826
不動産及び器具備品の変動	-185	-2,388	-98	-1,265
無形資産の変動	-304	-3,925	-247	-3,189
投資活動からのキャッシュ・フロー	683	8,818	-409	-5,280
劣後ローンの返済	-	-	-9,811	-126,660
劣後ローンの発行	5,260	67,907	-	-
配当金の支払	-9,900	-127,809	-8,118	-104,803
財務活動からのキャッシュ・フロー	-4,640	-59,902	-17,929	-231,463
期首流動資金	439,964	5,679,935	397,642	5,133,558
当期キャッシュ・フロー	177,701	2,294,120	189,010	2,440,119
流動資金の為替換算差額	25,168	324,919	11,445	147,755
期末流動資金*	642,833	8,298,974	598,097	7,721,432

* 流動資金は、現金及び中央銀行預け金である。

上記のキャッシュ・フロー計算書には、貸借対照表上、「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」としてそれぞれ分類変更された、処分グループのデンマーク及びフィンランドが含まれている。

[次へ](#)

注記1 会計方針

当中間報告書はIAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成されており、連結財務書類は国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）及びEUにより採択された同基準の解釈に準拠して作成されている。さらに、会計方針は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）並びにスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号「信用機関及び証券会社における年次報告」）にも準拠している。企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、及びスウェーデン財務報告審議会による意見書も連結財務書類に適用されている。

親会社の中間報告書はスウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法並びにスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号「信用機関及び証券会社における年次報告」）に準拠して作成されている。また、親会社はスウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及び同審議会による意見書も適用している。

会計方針の変更

2022年1月1日から適用される会計上の規制の変更が、当行グループ又は親会社の財務書類に及ぼした影響はない。

2022年の時点で、当行は信用機関に対するリスク税に関する法律（2021年第1256号）に従って、スウェーデン政府にリスク税を支払っている。リスク税の税金費用は、安定化手数料とともに、「リスク税及び安定化手数料」という損益計算書の個別の科目として表示されている。これに関連して、過年度には「純利息収益」に含まれる「利息費用」という損益計算書科目で認識されていた安定化手数料は、損益計算書科目の「リスク税及び安定化手数料」に振り替えられている。この振替の目的は、同様の性質の政府手数料を損益計算書の個別の科目として表示することである。比較数値は調整されている。

また、当行グループ及び親会社の中間報告書は、2021年度年次報告書及びサステナビリティ・レポートで適用されたものと同じ会計方針と算定手法に準拠して作成されている。

将来における規制の変更

IFRS第17号「保険契約」

IFRS第4号「保険契約」に置き換わるIFRS第17号がIASBによって公表され、EUにより採択された。本基準は2023年度より適用される予定である。IFRS第17号には、保険契約の認識、表示及び評価方法の変更と同時に開示要件の拡充が含まれている。

保険契約の認識における不一致を解消させる目的で、IFRS第17号では、ビルディング・ブロック・アプローチ、保険料配分アプローチ及び変動手数料アプローチの3つの測定アプローチに基づいた単一の評価原則を導入している。IFRS第17号では、保険契約の評価に関してビルディング・ブロック・アプローチを定めており、保険契約債務の価値はリスク・マージンと利益率を考慮した将来キャッシュ・フローの期待現在価値に基づき評価される。他の2つの評価アプローチは、特定の状況下で適用可能である。評価アプローチの選択は、契約条件（長期、短期又は利益創出）により決定される。当行はIFRS第17号の導入に向けたプロジェクトにより、現在、この新基準が当行グループの財務書類に及ぼす財務的な影響を分析中である。

IFRSにおけるその他の変更

その他の公表されている会計上の規制変更を適用しても、ハンデルスバンケンの財務報告書、自己資本比率、大口エクスポージャー及び規制要件が適用される他の状況のいずれにも重要な影響はないと評価している。

注記2 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
利息収益									
金融機関及び中央銀行への貸出金	926	228	307%	76		1,154	140		284
一般顧客への貸出金	10,209	9,394	9%	8,764	16%	19,603	17,506	12%	35,094
中央銀行への担保として適格な 利付証券	190	72	165%	69	176%	262	133	97%	306
債券及びその他の利付証券	164	112	46%	66	148%	276	130	112%	279
デリバティブ商品	445	-257		-300		188	-616		-1,245
その他利息収益	296	280	6%	263	13%	576	569	1%	1,111
合計	12,230	9,829	24%	8,938	37%	22,059	17,862	23%	35,829
金融取引による純損益に計上された 利息収益の控除	108	9		7		117	-27		-3
利息収益合計	12,122	9,820	23%	8,931	36%	21,942	17,889	23%	35,832
うち、実効金利法による利息収益及び ヘッジ会計デリバティブに係る利息	11,061	9,440	17%	8,605	29%	20,501	17,190	19%	34,483
利息費用									
金融機関及び中央銀行からの預り金	-190	-13		-44	332%	-203	-92	121%	-112
一般顧客からの預金及び借入金	-757	-206	267%	-106		-963	-191	404%	-371
発行済証券	-2,546	-1,636	56%	-1,568	62%	-4,182	-3,483	20%	-6,569
デリバティブ商品	78	464	-83%	707	-89%	542	1,696	-68%	3,073
劣後負債	-300	-300	0%	-232	29%	-600	-588	2%	-1,097
預金保証手数料	-67	-65	3%	-78	-14%	-132	-157	-16%	-241
その他利息費用	-78	-67	16%	-39	100%	-145	-74	96%	-232
合計	-3,860	-1,823	112%	-1,360	184%	-5,683	-2,889	97%	-5,549
金融取引による純損益に計上された 利息収益の控除	-127	-16		0		-143	0		-38
利息費用合計	-3,733	-1,807	107%	-1,360	174%	-5,540	-2,889	92%	-5,511
うち、実効金利法による利息費用及び ヘッジ会計デリバティブに係る利息	-3,441	-1,667	106%	-1,231	180%	-5,108	-2,607	96%	-5,011
純利息収益	8,389	8,013	5%	7,571	11%	16,402	15,000	9%	30,321

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これらは利息収益及び利息費用に正負いずれかの影響を及ぼす可能性がある。

注記3 純手数料及びコミッション収益

	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
仲介及びその他証券コミッション	109	143	-24%	140	-22%	252	287	-12%	555
ミューチュアル・ファンド	1,355	1,444	-6%	1,396	-3%	2,799	2,716	3%	5,842
カストディ及びその他の 資産管理手数料	224	251	-11%	221	1%	475	430	10%	905
アドバイザーサービス	33	105	-69%	56	-41%	138	119	16%	230
保険	199	209	-5%	197	1%	408	386	6%	803
決済	681	601	13%	675	1%	1,282	1,276	0%	2,647
貸出金及び預金	285	277	3%	290	-2%	562	576	-2%	1,155
保証	52	51	2%	54	-4%	103	108	-5%	207
その他	136	134	1%	141	-4%	270	275	-2%	560
手数料及びコミッション収益合計	3,075	3,215	-4%	3,170	-3%	6,290	6,173	2%	12,904
証券	-61	-57	7%	-56	9%	-118	-107	10%	-211
決済	-249	-223	12%	-329	-24%	-472	-601	-21%	-1,168
その他	-25	-24	4%	-19	32%	-49	-37	32%	-67
手数料及びコミッション費用合計	-334	-304	10%	-404	-17%	-638	-745	-14%	-1,446
純手数料及びコミッション収益	2,741	2,911	-6%	2,766	-1%	5,652	5,428	4%	11,458

セグメント別純手数料及びコミッション収益

	拠点市場							2022年度 上半期 合計
2022年度上半期	スウェー デン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタ ル・マー ケッツ	その他	調整及び 消去	
百万スウェーデン・クローネ								
仲介及びその他証券コミッション	106	2	8	5	127	9	-5	252
ミューチュアル・ファンド	2,417	172	124	29	6	98	-48	2,799
カストディ及びその他の資産管理手数料	344	15	60	38	23	1	-6	475
アドバイザーサービス		25			128	-7	-8	138
保険	395		13				0	408
決済	1,000	152	127	1	8	-5	0	1,282
貸出金及び預金	364	61	47	6	26	59	0	562
保証	54	8	22		20	1	-2	103
その他	257	4	4		160		-155	270
手数料及びコミッション収益合計	4,937	440	404	81	497	157	-225	6,290
手数料及びコミッション費用合計	-664	-31	-59	-9	-66	-36	225	-638
純手数料及びコミッション収益	4,273	409	346	72	432	121	0	5,652
うち、カード手数料純額	415	27	40			-6		475

2021年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	拠点市場				キャピタル・マーケット	その他	調整及び 消去	2021年度 上半期 合計
	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ				
仲介及びその他証券コミッション	141	4	9	5	136	-1	-7	287
ミューチュアル・ファンド	2,360	149	124	26	7	99	-49	2,716
カストディ及びその他の資産管理手数料	315	17	50	33	22	2	-9	430
アドバイザーサービス	2	23	1		99	-4	-2	119
保険	374		12			0	0	386
決済	1,030	130	111	1	8	-4	0	1,276
貸出金及び預金	370	62	43	10	24	67	0	576
保証	53	9	21		26		-2	108
その他	259	2	3		134	2	-125	275
手数料及びコミッション収益合計	4,904	396	374	75	456	161	-193	6,173
手数料及びコミッション費用合計	-738	-30	-61	-8	-71	-30	193	-745
純手数料及びコミッション収益	4,166	366	313	67	385	131	0	5,428
うち、カード手数料純額	415	15	33		0	-6		457

注記4 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
償却原価で計上	48	61	-21%	82	-41%	109	127	-14%	300
うち、貸出金	57	80	-29%	110	-48%	137	190	-28%	396
うち、利付証券	-	-		-		-	-		-
うち、発行済証券	-8	-19	58%	-28	71%	-27	-63	57%	-96
その他包括利益を通じて公正価値で計上	0	0	0%	0	0%	0	0	0%	0
うち、予想信用損失	0	0	0%	0	0%	0	0	0%	0
純損益を通じて公正価値で計上、 公正価値オプション	-1,559	-1,811	14%	-124		-3,370	-560		-900
うち、利付証券	-1,559	-1,811	14%	-124		-3,370	-560		-900
純損益を通じて公正価値で計上 (強制)(外貨換算影響額を含む)	1,526	2,187	-30%	471	224%	3,713	1,233	201%	2,347
ヘッジ会計	11	-2		14	-21%	9	-11		0
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	-3	2		13		-1	-12	92%	7
うち、キャッシュフロー・ヘッジの 非有効部分	13	-4		1		9	1		-7
保険契約の金融部分に係る損益	-172	-195	12%	-14		-367	-19		-48
金融取引による純損益	-147	240		429		93	770	-88%	1,699

注記5 その他費用

百万スウェーデン・クローネ	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
不動産及び建物設備	-142	-131	8%	-135	5%	-273	-280	-3%	-545
外部IT費用	-737	-685	8%	-550	34%	-1,422	-1,043	36%	-2,188
通信費	-60	-69	-13%	-66	-9%	-129	-136	-5%	-257

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
半期報告書

旅費及びマーケティング費用	-64	-38	68%	-27	137%	-102	-49	108%	-128
購入したサービス	-443	-469	-6%	-467	-5%	-912	-887	3%	-1,884
備品費	-38	-35	9%	-36	6%	-73	-72	1%	-140
その他諸費用	-114	-140	-19%	-92	24%	-254	-186	37%	-435
その他費用	-1,602	-1,563	2%	-1,373	17%	-3,165	-2,653	19%	-5,577

注記6 信用損失

	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
貸借対照表項目に係る予想信用損失									
ステージ3に分類された貸出金に対する 当期の引当金	-61	-9		-69	-12%	-70	-144	-51%	-403
ステージ3に分類された貸出金に対する引 当金の、過年度に他のステージに分類 された貸出金に対する引当金の戻入	59	46	28%	66	-11%	105	104	1%	173
ステージ3に分類された貸出金に対する 予想信用損失合計	-1	37		-3	-67%	36	-40		-230
ステージ2に分類された貸出金に対する 当期の引当金純額	-65	-13	400%	94		-78	38		188
ステージ1に分類された貸出金に対する 当期の引当金純額	-36	-4		2		-40	12		-9
ステージ1及びステージ2に分類された 貸出金に対する予想信用損失合計	-102	-17	500%	96		-119	50		179
貸借対照表項目に係る予想信用損失合計	-103	20		93		-83	10		-51
オフバランスシート項目に係る予想信用 損失									
ステージ3に分類されたオフバランスシ ート項目に対する当期の引当金純額	0	6	-100%	5	-100%	6	25	-76%	26
ステージ2に分類されたオフバランスシ ート項目に対する当期の引当金純額	5	-44		-18		-39	13		11
ステージ1に分類されたオフバランスシ ート項目に対する当期の引当金純額	-22	17		-13	69%	-5	-7	29%	-18
オフバランスシート項目に係る予想信用 損失合計	-17	-21	-19%	-26	-35%	-38	31		19
償却									
当期中の実際の信用損失	-90	-542	-83%	-81	11%	-632	-210	201%	-363
ステージ3に分類された貸出金に対する 従前の引当金の取崩	82	474	-83%	70	17%	556	181	207%	281
償却合計	-7	-68	-90%	-11	-36%	-75	-29	159%	-82
回収	72	62	16%	52	38%	134	85	58%	71
正味信用損失	-56	-6		108		-62	97		-43
うち、一般顧客への貸出金	-39	12		134		-27	64		-65

	2022年 第2四半期	2022年 第1四半期	2021年 第4四半期	2021年 第3四半期	2021年 第2四半期
百万スウェーデン・クローネ					
1) ステージ3に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に係 る予想信用損失	-1	43	-4	-185	2

ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの引当金の変動額：

マクロ経済シナリオ及びリスク要因の更新	-38	-16	1	6	14
影響を受けた業種のエクスポージャーのステージ1からステージ2への振替*	-1	9	10	5	-3
期首現在のポートフォリオのデフォルト確率の変動（格付の正味変動）	-14	-14	5	1	-33
エクスポージャーの変動の影響（既存／新規／終了したエクスポージャー）	17	14	24	17	6
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するその他の予想信用損失	14	-12	22	50	43
除外：非継続事業	-15	-12	-12	-8	4

ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの信用損失

-37 -31 50 71 31

エキスパートベースの引当金

エキスパートベースの引当金	-678	-599	-577	-605	-597
除外：非継続事業	85	87	78	102	103
継続事業におけるエキスパートベースの引当金	-593	-512	-499	-503	-494

ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する信用損失に影響を及ぼす引当金の当期変動額

-81 -13 4 -9 34

2) ステージ1及びステージ2に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に係る予想信用損失

-118 -44 54 62 65

3) 償却

-7 -68 -36 -17 -11

4) 回収

72 62 -23 9 52

正味信用損失 (1+2+3+4)

-56 -6 -9 -131 108

ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する引当必要額合計は、当第2四半期に増加した。当該引当金は、マクロ経済リスク要因及び顧客の移行により影響を受けるモデルベースの引当金と、エキスパートベースの引当金から構成される。モデルの基礎となるマクロ経済リスク要因の選択は、第1四半期から変更されていない。下降／基本（中立）／上昇のシナリオの確率加重である15％／70％／15％も変更されていない。更新されたマクロ経済リスク要因の仮定には、前四半期からのインフレ率の上昇、GDPの低下及び金利の上昇が反映されている。全体として、これらの要因に基づいて、モデルベースの引当金は37百万スウェーデン・クローネ増加した。

当第2四半期において、当行は、当行のリスクモデルでは十分に考慮されていないと考えられる不確実性要因に関連する信用リスクの上昇を踏まえて、エキスパートベースの引当金を適用した。これらの不確実性要因は主に、春の間の事業環境の急速な悪化に関連しており、ウクライナでの戦争による、サプライチェーンの大規模な混乱、投入財とエネルギーの不足及び特定のセクターでの労働力不足にある程度由来したものである。こうした課題を受け、当行は上記の不確実性要因が個々の企業レベルの信用リスクにどのように影響するかを当四半期末に評価する際に、供給とアクセスの混乱への感応度が特に高くなるリスクがあるセクターにエキスパートベースのストレスを適用した。このストレスは、モデルベースの算定に加えて適用され、追加の引当必要額は継続事業では593百万スウェーデン・クローネ、非継続事業を含めた場合は678百万スウェーデン・クローネとなっている。第1四半期末現在のこれらの金額は、それぞれ512百万スウェーデン・クローネ及び599百万スウェーデン・クローネであった。

ステージ3に分類された契約の減損テストプロセスは変更されておらず、個別評価の手続は従来通りに行われている。

一般顧客への貸出金 - 主要な数値

	2022年 6月30日	2022年 3月31日	2021年 12月31日	2021年 9月30日	2021年 6月30日
信用損失率、ACC、継続事業、%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
信用損失引当率合計、%	0.11	0.11	0.13	0.14	0.14
ステージ1に分類された貸出金に対する信用損失引当率、%	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
ステージ2に分類された貸出金に対する信用損失引当率、%	1.20	1.25	1.07	1.06	1.16
ステージ3に分類された貸出金に対する信用損失引当率、%	23.96	24.05	28.20	28.93	28.19
ステージ3に分類された貸出金の割合、%	0.19	0.20	0.22	0.22	0.22

主要な数値の定義については、handelsbanken.com/irから入手可能なファクト・ブックを参照のこと。上表の引当率及び貸出金の割合には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている（注記9を参照のこと）。

ECL算定におけるマクロ経済予測及び感応度分析

感応度分析、マクロ経済シナリオ

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は3つのシナリオで算定された予想の確率加重平均値である。基本シナリオの予想確率加重は70（70）%としており、一方で景気の上昇シナリオの予想確率加重は15（15）%、下降シナリオの予想確率加重は15（15）%としている。これらは、2022年6月30日現在のステージ1及びステージ2に分類された貸出金の予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上の 要因	下降シナリオ			基本シナリオ			上昇シナリオ		
	2022年	2023年	2024年	2022年	2023年	2024年	2022年	2023年	2024年
GDP成長率、%									
スウェーデン	-0.01	-1.57	2.51	2.39	0.99	1.71	4.39	3.49	1.41
英国	0.92	-1.98	2.60	3.20	1.20	1.80	4.61	3.68	1.50
ノルウェー	1.52	-0.89	1.83	3.62	1.91	1.03	5.63	4.41	0.73
デンマーク	1.52	-1.88	1.79	3.77	0.52	0.99	5.78	3.02	0.69
フィンランド	-0.59	-1.34	2.30	1.80	1.29	1.50	3.81	3.79	1.20
EU諸国	-0.10	-1.77	2.33	2.39	0.89	1.53	4.44	3.39	1.23
米国	0.50	-1.03	2.41	2.98	1.63	1.61	5.42	4.23	1.31
失業率、%									
スウェーデン	8.47	10.34	10.04	7.44	7.49	7.74	6.97	6.69	6.80
英国	6.84	8.93	7.39	4.50	5.33	4.89	3.34	3.93	3.69
ノルウェー	3.79	4.43	3.98	1.88	1.83	2.08	1.60	1.53	1.98
デンマーク	6.41	7.80	7.43	4.38	4.93	5.33	3.61	4.23	4.80
フィンランド	8.84	9.30	8.50	6.61	6.40	6.30	6.14	5.60	5.80
EU諸国	9.18	10.20	10.00	6.94	7.30	8.00	6.47	6.30	6.80
米国	5.87	6.48	6.19	3.53	3.78	4.24	3.27	3.18	3.74
政策金利、%									
スウェーデン	0.25	0.25	0.25	1.25	1.75	1.75	1.75	2.25	2.50
英国	0.25	0.25	0.25	1.50	1.50	1.50	1.75	2.00	2.25
ノルウェー	0.25	0.25	0.25	1.75	2.25	2.25	2.25	2.75	2.25
デンマーク	0.00	0.00	0.00	0.50	0.75	0.75	0.75	1.50	1.50
フィンランド	0.00	0.00	0.00	0.50	0.75	0.75	0.75	1.50	1.50
EU諸国	0.00	0.00	0.00	0.50	0.75	0.75	0.75	1.50	1.50
米国	1.88	1.13	1.13	2.63	2.63	2.38	2.88	3.13	3.08
オフィス不動産価格の上昇率、%									
スウェーデン	0.56	-12.88	-6.84	3.91	-6.29	-4.73	7.26	3.08	-4.18
英国	-1.55	-9.86	-1.33	3.90	-3.90	1.30	5.21	-0.11	3.41
ノルウェー	2.08	-4.44	1.95	5.01	-1.01	-0.01	8.85	6.92	-0.13
デンマーク	1.69	-14.55	-2.52	5.06	-8.02	-1.04	9.38	3.25	3.72
フィンランド	0.50	-0.48	0.21	2.02	0.51	0.02	3.89	2.54	1.81
EU諸国	3.56	2.95	2.35	2.63	2.40	2.00	2.14	2.10	1.70
米国	3.56	2.95	2.35	2.63	2.40	2.00	2.14	2.10	1.70
住宅価格の上昇率、%									

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

半期報告書

スウェーデン	-2.81	-10.01	-4.58	0.21	-1.79	-1.32	3.73	10.36	1.66
英国	-6.86	-6.44	0.97	2.90	-1.65	-4.21	5.72	0.23	-3.82
ノルウェー	-5.18	-7.27	-6.05	-2.71	1.89	-3.88	-0.45	13.77	-1.55
デンマーク	-5.68	-4.90	-1.89	-3.75	2.19	1.15	-1.73	11.17	3.77
フィンランド	-5.88	-8.69	-2.35	-2.80	0.18	0.03	0.18	11.62	1.77
EU諸国	-9.60	-8.89	-2.65	-7.18	0.98	-0.48	-6.72	13.37	3.17
米国	2.98	1.63	1.61	4.33	-4.53	-2.56	2.98	1.63	1.61

下表は、2022年6月30日現在のステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。

%	2022年6月30日		2021年12月31日	
	下降シナリオに おける引当金の増加	上昇シナリオに おける引当金の減少	下降シナリオに おける引当金の増加	上昇シナリオに おける引当金の減少
スウェーデン	12.07	-7.93	15.86	-9.53
英国	6.59	-4.06	9.63	-4.94
ノルウェー	7.74	-7.17	9.57	-6.25
デンマーク	9.40	-7.09	13.17	-6.73
フィンランド	0.44	-0.25	2.19	-0.27
オランダ	4.00	-3.16	8.01	-3.32
米国	29.55	-23.64	38.73	-27.24
その他諸国	2.26	-0.79	3.14	-0.82

注記7 貸出金

下表の貸借対照表項目には、2021年12月31日現在の貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている（注記9を参照のこと）。

減損テスト対象の貸出金及び利付証券、純額

百万スウェーデン・クローネ	2022年6月30日	2022年3月31日	2021年12月31日	2021年9月30日	2021年6月30日
現金及び中央銀行預け金	642,820	553,424	439,932	613,846	598,097
中央銀行へのその他の貸出金	11,037	1,468	1,462	1,927	18,307
中央銀行への担保として適格な利付証券	219	225	421	416	417
その他金融機関への貸出金	27,502	35,606	21,838	31,035	37,543
うち、リバース・レボ	16,349	17,351	12,127	15,075	15,542
一般顧客への貸出金	2,510,365	2,464,468	2,413,829	2,361,498	2,337,419
うち、リバース・レボ	13,175	12,785	13,649	15,768	13,655
債券及びその他の利付証券	9,664	9,284	9,016	8,680	8,596
合計	3,201,607	3,064,475	2,886,498	3,017,402	3,000,379

減損テスト対象の貸出金及び利付証券、ステージ別

百万スウェーデン・クローネ	2022年6月30日	2022年3月31日	2021年12月31日	2021年9月30日	2021年6月30日
取引高、総額	3,204,311	3,067,163	2,889,681	3,020,690	3,003,650
うち、ステージ1	3,135,265	3,004,694	2,817,860	2,941,211	2,922,590
うち、ステージ2	62,777	55,892	64,400	72,089	73,809
うち、ステージ3	6,269	6,577	7,421	7,390	7,251
引当金	-2,708	-2,692	-3,185	-3,290	-3,273
うち、ステージ1	-450	-410	-399	-381	-372
うち、ステージ2	-756	-700	-693	-771	-857
うち、ステージ3	-1,502	-1,582	-2,093	-2,138	-2,044

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、ステージ別

百万スウェーデン・クローネ	2022年6月30日	2022年3月31日	2021年12月31日	2021年9月30日	2021年6月30日
一般顧客への貸出金合計、総額	2,513,066	2,467,153	2,417,007	2,364,779	2,340,683
うち、ステージ1	2,444,020	2,404,698	2,345,196	2,285,309	2,259,639
うち、ステージ2	62,777	55,879	64,390	72,080	73,793
うち、ステージ3	6,269	6,577	7,421	7,390	7,251
引当金	-2,702	-2,686	-3,178	-3,281	-3,264
うち、ステージ1	-445	-406	-395	-376	-366
うち、ステージ2	-754	-698	-690	-767	-854
うち、ステージ3	-1,502	-1,582	-2,093	-2,138	-2,044

予想信用損失引当金の変動 - 貸出金及び利付証券

2022年6月30日現在

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-399	-693	-2,093	-3,185
認識中止した資産	20	32	88	140
償却	0	0	581	581
信用リスクの変動による再測定	-99	208	-40	69
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-6	-8	-5	-19
購入又は組成した資産	-25	-17	-4	-45
ステージ1への振替	-38	46	6	14
ステージ2への振替	47	-375	4	-324
ステージ3への振替	52	51	-40	62
期末現在引当金	-450	-756	-1,502	-2,708

2021年12月31日現在

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-389	-840	-2,238	-3,467
認識中止した資産	43	86	143	272
償却	0	2	391	393
信用リスクの変動による再測定	-123	151	-72	-44
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-13	-23	-60	-96
購入又は組成した資産	-61	-22	-21	-104
ステージ1への振替	-29	45	2	18
ステージ2への振替	59	-234	7	-168
ステージ3への振替	114	142	-245	11
期末現在引当金	-399	-693	-2,093	-3,185

予想信用損失引当金の変動 - 一般顧客への貸出金

2022年6月30日現在

百万スウェーデン・クローネ

	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-395	-690	-2,093	-3,178
認識中止した資産	20	32	88	140
償却	0	0	581	581
信用リスクの変動による再測定	-98	206	-40	68
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-7	-8	-5	-20
購入又は組成した資産	-25	-17	-4	-45
ステージ1への振替	-38	46	6	14
ステージ2への振替	47	-375	4	-324
ステージ3への振替	52	51	-40	62
期末現在引当金	-445	-754	-1,502	-2,702

2021年12月31日現在

百万スウェーデン・クローネ

	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-385	-834	-2,238	-3,457
認識中止した資産	43	86	143	272
償却	0	2	391	393
信用リスクの変動による再測定	-124	148	-72	-48
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-13	-23	-60	-96
購入又は組成した資産	-60	-22	-21	-103
ステージ1への振替	-29	45	2	18
ステージ2への振替	59	-234	7	-168
ステージ3への振替	114	142	-245	11
期末現在引当金	-395	-690	-2,093	-3,178

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は生成された資産及びステージ間で振り替えられた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表している。

一般顧客への貸出金 - セクター別

2022年6月30日 百万スウェーデン・クローネ	引当金控除前			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	1,242,808	23,553	3,203	-144	-110	-634	1,268,676
うち、住宅抵当ローン	1,040,580	17,908	1,122	-37	-27	-45	1,059,501
うち、その他の貸出金（不動産抵当付）	156,202	4,140	1,034	-25	-30	-113	161,208
うち、その他の貸出金（個人）	46,026	1,505	1,047	-82	-53	-476	47,967
住宅協同組合	279,219	1,254	49	-7	-2	-12	280,501
うち、住宅抵当ローン	254,147	793	11	-3	0	-7	254,941
不動産管理	692,470	21,948	1,664	-103	-102	-202	715,675
製造	25,696	4,420	54	-25	-109	-32	30,004
リテール	32,943	757	127	-10	-11	-64	33,742
ホテル及びレストラン	6,918	1,774	52	-8	-16	-7	8,713
海運	2,054	90	226	-2	-1	-75	2,292
その他運輸及び通信	10,558	576	56	-15	-35	-54	11,086
建設	17,412	3,500	124	-53	-182	-66	20,735
電気、ガス及び水道	10,667	319	4	-2	-6	-2	10,980
農業、狩猟及び林業	20,813	1,966	75	-25	-88	-32	22,709
その他サービス	19,231	742	137	-12	-8	-127	19,963
持株会社、投資会社、保険会社、 ファンド等	60,542	1,551	155	-23	-42	-101	62,082
ソブリン及び地方自治体	4,493	105	-	0	-1	-	4,597
うち、スウェーデン国債局	1,587	-	-	-	-	-	1,587
その他法人向け貸付	18,196	222	343	-16	-41	-94	18,610
合計	2,444,020	62,777	6,269	-445	-754	-1,502	2,510,365

2021年12月31日 百万スウェーデン・クローネ	引当金控除前			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	1,219,581	16,838	3,057	-159	-107	-758	1,238,452
うち、住宅抵当ローン	1,022,645	12,832	1,021	-30	-20	-52	1,036,396
うち、その他の貸出金（不動産抵当付）	154,163	2,677	911	-10	-7	-144	157,590
うち、その他の貸出金（個人）	42,773	1,329	1,125	-119	-80	-562	44,466
住宅協同組合	266,467	931	22	-7	-2	-11	267,400
うち、住宅抵当ローン	245,393	515	11	-3	0	-7	245,909
不動産管理	643,423	32,704	1,734	-96	-207	-237	677,321
製造	21,106	1,735	65	-12	-13	-39	22,842
リテール	30,086	760	387	-19	-41	-94	31,079
ホテル及びレストラン	3,933	4,986	59	-5	-137	-5	8,831
海運	2,369	604	1,205	-1	-8	-468	3,701
その他運輸及び通信	7,864	325	85	-10	-14	-63	8,187
建設	17,873	852	135	-23	-16	-73	18,748
電気、ガス及び水道	11,375	1,204	5	-4	-9	-3	12,568
農業、狩猟及び林業	22,029	979	73	-13	-11	-31	23,026
その他サービス	16,296	1,501	116	-20	-38	-91	17,764
持株会社、投資会社、保険会社、 ファンド等	60,868	634	177	-16	-10	-125	61,528
ソブリン及び地方自治体	7,305	89	-	0	-1	-	7,393
うち、スウェーデン国債局	2,173	-	-	-	-	-	2,173

その他法人向け貸付	14,621	248	301	-10	-76	-95	14,989
合計	2,345,196	64,390	7,421	-395	-690	-2,093	2,413,829

一般顧客への貸出金 - 不動産管理の内訳

2022年6月30日	引当金控除前			引当金			純額
百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	10,182	14	-	0	0	-	10,196
地方自治体が所有する不動産会社	8,294	-	-	0	-	-	8,294
住宅用不動産会社	129,783	4,498	28	-5	-5	-11	134,288
うち、住宅抵当ローン	118,276	4,314	18	-4	-4	-4	122,596
その他の不動産管理	137,572	3,338	200	-19	-10	-67	141,014
うち、住宅抵当ローン	68,968	1,694	28	-3	-5	0	70,682
スウェーデンにおける貸出金合計	285,831	7,850	228	-24	-15	-78	293,792
スウェーデン国外における貸出金							
英国	144,750	6,190	758	-36	-49	-73	151,540
ノルウェー	131,366	3,910	42	-22	-14	-3	135,279
デンマーク	23,641	714	101	-7	-10	-22	24,417
フィンランド	45,411	2,598	524	-4	-12	-21	48,496
オランダ	60,439	682	-	-10	-2	-	61,109
その他諸国	1,032	4	11	0	0	-5	1,042
スウェーデン国外における貸出金合計	406,639	14,098	1,436	-79	-87	-124	421,883
貸出金合計 - 不動産管理	692,470	21,948	1,664	-103	-102	-202	715,675

2021年12月31日	引当金控除前			引当金			純額
百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	7,894	14	-	0	0	-	7,908
地方自治体が所有する不動産会社	8,174	160	-	0	0	-	8,334
住宅用不動産会社	128,135	1,713	43	-5	-5	-7	129,874
うち、住宅抵当ローン	115,843	1,613	18	-4	-4	-4	117,462
その他の不動産管理	119,415	12,676	250	-11	-57	-101	132,172
うち、住宅抵当ローン	63,522	3,130	21	-3	-8	-3	66,659
スウェーデンにおける貸出金合計	263,618	14,563	293	-16	-62	-108	278,288
スウェーデン国外における貸出金							
英国	141,682	7,216	758	-38	-57	-66	149,495
ノルウェー	120,215	7,101	41	-21	-57	-3	127,276
デンマーク	23,186	594	99	-7	-13	-25	23,834
フィンランド	42,929	2,700	532	-5	-14	-30	46,112
オランダ	50,956	516	-	-9	-3	-	51,460
その他諸国	837	14	11	0	-1	-5	856
スウェーデン国外における貸出金合計	379,805	18,141	1,441	-80	-145	-129	399,033
貸出金合計 - 不動産管理	643,423	32,704	1,734	-96	-207	-237	677,321

一般顧客への貸出金 - 不動産管理：種類及び国別の担保の内訳

2022年6月30日 百万スウェーデン・クローネ、総額	スウェーデン			フィンランド			合計
	デン	英国	ノルウェー	デンマーク	ランド	オランダ	
政府保証	1,827	-	25	-	28,056	-	29,908
住宅	153,710	83,192	21,641	13,821	6,662	41,257	320,283
オフィス、リテール、ホテル	74,073	46,764	94,740	4,538	8,121	6,258	234,494
その他の不動産	14,702	1,869	65	3,156	1,175	12,501	33,468
製造、物流	16,704	12,451	91	426	3,053	436	33,161
農業、林業	1,799	879	38	66	1	-	2,783
その他の担保	13,123	3,176	2,169	1,628	540	544	21,180
無担保	17,971	3,041	15,742	537	530	125	37,946
未開発物件	-	326	807	284	395	-	1,812
合計	293,909	151,698	135,318	24,456	48,533	61,121	715,035

2021年12月31日 百万スウェーデン・クローネ、総額	スウェーデン			フィンランド			合計
	デン	英国	ノルウェー	デンマーク	ランド	オランダ	
政府保証	2,218	-	25	-	25,959	-	28,202
住宅	152,648	82,432	20,149	13,125	6,347	35,914	310,615
オフィス、リテール、ホテル	67,556	46,710	90,014	4,287	7,709	3,891	220,167
その他の不動産	12,829	929	91	3,169	1,218	10,836	29,072
製造、物流	16,463	12,395	144	517	3,618	290	33,427
農業、林業	1,768	828	38	88	1	-	2,723
その他の担保	8,453	3,131	2,052	1,824	603	278	16,341
無担保	16,539	2,837	13,888	656	404	263	34,587
未開発物件	-	394	956	213	302	-	1,865
合計	278,474	149,656	127,357	23,879	46,161	51,472	676,999

一般顧客への貸出金 - 不動産管理：国別の商業不動産の借入金比率（LTV）の内訳

2022年6月30日 借入金比率（LTV）、%	スウェーデン			フィンランド			合計
	デン	英国	ノルウェー	デンマーク	ランド	オランダ	
0-40	83.1	87.9	80.8	75.0	82.6	83.8	83.4
41-60	15.6	11.7	16.8	21.1	12.7	14.7	15.0
61-75	1.0	0.3	1.5	3.1	1.7	0.8	1.1
75超	0.2	0.1	0.9	0.9	3.0	0.7	0.5
平均借入金比率	46	43	50	53	45	48	47

2021年12月31日 借入金比率（LTV）、%	スウェーデン			フィンランド			合計
	デン	英国	ノルウェー	デンマーク	ランド	オランダ	
0-40	82.6	87.6	80.0	73.2	80.4	83.0	82.7
41-60	15.8	11.9	17.3	19.9	14.4	14.8	15.3
61-75	1.2	0.4	1.8	4.7	2.1	1.0	1.3
75超	0.4	0.1	0.9	2.2	3.1	1.2	0.7
平均借入金比率	47	44	51	56	47	49	48

借入金比率（LTV）は担保の市場価値に関連する融資額を表す。

一般顧客への貸出金 - 不動産管理：国別の住宅用不動産の借入金比率（LTV）の内訳

2022年6月30日 借入金比率（LTV）、％	スウェー デン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	合計
0-40	81.2	83.6	76.2	65.4	54.3	78.3	78.9
41-60	16.2	15.8	19.4	25.2	19.9	19.1	17.1
61-75	2.4	0.5	2.8	7.2	10.5	1.8	2.6
75超	0.2	0.2	1.6	2.1	15.3	0.8	1.4
平均借入金比率	48	47	54	62	84	53	51

2021年12月31日 借入金比率（LTV）、％	スウェー デン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	合計
0-40	80.5	83.2	75.1	65.2	55.6	77.1	78.5
41-60	16.6	16.2	21.6	25.0	19.5	20.4	17.6
61-75	2.7	0.5	2.5	7.5	9.9	1.8	2.7
75超	0.2	0.1	0.8	2.3	15.0	0.7	1.2
平均借入金比率	49	48	54	63	82	53	52

借入金比率（LTV）は担保の市場価値に関連する融資額を表す。

注記8 信用リスク・エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ	2022年6月30日	2022年3月31日	2021年12月31日	2021年9月30日	2021年6月30日
現金及び中央銀行預け金	642,833	553,450	439,964	613,846	598,097
中央銀行へのその他の貸出金	11,037	1,468	1,462	1,927	18,307
中央銀行への担保として適格な利付証券	114,356	122,020	100,562	95,694	89,197
その他金融機関への貸出金	27,502	35,606	21,838	31,035	37,543
うち、リバース・レボ	16,349	17,351	12,127	15,075	15,542
一般顧客への貸出金	2,510,365	2,464,468	2,413,829	2,361,498	2,337,419
うち、リバース・レボ	13,175	12,785	13,649	15,768	13,655
債券及びその他の利付証券	38,971	43,795	33,334	30,291	33,404
デリバティブ商品 [*]	55,088	24,343	28,518	27,520	25,632
偶発債務	69,517	77,919	71,756	73,183	75,896
コミットメント	491,180	480,812	486,517	486,808	478,732
合計	3,960,849	3,803,881	3,597,780	3,721,802	3,694,227

^{*} 正の市場価値合計を示している。

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている（注記9を参照のこと）。

注記9 売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業

ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、ハンデルスバンケンのデンマークにおける事業の譲渡に関して、Jyske Bank A/Sと合意に達した。フィンランドにおける事業の売却プロセスは、計画通りに進んでいる。当行のデンマーク及びフィンランドにおける事業の資産及び負債は、売却目的で保有する資産及び負債を構成し、IFRS第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に準拠する処分グループである。デンマーク及びフィンランドにおける事業は、非継続事業も構成している。

デンマークの処分グループ及び非継続事業は以下のユニットから成る。

- ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのデンマーク支店
- ・Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S
- ・Lokalbolig A/S
- ・Handelsbanken Kredit (スタッドフィボテック・エイ・ビー・プブリクトのデンマーク支店)
- ・Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S
- ・Handelsbanken Forsikringsformidling A/S

フィンランドの処分グループ及び非継続事業は以下のユニットから成る。

- ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのフィンランド支店
- ・Handelsbanken Asuntoluottopankki (スタッドフィボテック・エイ・ビー・プブリクトのフィンランド支店)
- ・ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビーのフィンランド支店
- ・フィンランドにおけるハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー

売却費用控除後の公正価値と帳簿価額のいずれか低い方の額による各処分グループの評価では、減損損失は一切生じていない。

売却目的で保有する資産及び負債

2022年6月30日 百万スウェーデン・クローネ	デンマーク	フィンランド	売却目的で保有 するその他資産	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	33,759	39,284	-	73,043
中央銀行へのその他貸出金	288	-	-	288
中央銀行への担保として適格な利付証券	18	0	-	18
その他金融機関への貸出金	27	90	-	117
一般顧客への貸出金	116,277	144,472	308	261,057
うち、個人	65,381	43,195	-	108,576
うち、企業	50,896	101,277	308	152,481
債券及びその他の利付証券	17	0	-	17
株式 [*]	500	2	-	502
顧客が価値変動リスクを負う資産	5,493	8,974	-	14,467
無形資産	2,744	115	-	2,859
不動産及び器具備品	256	369	-	625
その他資産	403	1,030	-	1,433
資産合計	159,782	194,335	308	354,426
負債				
金融機関からの預り金	574	1,521	-	2,095
一般顧客からの預金及び借入金	63,966	55,961	-	119,927
うち、個人	25,217	20,907	-	46,124
うち、企業	38,749	35,054	-	73,803
顧客が価値変動リスクを負う負債	5,493	8,974	-	14,467
引当金	45	306	-	351
その他負債	587	1,899	-	2,486
負債合計	70,665	68,661	-	139,326

^{*} これらの資産に関連する累計額56（47）百万スウェーデン・クローネは、「その他包括利益」及び資本の「公正価値評価差額準備金」に計上されている。

売却目的で保有するその他資産308（364）百万スウェーデン・クローネは、Handelsbanken Rahoitus Oyにおけるファイナンス・リースから構成され、貸借対照表上、貸出金として認識されている。計画では、2022年度中に当該リース契約を売却する予定である。

2021年12月31日 百万スウェーデン・クローネ	デンマーク	フィンランド	売却目的で保有 するその他資産	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	28,282	120,098	-	148,380
中央銀行へのその他貸出金	207	0	-	207
中央銀行への担保として適格な利付証券	24	0	-	24
その他金融機関への貸出金	36	57	-	93
一般顧客への貸出金	111,380	139,314	302	250,996
うち、個人	64,292	43,253	1	107,546
うち、企業	47,088	96,061	301	143,450
債券及びその他の利付証券	17	0	-	17

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
半期報告書

株式 [*]	462	1	-	463
顧客が価値変動リスクを負う資産	6,770	10,457	-	17,227
無形資産	2,628	113	-	2,741
不動産及び器具備品	241	336	62	639
その他資産	313	317	-	630
資産合計	150,360	270,693	364	421,417
負債				
金融機関からの預り金	230	344	-	574
一般顧客からの預金及び借入金	54,135	59,984	-	114,119
うち、個人	23,662	19,699	-	43,361
うち、法人	30,473	40,285	-	70,757
顧客が価値変動リスクを負う負債	6,770	10,457	-	17,227
引当金	57	78	-	135
その他負債	514	1,353	-	1,867
負債合計	61,706	72,216	-	133,922

デンマーク及びフィンランドの非継続事業からの収益、費用及び利益

百万スウェーデン・クローネ	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
純利息収益	732	646	13%	673	9%	1,378	1,320	4%	2,606
純手数料及びコミッション収益	296	307	-4%	289	2%	603	590	2%	1,190
金融取引による純損益	-15	37		57		22	113	-81%	225
リスク費用 - 保険	-2	2		3		0	5	-100%	8
その他収益	13	5	160%	7	86%	18	10	76%	180
収益合計	1,024	997	3%	1,029	0%	2,021	2,038	-1%	4,209
人件費	-362	-338	7%	-344	5%	-700	-717	-2%	-1,427
その他費用	-533	-225	137%	-238	124%	-758	-521	45%	-1,184
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	-1	-1	0%	-30	-97%	-2	-61	-97%	-304
費用合計	-896	-564	59%	-612	46%	-1,460	-1,299	12%	-2,915
正味信用損失	58	16	263%	-61		74	-42		64
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	0	0	0%	0	0%	0	0	0%	-2
リスク税及び安定化手数料	-44	-38	16%	-40	10%	-82	-76	8%	-151
非継続事業からの税引前当期利益	143	411	-65%	316	-55%	554	621	-11%	1,205
法人税等	-69	-105	-34%	-90	-23%	-174	-169	3%	-510
非継続事業からの税引後当期利益	73	307	-76%	226	-68%	380	452	-16%	695
上記の損益計算書上消去されている、									
継続事業との間の重要な内部取引*：									
収益合計	24	140		96		164	176		452
費用合計	-57	-61		-65		-118	-123		-225

* 継続事業及び非継続事業双方からの利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達される。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。

デンマークの非継続事業からの収益、費用及び利益

	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
純利息収益	407	411	-1%	398	2%	818	790	4%	1,602
純手数料及びコミッション収益	188	202	-7%	189	-1%	390	385	1%	757
金融取引による純損益	-23	27		41		4	85	-95%	171
リスク費用 - 保険	1	0		1	0%	1	1	0%	1
その他収益	1	2	-50%	3	-67%	3	5	-42%	40
収益合計	574	642	-11%	632	-9%	1,216	1,266	-4%	2,571
人件費	-212	-206	3%	-204	4%	-418	-445	-6%	-885
その他費用	-154	-135	14%	-120	28%	-289	-274	5%	-554
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	-1	1		-14	-93%	0	-29		-44
費用合計	-367	-340	8%	-338	9%	-707	-748	-5%	-1,483
正味信用損失	46	17	171%	-16		63	7		23
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	0	0	0%	0	0%	0	0	0%	-2
リスク税及び安定化手数料	-17	-14	21%	-16	6%	-31	-31	0%	-62
非継続事業からの税引前当期利益	237	304	-22%	262	-10%	541	494	9%	1,047
法人税等	-42	-67	-36%	-47	-10%	-109	-95	15%	-193
非継続事業からの税引後当期利益	194	238	-18%	215	-10%	432	399	8%	854
上記の損益計算書上消去されている、 継続事業との間の重要な内部取引*：									
収益合計	-23	-22		-35		-45	-80		-142
費用合計	-23	-24		-23		-47	-44		-88

* 継続事業及び非継続事業双方からの利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達される。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。

フィンランドの非継続事業からの収益、費用及び利益

百万スウェーデン・クローネ	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
純利息収益	324	235	38%	275	18%	559	530	5%	1,004
純手数料及びコミッション収益	108	105	3%	100	8%	213	205	4%	433
金融取引による純損益	8	10	-20%	16	-50%	18	28	-36%	54
リスク費用 - 保険	-3	2		2		-1	4		7
その他収益	12	3	300%	4	200%	15	5	200%	140
収益合計	450	356	26%	397	13%	806	772	4%	1,638
人件費	-149	-132	13%	-140	6%	-281	-272	3%	-542
その他費用	-379	-90	321%	-118	221%	-469	-247	90%	-630
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	0	-2		-16		-2	-32	-94%	-260
費用合計	-529	-224	136%	-274	93%	-753	-551	37%	-1,432
正味信用損失	12	-1		-45		11	-49		41
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	0	0	0%	0	0%	0	0	0%	0
リスク税及び安定化手数料	-28	-23	22%	-24	17%	-51	-45	13%	-89
非継続事業からの税引前当期利益	-94	107		54		13	127	-90%	158
法人税等	-27	-38	-29%	-43	-37%	-65	-74	-12%	-317
非継続事業からの税引後当期利益	-121	69		11		-52	53		-159
上記の損益計算書上消去されている、 継続事業との間の重要な内部取引*：									
収益合計	47	162		131		209	256		594
費用合計	-34	-37		-42		-71	-79		-137

* 継続事業及び非継続事業双方からの利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達される。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。

デンマークの非継続事業からの手数料及びコミッション収益

	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
仲介及びその他証券コミッション	10	13	-23%	14	-29%	23	34	-32%	60
ミューチュアル・ファンド	39	43	-9%	43	-9%	82	82	0%	173
カストディ及びその他の資産管理手数料	40	47	-15%	46	-13%	87	96	-9%	179
アドバイザーサービス	4	11	-64%	7	-43%	15	12	25%	19
保険	6	12	-50%	7	-14%	18	13	38%	24
決済	42	39	8%	44	-5%	81	81	0%	171
貸出金及び預金	18	15	20%	16	13%	33	33	0%	61
保証	21	18	17%	18	17%	39	36	8%	72
その他	16	22	-27%	20	-20%	38	47	-19%	83
手数料及びコミッション収益合計	196	220	-11%	215	-9%	416	434	-4%	842

フィンランドの非継続事業からの手数料及びコミッション収益

	2022年 第2 四半期	2022年 第1 四半期	変動	2021年 第2 四半期	変動	2022年度 上半期	2021年度 上半期	変動	2021年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
仲介及びその他証券コミッション	2	3	-33%	6	-67%	5	13	-62%	27
ミューチュアル・ファンド	2	2	0%	2	0%	4	4	0%	7
カストディ及びその他の資産管理手数料	11	13	-15%	12	-8%	24	23	4%	48
アドバイザーサービス	-	-		-		-	-		4
保険	21	22	-5%	21	0%	43	41	5%	87
決済	60	48	25%	80	-25%	108	152	-29%	297
貸出金及び預金	18	20	-10%	22	-18%	38	47	-19%	90
保証	5	5	0%	5	0%	10	10	0%	20
その他	3	4	-25%	3	0%	7	7	0%	15
手数料及びコミッション収益合計	122	117	4%	151	-19%	239	297	-20%	595

非継続事業からのキャッシュ・フロー

百万スウェーデン・クローネ	2022年度上半期	2021年度上半期	2021年度通期
営業活動からのキャッシュ・フロー	-74,764	17,033	28,015
投資活動からのキャッシュ・フロー	-17	-110	-189
財務活動からのキャッシュ・フロー	-3,494	-45	-45
非継続事業からの当期キャッシュ・フロー	-78,275	16,878	27,781

注記10 デリバティブ

百万スウェーデン・クローネ	2022年6月30日	2022年3月31日	2021年12月31日	2021年9月30日	2021年6月30日
正の市場価値					
トレーディング	82,854	46,136	28,751	25,773	24,727
公正価値ヘッジ	15,482	8,756	3,563	3,095	2,706
キャッシュフロー・ヘッジ	24,507	12,332	16,229	18,917	19,128
相殺されている金額	-67,765	-42,891	-20,035	-20,265	-20,929
合計	55,078	24,333	28,508	27,520	25,632
負の市場価値					
トレーディング	62,347	42,735	23,729	21,699	22,444
公正価値ヘッジ	17,955	10,690	2,428	1,439	1,082
キャッシュフロー・ヘッジ	3,287	5,131	4,683	6,279	8,202
相殺されている金額	-61,807	-38,737	-17,056	-16,720	-17,476
合計	21,782	19,819	13,784	12,697	14,252
想定元本					
トレーディング	4,297,270	4,177,320	3,407,181	2,880,967	2,791,194
公正価値ヘッジ	551,758	500,721	460,982	434,999	392,131
キャッシュフロー・ヘッジ	578,984	561,381	588,069	653,614	649,098
相殺されている金額	-2,784,212	-2,760,110	-2,691,986	-2,321,741	-2,337,844
合計	2,643,800	2,479,312	1,764,246	1,647,839	1,494,579

本注記のデリバティブ契約は総額で表示されている。貸借対照表上相殺されている金額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（中央清算される契約を含む）の市場価値のうち相殺されているものを表している。これらの契約は、貸借対照表において、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

注記11 金融商品の相殺

2022年6月30日

百万スウェーデン・クローネ

	デリバティブ	レボ契約、 証券借入及び 類似した契約	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融資産			
総額	122,843	35,790	158,633
相殺される金額	-67,765	-4,340	-72,105
貸借対照表計上額	55,078	31,450	86,528
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-9,257	-	-9,257
担保として受領した金融資産	-36,440	-31,442	-67,882
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-45,697	-31,442	-77,139
純額	9,381	8	9,389
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融負債			
総額	83,589	15,646	99,235
相殺される金額	-61,807	-4,340	-66,147
貸借対照表計上額	21,782	11,306	33,088
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-9,257	-	-9,257
担保として差し入れた金融資産	-1,630	-11,306	-12,936
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-10,887	-11,306	-22,193
純額	10,895	-	10,895

2021年12月31日 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	レボ契約、 証券借入及び 類似した契約	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融資産			
総額	48,543	33,836	82,379
相殺される金額	-20,035	-7,110	-27,145
貸借対照表計上額	28,508	26,726	55,234
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-9,294	-	-9,294
担保として受領した金融資産	-13,322	-26,700	-40,022
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-22,616	-26,700	-49,316
純額	5,892	26	5,918
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融負債			
総額	30,840	7,323	38,163
相殺される金額	-17,056	-7,110	-24,166
貸借対照表計上額	13,784	213	13,997
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-9,294	-	-9,294
担保として差し入れた金融資産	-1,467	-213	-1,680
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-10,761	-213	-10,974
純額	3,023	-	3,023

デリバティブ商品は、2つ以上のデリバティブの決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。中央清算機関とのレボ及びリバース・レボは、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、支払が停止された場合に、ネットティング契約を通じて（すなわち、倒産時に同一の取引相手とのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって）軽減されている。ハンデルスバンケンは、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。レボ並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保には、通常、現金又は他の有価証券が利用される。

デリバティブ資産について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客からの預金及び借入金による現金担保13,543（3,315）百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。デリバティブ負債について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客への貸出金による現金担保7,585（335）百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。

注記12 のれん及びその他無形資産

	のれん			その他無形資産			合計		
	2022年度 上半期	2021年度 上半期	2021年度 通期	2022年度 上半期	2021年度 上半期	2021年度 通期	2022年度 上半期	2021年度 上半期	2021年度 通期
百万スウェーデン・クローネ									
期首現在残存価値	4,357	6,822	6,822	3,945	4,508	4,508	8,302	11,330	11,330
当期中の増加	-	-	-	301	247	539	301	247	539
売却目的で保有する資産への 分類変更	-	-	-2,569	-	-	-172	-	-	-2,741
当期中の償却	-	-	-	-328	-339	-669	-328	-339	-669
当期中の減損	-	-	-18	-	-63	-313	-	-63	-331
外貨換算影響額	18	54	122	24	31	52	42	85	174
期末現在残存価値	4,375	6,876	4,357	3,942	4,384	3,945	8,317	11,260	8,302

注記13 金融機関からの預り金、一般顧客からの預金及び借入金

百万スウェーデン・クローネ	2022年6月30日	2022年3月31日	2021年12月31日	2021年9月30日	2021年6月30日
金融機関からの預り金	121,449	111,179	83,034	123,027	126,690
うち、レボ	-	-	-	138	58
一般顧客からの預金及び借入金	1,448,836	1,377,477	1,286,637	1,449,474	1,427,959
うち、レボ	11,306	10,863	213	18,702	12,749

注記14 発行済証券

百万スウェーデン・クローネ	2022年度上半期	2021年度上半期	2021年度通期
期首現在発行済証券	1,353,768	1,310,737	1,310,737
発行済	567,376	497,923	1,015,801
買戻	-27,614	-31,399	-54,381
満期が到来したもの	-461,016	-409,235	-939,884
外貨換算影響額等	51,639	13,818	21,495
期末現在発行済証券	1,484,153	1,381,844	1,353,768

注記15 担保として差し入れた資産、偶発債務及びコミットメント

百万スウェーデン・クローネ	2022年 6月30日	2022年 3月31日	2021年 12月31日	2021年 9月30日	2021年 6月30日
自己の債務の担保として差し入れた資産	954,996	1,000,172	971,433	979,024	933,844
その他担保資産	16,629	15,041	14,230	47,701	51,563
偶発債務	69,517	77,919	71,756	73,183	75,896
コミットメント	491,180	480,812	486,517	486,808	478,732

注記16 金融資産及び負債の分類

2022年6月30日	純損益を通じて公正価値で計上				償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じて 公正価値で 測定			
百万スウェーデン・クローネ							
資産							
現金及び中央銀行預け金					642,833	642,833	642,833
中央銀行へのその他の貸出金					11,037	11,037	11,037
中央銀行への担保として適格な 利付証券	2,618	111,519		201	18	114,356	114,356
その他金融機関への貸出金					27,502	27,502	27,114
一般顧客への貸出金					2,510,365	2,510,365	2,471,734
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動					-15,158	-15,158	
債券及びその他の利付証券	9,385	19,922		9,664		38,971	38,971
株式	19,729			952		20,681	20,681
顧客が価値変動リスクを負う資産	219,441				69	219,510	219,510
デリバティブ商品	33,929		21,159			55,088	55,088
その他資産	42				26,314	26,356	26,356
合計	285,144	131,441	21,159	10,817	3,202,980	3,651,541	3,627,680
関連会社に対する投資						532	
非金融資産						36,984	
資産合計						3,689,057	
負債							
金融機関からの預り金					123,543	123,543	123,726
一般顧客からの預金及び借入金					1,568,764	1,568,764	1,568,667
顧客が価値変動リスクを負う負債		219,441			69	219,511	219,511
発行済証券	1,319				1,482,833	1,484,153	1,427,195
デリバティブ商品	15,704		6,100			21,804	21,804
ショートポジション	14,140					14,140	14,140
その他負債	85				19,602	19,687	19,687
劣後負債					38,516	38,516	37,903
合計	31,248	219,441	6,100		3,233,327	3,490,118	3,432,633
非金融負債						13,260	
負債合計						3,503,378	

2021年12月31日	純損益を通じて公正価値で計上				償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じて 公正価値で 測定			
百万スウェーデン・クローネ							
資産							
現金及び中央銀行預け金					439,964	439,964	439,964
中央銀行へのその他の貸出金					1,462	1,462	1,462
中央銀行への担保として適格な 利付証券	2,513	97,628		397	24	100,562	100,562
その他金融機関への貸出金					21,838	21,838	21,839
一般顧客への貸出金					2,413,829	2,413,829	2,416,796

ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動							
					-1,900	-1,900	
債券及びその他の利付証券	5,310	19,008		9,016		33,334	33,334
株式	19,026			908		19,934	19,934
顧客が価値変動リスクを負う資産	252,924				64	252,988	252,988
デリバティブ商品	17,300		11,218			28,518	28,518
その他資産	18				6,147	6,165	6,165
合計	297,091	116,636	11,218	10,321	2,881,428	3,316,694	3,321,562
関連会社に対する投資						478	
非金融資産						29,592	
資産合計						3,346,764	
負債							
金融機関からの預り金					83,608	83,608	83,992
一般顧客からの預金及び借入金					1,400,757	1,400,757	1,400,721
顧客が価値変動リスクを負う負債		252,924			64	252,988	252,988
発行済証券	1,681				1,352,087	1,353,768	1,359,934
デリバティブ商品	8,843		4,966			13,809	13,809
ショートポジション	4,105					4,105	4,105
その他負債	7				12,405	12,412	12,412
劣後負債					32,257	32,257	33,645
合計	14,636	252,924	4,966		2,881,178	3,153,704	3,161,606
非金融負債						11,329	
負債合計						3,165,033	

上表の資産及び負債には、2021年12月31日現在の貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのデンマーク及びフィンランドが含まれている（注記9を参照のこと）。

注記17 金融商品の公正価値測定

2022年6月30日

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
中央銀行への担保として適格な利付証券	113,657	681	-	114,338
債券及びその他の利付証券	30,612	8,359	-	38,971
株式	19,377	626	678	20,681
顧客が価値変動リスクを負う資産	218,415	516	510	219,441
デリバティブ商品	128	54,911	49	55,088
合計	382,189	65,093	1,237	448,519

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	218,415	516	510	219,441
発行済証券	-	1,319	-	1,319
デリバティブ商品	121	21,634	49	21,804
ショートポジション	13,924	216	-	14,140
合計	232,460	23,685	559	256,704

2021年12月31日

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
中央銀行への担保として適格な利付証券	100,213	325	-	100,538
債券及びその他の利付証券	25,561	7,773	-	33,334
株式	18,386	909	639	19,934
顧客が価値変動リスクを負う資産	251,977	463	484	252,924
デリバティブ商品	22	28,453	43	28,518
合計	396,159	37,923	1,166	435,248

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	251,977	463	484	252,924
発行済証券	-	1,681	-	1,681
デリバティブ商品	46	13,720	43	13,809
ショートポジション	3,903	202	-	4,105
合計	255,926	16,066	527	272,519

上表の金融商品には、2021年12月31日現在の貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのデンマーク及びフィンランドが含まれている（注記9を参照のこと）。

評価プロセス

リスク・コントロール部門は、当行グループの金融商品が正確に評価されていることを確認している。可能な限り外部データに基づいて行われる。

活発な市場で取引されている金融商品の公正価値は、市場相場価格と同一である。活発な市場とは、相場価格を規制市場、決済機関、信頼性のある情報サービス又は同等のものから容易にかつ定期的に入手可能であり、受領した価格情報が継続的な取引の発生により検証可能な市場である。最新の市場価格は、買呼値と売呼値の範囲内で、その状況において公正価値を最もよく表す価格である。当行がその市場リスクを正味エクスポージャーに基づき管理している金融商品グループの最新の市場価格は、その正味ポジションが処分される場合に受け取るであろう価格又は支払うであろう価格と同一であると仮定されている。

金融商品の市場価格に関して信頼できる情報が存在しない場合には、公正価値は評価モデルを用いて算定されている。これらのモデルは、その商品の性質に応じて、例えば、価格比準法、現在価値技法、オプション価格算定モデルを基礎とすることができる。

評価ヒエラルキー

上表の公正価値で計上される金融商品は、適用された評価方法及び評価時に使用した市場データの透明性の程度に応じて区分されている。その区分は、上表においてレベル1から3で示されている。直接的かつ流動性が高い市場価格で評価される金融商品は、レベル1に区分されている。これらの金融商品は、主に活発に取引されている国債及びその他の利付証券、上場株式及び資産に対応する短期ポジションで構成されている。レベル1にはまた、ミューチュアル・ファンドにおける大部分の株式、ユニットリンク保険契約及び類似契約に関連するその他の資産並びにその資産に対応する負債が含まれている。実質的に市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価される金融商品は、レベル2に区分されている。レベル2には、主に利付証券、並びに金利及び通貨関連デリバティブが含まれている。外部の市場情報を用いて検証することのできないインプット・データが、その評価に重要な影響を及ぼす金融商品は、レベル3に区分される。レベル3には、非上場の株式、プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有及び特定のデリバティブが含まれる。

その区分は、貸借対照表日現在で適用された評価方法に基づいて行われている。特定の金融商品の区分が過年度の貸借対照表日（2021年12月31日）以降に変更された場合には、その金融商品は上表のレベル間で振り替えられている。2022年度上半期に市場活動を新たに評価した結果、一部の金融商品がレベル1とレベル2の間で振り替えられている。資産サイドでは、384百万スウェーデン・クローネ相当のデリバティブ資産及び55百万スウェーデン・クローネ相当の利付証券がレベル1からレベル2に振り替えられた。レベル2からレベル1へ振り替えられた負債はなかった。2022年度上半期には、ロシアによるウクライナ侵攻のみに起因するレベル間の振替はなかった。通期のレベル3の保有金融商品の変動は、下表に別途表示されている。

レベル3の保有商品は、主に非上場の株式で構成されている。当行グループが保有している非上場株式は、主に当行に対して業務支援を行っている会社に対する当行の参加持分で構成されている。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、ハンデルスバンケンの拠点市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。それらの持分は、一般に当該会社における純資産価値に占める当行の持分、あるいは当該会社に関する最終取引価格で評価される。非上場株式はすべての重要な点から見て、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。したがって、これらの保有持分の価値変動は、その他包括利益に計上されている。

プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有は、レベル3に分類されている。これらは主に、同一業種の比較可能な上場企業の相対的評価を基礎とする評価モデルを使用して評価されている。比較に使用される業績の測定は、当該投資との比較のために利用される会社との比較を歪める要因について調整された後、収益乗数（例：株価収益率）に基づいて評価される。これらのポートフォリオの大部分は、当行グループの保険事業における投資資産に関するものである。投資資産の価値変動は、保険事業における利回り分割の計算基礎に含められているため、損益計算書に直接計上されない。

当行が発行した特定の仕組債券におけるデリバティブ部分及び関連するヘッジ目的デリバティブも、レベル3に分類されている。これらのデリバティブでは、内部による仮定が公正価値の算定に大きな影響を与える。レベル3のヘッジ目的デリバティブは、当行の取引相手との間で市場価値が日次で検証され確認されるクレジット・サポート・アネックス契約（CSA）に基づいて取引される。

取引価格と評価モデルを用いて測定された価値との差額

評価モデルでは、市場価格及び価格設定に影響を及ぼすとみなされるその他の変数のインプット・データを使用する。評価の基礎を成すモデル及びインプット・データは、市場慣行及び確立されている金融理論と一致するよう、定期的に検証される。当初認識時の評価モデルを用いて計算された価値と取引価格との間に正の差額（取引日利得／損失）がある場合、その差額は当該金融商品の残存期間にわたって計上される。こうした差額は、金融商品の価値に影響を及ぼすすべての構成要素を、適用した評価モデルが十分に捕捉していない場合に発生する。取引日利得／損失は、当行の利鞘のほか、資本コストや管理費用などの対価である。2022年度上半期において87（85）百万スウェーデン・クローネが金融取引における純損益に計上された。当期末現在、未認識の取引日利得／損失合計は461百万スウェーデン・クローネであり、これに対し、2021年度末は489百万スウェーデン・クローネであった。

レベル3の保有金融商品の変動

2022年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ資産	デリバティブ負債	顧客が価値変動 リスクを負う資産	顧客が価値変動 リスクを負う負債
期首現在帳簿価額	639	43	-43	484	-484
取得	9	5	-4	-	-
買戻／売却	-1	18	-20	-	-
当期中に満期が到来したもの	-	-	-	-	-
未実現評価差額（損益計算書に計上）	21	-58	58	26	-26
未実現評価差額（その他包括利益に計上）	10	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	38	-37	-	-
レベル1又は2への振替	-	3	-3	-	-
期末現在帳簿価額	678	49	-49	510	-510

2021年度通期 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ資産	デリバティブ負債	顧客が価値変動 リスクを負う資産	顧客が価値変動 リスクを負う負債
期首現在帳簿価額	550	80	-80	474	-474
取得	33	1	-2	-	-
買戻／売却	-3	9	-7	-	-
当期中に満期が到来したもの	-	-	-	-	-
未実現評価差額（損益計算書に計上）	51	-131	130	10	-10
未実現評価差額（その他包括利益に計上）	8	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	10	-10	-	-
レベル1又は2への振替	-	74	-74	-	-
期末現在帳簿価額	639	43	-43	484	-484

注記18 通貨別資産及び負債

2022年6月30日 百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デンマー ク・クロー ネ	英ポンド	米ドル	その他の通 貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	153,083	193,666	7,653	33,759	102,143	152,457	72	642,833
中央銀行へのその他の貸出金	-	9,465	-	288	1,284	-	0	11,037
その他金融機関への貸出金	1,465	2,012	15,918	13	951	6,462	680	27,502
一般顧客への貸出金	1,544,720	273,028	306,830	110,325	254,784	17,013	3,665	2,510,365
うち、法人	563,731	169,132	191,565	44,977	178,909	16,812	2,204	1,167,330
うち、個人	980,989	103,896	115,265	65,348	75,874	201	1,461	1,343,035
中央銀行への担保として 適格な利付証券	98,845	5,161	642	20	-	9,688	-	114,356
債券及びその他の利付証券	27,274	2,109	9,051	17	-	521	-	38,971
その他項目 (通貨別内訳なし)	343,994							343,994
資産合計	2,169,380	485,441	340,093	144,421	359,162	186,142	4,418	3,689,057
負債								
金融機関からの預り金	8,517	93,259	8,587	1,366	2,600	9,149	65	123,543
一般顧客からの預金及び 借入金	888,265	149,288	110,611	62,693	252,073	103,048	2,786	1,568,764
うち、法人	395,997	114,784	76,946	37,823	181,248	98,747	1,979	907,525
うち、個人	492,268	34,503	33,665	24,870	70,825	4,301	807	661,239
発行済証券	524,714	361,154	25,289	6	53,563	497,319	22,107	1,484,153
劣後負債	3,014	21,478	-	-	0	14,024	-	38,516
その他項目(通貨別内訳な し、資本含む)	474,081							474,081
負債及び資本合計	1,898,591	625,179	144,487	64,066	308,236	623,540	24,958	3,689,057
通貨別その他資産及び負債 (純額)		139,817	-195,538	-80,374	-50,833	437,417	20,620	
正味外貨ポジション		78	69	-18	93	19	80	321

上表の資産及び負債には、2021年12月31日現在の貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのデンマーク及びフィンランドが含まれている(注記9を参照のこと)。

2021年12月31日 百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン・ クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デンマー ク・クロー ネ	英ポンド	米ドル	その他の通 貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	93,293	149,547	4,578	28,282	101,196	63,008	60	439,964
中央銀行へのその他の貸出金	-	-	-	207	1,255	-	-	1,462
その他金融機関への貸出金	1,073	3,587	12,122	51	1,140	3,335	530	21,838
一般顧客への貸出金	1,496,800	245,760	294,946	107,914	251,793	13,567	3,049	2,413,829
うち、法人	537,399	149,031	183,442	43,663	174,344	13,376	1,555	1,102,810
うち、個人	959,401	96,729	111,504	64,251	77,449	191	1,494	1,311,019
中央銀行への担保として 適格な利付証券	91,630	5,658	335	26	-	2,913	-	100,562
債券及びその他の利付証券	23,131	965	8,741	17	-	480	-	33,334
その他項目 (通貨別内訳なし)	335,775							335,775
資産合計	2,041,702	405,517	320,722	136,497	355,384	83,303	3,639	3,346,764
負債								
金融機関からの預り金	12,903	49,968	14,376	248	79	5,984	50	83,608
一般顧客からの預金及び 借入金	842,173	151,481	89,516	52,166	231,861	31,233	2,327	1,400,757
うち、法人	386,274	120,367	59,662	28,818	162,303	26,964	1,605	785,993
うち、個人	455,899	31,114	29,854	23,348	69,558	4,269	722	614,764
発行済証券	500,864	385,000	30,207	7	69,192	351,169	17,329	1,353,768
劣後負債	3,003	15,547	-	-	0	13,707	-	32,257
その他項目(通貨別内訳な し、資本含む)	476,374							476,374
負債及び資本合計	1,835,317	601,996	134,099	52,421	301,132	402,093	19,706	3,346,764
通貨別その他資産及び負債 (純額)		196,428	-186,467	-84,073	-54,145	318,781	16,124	
正味外貨ポジション		-51	156	3	107	-9	57	263

上表の資産及び負債には、2021年12月31日現在の貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのデンマーク及びフィンランドが含まれている(注記9を参照のこと)。

注記19 連結ベースの自己資本及び所要自己資本

自己資本及び所要自己資本に関する要件は、EUによる国際的なバーゼル規制の導入を包含する、規制(EU)第575/2013号(CRR)及び指令2013/36/EUに定められている。本報告書におけるCRRへの言及はすべて、法律上の形式(規制、指令、行政命令又は国内における導入)に関わらず、新規制全体を指している。本セクションで報告されている数値は第一の柱に基づく最低所要自己資本であり、CRR第8章及びスウェーデン金融監督庁の規制(FFFS 2014年第12号)の中の、自己資本比率に関する情報の公表に関する要件を満たしている。第二の柱における所要自己資本合計及び普通株式等Tier1所要自己資本に関する情報は「グループ - 業績」のセクションに記載されている。これらはスウェーデン金融監督庁が公表した規定及び一般指針(FFFS 2008年第25号「信用機関及び証券会社における年次報告」)に規定された要件を満たしている。

本セクション中の情報は、本報告書の公表日現在の、ハンデルスバンケンの重要なリスク及び所要自己資本に関している。当行のリスク及び資本管理に関する記述はすべて、ハンデルスバンケンの年次報告書及びハンデルスバンケンの「リスク及び資本管理 - 第三の柱に関する情報」に記載されている。

主要な数値

	2022年 6月30日	2022年 3月31日	2021年 12月31日	2021年 9月30日	2021年 6月30日
百万スウェーデン・クローネ					

利用可能な自己資本

普通株式等Tier1 (CET1) 資本	155,434	152,665	149,709	147,628	152,867
Tier1資本	170,775	166,578	163,222	160,704	165,555
資本合計	194,039	183,956	180,458	177,819	182,578

リスク加重エクスポージャー額

リスク加重エクスポージャー合計額	830,705	816,394	773,158	759,375	744,288
------------------	---------	---------	---------	---------	---------

自己資本比率（リスク加重エクスポージャー額に対する割合）

普通株式等Tier1比率（％）	18.7%	18.7%	19.4%	19.4%	20.5%
Tier1比率（％）	20.6%	20.4%	21.1%	21.2%	22.2%
総自己資本比率（％）	23.4%	22.5%	23.3%	23.4%	24.5%

過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本（リスク加重エクスポージャー額に対する割合）

過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本（％）	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	
うち、CET1資本の割合（パーセンテージ・ポイント）	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	
うち、Tier1資本の割合（パーセンテージ・ポイント）	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	
SREPに基づく所要自己資本合計（％）	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%	8.0%

結合バッファ要件（リスク加重エクスポージャー額に対する割合）

資本保全バッファ（％）	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
加盟国単位で特定されたマクロ・ブルーデンスのリスク又はシステムミック・リスクに対する保全バッファ（％）					
金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファ（％）	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
システムミック・リスク・バッファ（％）	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%
グローバルにシステム上重要な金融機関バッファ（％）					
その他の金融システム上重要な金融機関バッファ	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
結合バッファ要件（％）	6.7%	6.6%	6.6%	6.6%	6.6%
所要自己資本合計（％）	16.6%	16.6%	16.5%	16.5%	14.6%
SREPに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET1（％）	13.0%	12.6%	13.9%	13.9%	0.0%

レバレッジ比率

レバレッジ比率エクスポージャー合計	3,589,683	3,441,379	3,232,291	3,374,819	3,374,515
レバレッジ比率	4.8%	4.8%	5.0%	4.8%	4.9%

過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本（エクスポージャー合計額に対する割合）

過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本（％）					
うち、CET1資本の割合（パーセンテージ・ポイント）					
SREPに基づくレバレッジ比率要件合計（％）	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%

流動性カバレッジ比率（LCR）*

高品質な流動資産合計（HQLA）（加重平均）	815,978	784,150	778,654	751,877	736,563
資金流出額（加重平均）	600,174	591,031	595,289	567,668	562,019
資金流入額（加重平均）	72,202	69,965	68,295	67,079	64,596

純資金流出額（調整額）	527,972	521,066	526,994	500,589	497,423
流動性カバレッジ比率	156%	151%	149%	151%	149%

百万スウェーデン・クローネ	2022年 6月30日	2022年 3月31日	2021年 12月31日	2021年 9月30日	2021年 6月30日
安定調達比率 (NSFR)					
利用可能な安定調達資金	2,125,152	2,059,478	2,026,413	1,993,554	1,983,117
所要安定調達額	1,836,823	1,803,072	1,774,542	1,732,605	1,728,332
NSFR	116%	114%	114%	115%	115%

リスク加重エクスポージャー額の概要

	RWEA		所要自己資本	
百万スウェーデン・クローネ	2022年6月30日	2022年3月31日	2022年6月30日	2022年3月31日
信用リスク (CCRを除く)	713,840	698,566	57,107	55,885
うち、標準的手法	190,705	186,350	15,256	14,908
うち、基礎的IRB手法 (FIRB手法)	55,439	52,882	4,435	4,231
うち、スロットティング手法				
うち、簡便なリスク加重手法	3,581	3,517	286	281
うち、先進的IRB手法 (AIRB手法)	228,418	221,727	18,273	17,738
うち、リスク加重フロア	235,697	234,091	18,856	18,727
カウンターパーティ信用リスク - CCR	14,186	14,229	1,135	1,138
うち、標準的手法	9,954	9,484	796	759
うち、内部モデル方式 (IMM)				
うち、CCPIに対するエクスポージャー	266	219	21	18
うち、信用評価調整 - CVA	3,315	3,746	265	300
うち、他のCCR	651	781	52	62
決済リスク	0		0	
非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー (上限適用後)				
うち、SEC-IRBA手法				
うち、SEC-ERBA手法 (IAAを含む)				
うち、SEC-SA手法				
うち、1,250% / 控除				
ポジション、為替、コモディティリスク (市場リスク)	31,028	31,948	2,482	2,556
うち、標準的手法	31,028	31,948	2,482	2,556
うち、内部モデル方式 (IMA)				
大口エクスポージャー				
オペレーショナル・リスク	71,651	71,651	5,732	5,732
うち、基礎的指標手法				
うち、標準的手法	71,651	71,651	5,732	5,732
うち、先進的計測手法				
控除の基準値未満の額 (リスク加重は250%)				
合計	830,705	816,394	66,456	65,312

信用リスクに関する所要自己資本

信用リスクに関する所要自己資本は、CRRに従い、標準的手法及びIRB手法に基づいて計算される。IRB手法では、自行推計による債務不履行時の損失（以下、「LGD」という。）及び掛目（以下、「CCF」という。）を用いないIRB手法（基礎的手法）と、自行推計のLGD及びCCFを用いるIRB手法（先進的手法）の2つの異なる手法が用いられる。

自行推計のLGDとCCFを用いないIRB手法では、当行は1年以内に顧客が債務不履行に陥る可能性（以下、「PD」という。）を判断するために当行独自の手法を用いるが、他のパラメーターはCRRによって指定される。LGDとCCFを独自に推計するIRB手法において、当行は、債務不履行時の損失（LGD）及びエクスポージャーの算定に当行独自の手法を用いる。

ハンデルスバンケンは、ソプリン・エクスポージャー及び金融機関に対するエクスポージャーに加え、支店業務全体及び以下の子会社の法人エクスポージャーのうちの特定の商品並びに担保及び取引相手の種類に対して、自行推計のLGDとCCFを用いないIRB手法を使用している。対象となる子会社は、スタッドフィボテック・エイ・ビー、ハンデルスバンケン・ファイナンス・エイ・ビー及びエクスター・エイ・ビーの各社である。ハンデルスバンケン・ピーエルシーにおけるエクスポージャーは、標準的手法に基づいて報告されている。

当四半期末現在、IRB手法は、リスク加重フロアによる影響を含む、信用リスクに関するリスク加重エクスポージャー額合計の73%に適用された。残りの信用リスク・エクスポージャーに関して、所要自己資本は標準的手法を用いて算定されている。

ハンデルスバンケンの法人エクスポージャーのうち、99%は返済能力が正常又は正常より良い（すなわち、当行の9段階のリスク格付けで1から5の間の格付）と査定された顧客向けである。IRB手法は、近年の金融危機及び1990年代初頭のスウェーデンの銀行危機の双方によって生じた過去の損失に基づいている。これらのリスク加重は、ハンデルスバンケンが長期にわたって計上している信用損失が少ないという事実を反映している。適用されているリスク測定は、リスクが過小評価されないようにするための安全余裕率を含んでいる。

IRB手法における株式エクスポージャーに関する所要自己資本は、簡便リスク加重法に従い計算されている。

市場リスクに係る所要自己資本

市場リスクに係る所要自己資本は、連結ベースで計算される。但し、金利リスク、コモディティ価格リスク及び株価リスクに係る所要自己資本は、トレーディング勘定ポジションについてのみ計算されている。市場リスクに係る所要自己資本の計算では、標準的手法が用いられる。

オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本

ハンデルスバンケンは、オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本の計算に標準的手法を使用している。所要自己資本は、標準的手法に従って、規則で定められた係数を直近3事業年度の平均営業収益に乗じて計算される。異なる事業セグメントにおいては、異なる係数が適用される。

注記20 リスク及び流動性

本セクションで報告されている数値は、CRR第8章の中の、リスク及び資本管理に関する情報の公表に関する要件を満たしている。

リスク及び不確実性要因

ハンデルスバンケンは、支店業務を通じて融資を行っており、リスク許容度は低い。与信プロセスは、現地にプレゼンスを有する分散型組織が高品質な与信判断を確実に行うという理念に基づいている。また、ハンデルスバンケンの市場リスクに対するエクスポージャーも低い。当行の事業活動においては、基本的に顧客の投資ニーズ及びリスク管理ニーズへの対応の一環となる場合に限り市場リスクを負担する。規制の状況は引き続き急速に展開している。金融規制の対象と複雑さに加え、規制の変化の度合いは、当行にコンプライアンス・リスクをもたらししている。ハンデルスバンケンはいかなる時でも当行に適用される規制に確実に従うため、多大なリソースを投入している。ハンデルスバンケンの低いリスク許容度は、当行が厳しい市況で事業を行うために必要な体制を備えていることを示している。ロシアのウクライナ侵攻により、欧州及び世界経済には新たに大きな不確実性要因が生じている。ハンデルスバンケンは、ロシア、ウクライナ又はベラルーシに対する直接的なエクスポージャーを有していない。しかしながら、地政学的な動向は当行にとって間接的なリスクとなる可能性がある。このような状況を踏まえ、ハンデルスバンケンは、信用リスクに関する厳格な視点と当行で策定された通常の信用供与プロセスを維持している。ロシアのウクライナ侵攻により、様々な種類のサイバー攻撃のリスクが高まっている。当行のセキュリティ部門はその動向を注視し、様々なシナリオに応じたリスク評価を行っている。攻撃による当行の顧客への影響はない。

流動性及び資金調達

ハンデルスバンケンの流動性リスクの許容度は低く、全体レベルでも個別通貨でも、流動性リスクの低減に積極的に取り組んでいる。この目的は、十分な流動性を確保し、業績の変動を抑制するとともに、困難な時代にあっても顧客の資金需要を満たすために十分な資金調達力を確保することにある。これは、当行に重要な全通貨のキャッシュ・インフロー及びキャッシュ・アウトフローを経時的に詳細にマッチングさせること、並びに良質な多額の流動性準備金を維持することにより達成される。これによって当行は資金調達における経済的リスクを低減し、事業部門向けに長期に安定した内部金利を維持することが可能となる。さらに、当行は資金調達プログラム及びその用途の拡充を目指している。これにより、当行は金融市場の混乱が拡大しても、長期にわたり中核事業を保全することが確実となる。

ストレス状況下においても中核事業に対応できる十分な流動性を確保するため、当行は取り扱っているすべての通貨で多額の流動性準備金を保有している。当該流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債やカバード・ボンド等の極めて信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券より構成され、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金のこれらの部分は以下の表に記載されており、2022年6月30日現在で826十億スウェーデン・クローネとなっている。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出対策より構成される。

流動性準備金における中央銀行及び銀行預け金並びに保有有価証券残高

市場価値 百万スウェーデン・クローネ	2022年6月30日	2022年3月31日	2021年12月31日	2021年9月30日	2021年6月30日
レベル1資産	824,191	730,345	592,976	745,795	740,391
現金及び中央銀行預け金	651,029	552,115	438,668	614,597	615,219
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び 国際機関発行債又は保証債	127,402	130,753	110,326	94,312	94,452
地方債及び公的機関発行債	517	590	616	748	656
きわめて高品質なカバード・ボンド	45,244	46,887	43,366	36,138	30,064
レベル2資産	2,125	2,960	2,649	5,612	4,661
レベル2A資産	1,945	2,659	2,449	5,501	4,204
ソブリン、中央銀行、地方及び公的機関発行債又は 保証債	501	844	617	3,215	1,402
高品質なカバード・ボンド	1,444	1,815	1,832	2,286	2,802
社債（格付AA-以上）	-	-	-	-	-
レベル2B資産	179	301	200	111	457
資産担保証券	-	-	-	-	-
高品質なカバード・ボンド	-	-	-	-	-

社債（格付A+～BBB-）	179	301	200	111	457
株式（主要株価指数）	-	-	-	-	-
流動資産合計	826,316	733,305	595,625	751,407	745,052
うち、スウェーデン・クローネ建て	274,225	252,423	211,451	284,564	272,596
うち、ユーロ建て	214,108	165,307	158,159	170,099	141,714
うち、米ドル建て	163,140	157,091	65,596	147,934	152,291
うち、その他の通貨建て	174,843	158,484	160,419	148,810	178,451

2022年6月30日

市場価値 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン ・クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
レベル1資産	273,863	213,717	162,626	173,985	824,191
現金及び中央銀行預け金	152,414	202,951	152,449	143,215	651,029
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び国際機関発行債 又は保証債	98,569	10,766	10,178	7,889	127,402
地方債及び公的機関発行債	517	0	0	0	517
きわめて高品質なカバード・ボンド	22,363	0	0	22,881	45,244
レベル2資産	362	391	514	858	2,125
レベル2A資産	362	211	514	858	1,945
ソブリン、中央銀行、地方及び公的機関発行債又は保証債	0	0	0	501	501
高品質なカバード・ボンド	362	211	514	357	1,444
社債（格付AA-以上）	0	0	0	-	-
レベル2B資産	-	179	-	-	179
資産担保証券	0	0	0	-	-
高品質なカバード・ボンド	0	0	0	-	-
社債（格付A+～BBB-）	-	179	0	-	179
株式（主要株価指数）	0	0	0	-	-
流動資産合計	274,225	214,108	163,140	174,843	826,316

金融資産及び負債の満期

2022年6月30日 百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月以内	6ヶ月超 12ヶ月以内	1年超 2年以内	2年超 5年以内	5年超	満期の指定 なし	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	642,811	-	-	-	-	-	-	642,811
中央銀行への担保として適格な 利付証券*	114,295	-	-	-	-	-	-	114,295
債券及びその他の利付証券*	38,825	-	-	-	-	-	-	38,825
金融機関への貸出金	33,865	121	179	376	1,697	2,277	-	38,515
うち、リバース・レボ	16,347	-	-	-	-	-	-	16,347
一般顧客への貸出金	51,925	260,530	233,561	233,319	462,240	1,265,688	-	2,507,263
うち、リバース・レボ	13,173	-	-	-	-	-	-	13,173
その他**	44,682	-	-	-	-	-	302,667	347,349
うち、株式及び参加持分	20,681	-	-	-	-	-	-	20,681
うち、投資銀行業務の決済業 務に係る債権	24,001	-	-	-	-	-	-	24,001
合計	926,402	260,651	233,740	233,695	463,937	1,267,965	302,667	3,689,057
デリバティブ商品								
金融機関からの預り金***	61,415	47,176	1,933	978	144	830	11,037	123,513
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行からの預り金	27,095	38,340	1,875	-	-	-	-	67,310
一般顧客からの預金及び 借入金***	118,893	39,846	15,063	735	416	6,061	1,387,260	1,568,274
うち、レボ	11,306	-	-	-	-	-	-	11,306
発行済証券	91,503	478,127	241,753	142,537	410,539	114,176	-	1,478,635
うち、カバード・ボンド	-	47,948	90,489	85,340	332,215	69,479	-	625,471
うち、当初満期が1年未満の 譲渡性預金 (CD)	44,796	153,798	81,049	-	-	-	-	279,643
うち、当初満期が1年未満の コマーシャル・ペーパー (CP)	46,510	244,884	42,336	-	-	-	-	333,730
うち、当初満期が1年超の譲 渡性預金 (CD) 及び コ マーシャル・ペーパー (CP)	-	1,044	6,098	1,035	-	-	-	8,177
うち、非優先シニア債	-	-	-	-	18,560	27,136	-	45,696
うち、当初満期が1年超のシ ニア債 及びその他の証券	197	30,453	21,781	56,162	59,764	17,561	-	185,918
劣後負債	-	2,985	7,978	12,607	4,630	9,948	-	38,148
その他**	20,650	-	-	-	-	-	459,837	480,487
うち、ショートポジション	14,140	-	-	-	-	-	-	14,140
うち、投資銀行業務の決済業 務に係る債務	6,510	-	-	-	-	-	-	6,510
合計	292,461	568,134	266,727	156,857	415,729	131,015	1,858,134	3,689,057

* 上表は、担保に供するか又は売却することで流動資産に転換可能な債券及びその他の利付証券の残高を期間毎に表したものである。これは、上表が、ここに含まれている証券の実際の満期を反映していないことを意味する。「その他」には、契約上の満期日に対応する期間に満期を迎える資産及び負債が計上されており、契約上の返済計画が考慮されている。

** 「その他」には、デリバティブ取引の市場価値が含まれている。

*** 要求払預金は「満期の指定なし」の欄に計上されている。

流動性カバレッジ比率（LCR）

流動性カバレッジ比率（LCR） - 内訳

百万スウェーデン・クローネ

	2022年6月30日	2022年3月31日	2021年12月31日	2021年9月30日	2021年6月30日
高品質な流動資産	822,767	729,474	592,122	747,998	742,088
現金流出					
一般顧客及び中小企業からの預金	72,154	68,982	66,550	64,465	63,619
資本市場からの無担保資金調達	368,990	338,241	289,879	391,599	402,434
資本市場からの有担保資金調達	16,041	12,139	11,305	8,988	7,716
他の現金流出	65,123	64,559	63,566	67,344	64,578
現金流出合計	522,308	483,921	431,300	532,396	538,347
現金流入					
正常なエクスポージャーからの流入	24,960	26,785	22,375	28,502	29,095
他の現金流入	40,613	25,706	19,474	31,514	31,621
現金流入合計	65,573	52,491	41,849	60,016	60,716
流動性カバレッジ比率（LCR）	180%	169%	152%	158%	155%

安定調達比率（NSFR）

安定調達比率（NSFR） - 内訳

百万スウェーデン・クローネ

	2022年6月30日	2022年3月31日	2021年12月31日	2021年9月30日	2021年6月30日
利用可能な安定調達資金（ASF）					
資本項目及び資本調達手段	218,869	206,938	202,877	199,264	206,021
一般顧客からの預金	752,687	718,486	704,382	691,608	687,227
資本市場からの調達資金	1,147,415	1,128,476	1,113,915	1,097,418	1,084,121
その他負債	6,180	5,578	5,239	5,264	5,748
利用可能な安定調達資金（ASF）合計	2,125,152	2,059,478	2,026,413	1,993,554	1,983,117
所要安定調達額（RSF）					
高品質な流動資産合計（HQLA）	7,706	8,658	7,927	6,158	6,135
カバー・プールに対して12ヶ月超処分制約のある資産	426,639	461,542	449,323	419,349	440,915
正常貸出金及び証券	1,312,824	1,249,790	1,223,354	1,214,465	1,184,665
その他資産	64,867	58,547	69,258	67,913	72,058
オフバランスシート項目	24,788	24,535	24,680	24,720	24,559
所要安定調達額（RSF）合計	1,836,823	1,803,072	1,774,542	1,732,605	1,728,332
安定調達比率（NSFR）	116%	114%	114%	115%	115%

欧州委員会が委任規則を導入後、流動性カバレッジ比率（以下、「LCR」という。）は、EUにおける銀行に対する拘束力のある要件となっている。かかる数値は、当行の流動性バッファと30日間の厳しいストレス・シナリオにおける正味キャッシュ・フローとの比率を規定する。かかる要件は総計レベルでLCRに適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。構造的流動性指標の最低要件である、安定調達比率（以下、「NSFR」という。）は、利用可能な安定調達と所要安定調達の比率であり、2021年6月28日にEUにおいて施行された。これは、当行が1年の期間、通常時及びストレス下の両方の状況において資金需要を満たすのに十分な安定調達を確保する必要があることを意味している。最低要件は総計レベルでLCRに適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。

当四半期末現在、当行グループの総LCRは180%であった。これは、当行が資金調達市場における短期の混乱に対して著しく耐性があることを示している。同日現在の当行グループのNSFRは116%であった。

流動性創出策を伴うストレス・テスト

当行の流動性管理はストレス・テストに基づいており、ストレス・テストは全体レベルで実行され、当行にとって重要な通貨に対しては個別にも行われる。ストレス・テストは、当行が様々なストレス下において、当行の再建計画にも含まれている様々な施策を講じることで十分な流動性を確保する目的で設計されている。ストレス・テストは市場全体のストレスと特異なストレスの双方を、定期的及び個別に適用して実施される。これらは住宅価格の大幅な下落を考慮したシナリオ分析によっても補完される。

より長期的な市場の混乱に対する耐性は、特定の仮定に基づくキャッシュ・フローのストレス・テストを通じて日次で測定される。例えば、当行が金融市場での資金調達ができないと同時に、個人及び法人の定期預金以外の預金の10%が1ヶ月以内に徐々に解約されることを仮定している。さらに、当行は中核事業を継続する、すなわち、個人及び法人からの定期預金並びに個人及び法人への貸出金が満期時に継続され、貸出金コミットメント及び与信枠の一部が顧客によって使用されると仮定する。当行はまた、中央銀行及び銀行預け金が利用され、グループ・トレジャリー部の有価証券が主に市場における担保として、また中央銀行における最後の手段として緊急の流動性供給を受けることが可能であることを考慮している。さらに、当行はカバード・ボンドの未使用発行額を活用することや、流動性を徐々に供給する他の流動性創出策を実施することにより、流動性の創出が可能である。このような状況により、当行の流動性は3年を超えて高水準に保たれる。

担保負担がない資産 (NEA)

2022年6月30日 十億スウェーデン・クローネ	NEA	無担保資金調達 [*] に対する 累積カバー率 (%)
中央銀行に対する残高及び流動性ポートフォリオにおける有価証券 ^{***}	824	85%
住宅抵当ローン	845	172%
その他個人向け貸付	167	189%
低リスク・クラス (1-3) の不動産会社への貸出金	321	222%
低リスク・クラス (1-3) のその他の法人向け貸出金	143	237%
低リスク・クラス (1-3) の金融機関への貸出金	5	237%
その他の法人向け貸出金	304	269%
その他資産	108	280%
担保負担がない資産 (NEA) 合計	2,717	280%
裏付けとなる負債を伴わない担保権が設定されている資産^{**}	71	
裏付けとなる負債を伴う担保権が設定されている資産	901	
資産合計、当行グループ	3,689	

2021年12月31日 十億スウェーデン・クローネ	NEA	無担保資金調達 [*] に対する 累積カバー率 (%)
中央銀行に対する残高及び流動性ポートフォリオにおける有価証券 ^{***}	596	68%
住宅抵当ローン	792	158%
その他個人向け貸付	192	180%
低リスク・クラス (1-3) の不動産会社への貸出金	298	213%
低リスク・クラス (1-3) のその他の法人向け貸出金	122	227%
低リスク・クラス (1-3) の金融機関への貸出金	28	230%
その他の法人向け貸出金	298	264%
その他資産	36	268%
担保負担がない資産 (NEA) 合計	2,362	268%
裏付けとなる負債を伴わない担保権が設定されている資産^{**}	65	
裏付けとなる負債を伴う担保権が設定されている資産	920	
資産合計、当行グループ	3,347	

^{*} 無担保による発行済短期及び長期資金調達並びに金融機関に対する債務

^{**} カバー・プールにおける超過担保額 (OC) 及び英国の破綻処理時の業務継続要件に対応する資産

^{***} 中央銀行への担保として適格なもの

本セクション中の情報は、本中間報告書の公表時点における、当行の重要なリスク及びリスク管理に関するものである。当行のリスク及び資本管理に関する記述はすべて、当行の年次報告書及び、当行の「リスク及び資本管理 - 第三の柱に関する情報」の中に記載されている。

注記21 関連当事者取引

当期中に、重要性の高い関連当事者との取引はなかった。

注記22 セグメント報告

当行のセグメント報告に関する情報は、10ページから19ページ (訳注：原文のページ番号) に記載されている。

注記23 後発事象

重要な後発事象はない。

[次へ](#)

要約財務書類 - 親会社

損益計算書（親会社）

	2022年度上半期		2021年度上半期	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
純利息収益	7,561	97,613	6,675	86,174
受取配当金	261	3,370	626	8,082
純手数料及びコミッション収益	2,669	34,457	2,527	32,624
金融取引による純損益	-677	-8,740	1,343	17,338
その他営業収益	1,627	21,005	1,492	19,262
収益合計	11,441	147,703	12,663	163,479
人件費	-5,727	-73,936	-5,469	-70,605
その他管理費用	-3,606	-46,553	-2,834	-36,587
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-1,200	-15,492	-1,345	-17,364
信用損失控除前費用合計	-10,533	-135,981	-9,648	-124,556
信用損失、リスク税及び安定化手数料控除前利益	908	11,722	3,015	38,924
正味信用損失	-49	-633	-32	-413
金融資産の減損	-25	-323	-	-
リスク税及び安定化手数料	-666	-8,598	-183	-2,363
営業利益	169	2,182	2,800	36,148
繰入	1	13	31	400
税引前利益	170	2,195	2,831	36,548
法人税等	-98	-1,265	-601	-7,759
当期利益	72	930	2,230	28,789

包括利益計算書（親会社）

	2022年度上半期		2021年度上半期	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	72	930	2,230	28,789
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	16	207	51	658
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-1	-13	-3	-39
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-1	-13	-3	-39
損益計算書に組み替えられない項目合計	15	194	48	620
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	2,320	29,951	-99	-1,278
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-73	-942	16	207
当期為替換算差額	757	9,773	509	6,571
うち、在外営業活動体に対する純投資のヘッジ	-50	-646	-65	-839

その後に損益計算書に組み替えられる

可能性のある項目に係る税金	-461	-5,952	30	387
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-478	-6,171	20	258
うち、その他包括利益を通じて公正価値で 測定される負債性金融商品	9	116	-3	-39
うち、在外営業活動体に対する純投資のヘッジ	10	129	13	168

その後に損益計算書に組み替えられる

可能性のある項目合計	2,543	32,830	456	5,887
当期その他包括利益合計	2,561	33,063	504	6,507
当期包括利益合計	2,633	33,992	2,734	35,296

親会社の業績に関するコメント - 2022年度上半期と2021年度上半期との比較

親会社の財務書類は、組織の観点から、スウェーデン国内外の支店業務、キャピタル・マーケット並びに中央部門及びスタッフ機能に含まれる業務の一部をカバーしている。ハンデルスバンケンの事業の大半は地域支店から生じ、地域支店において対応されているが、法的には、取引高のかなりの部分が親会社以外の完全所有子会社、特にスタッドフィボテック・エイ・ビーの住宅金融専門機関及びハンデルスバンケン・ピーエルシーにおいて行われている。そのため、親会社の経営成績はグループ全体の事業活動による経営成績に相当するものではない。

ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、ハンデルスバンケンのデンマークにおける事業の譲渡に関して、Jyske Bank A/Sと合意に達した。フィンランドにおける事業の売却プロセスは、計画通りに進んでいる。2021年度第4四半期時点で、デンマーク及びフィンランドにおける事業は、IFRS第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に準拠する処分グループ及び非継続事業を構成している。また、子会社であるEjendomselskabet af 1. maj 2009 A/S、Handelsinvest investeringsforvaltning A/S、Handelsbanken Forsikringsformidling A/S及びLokalbolig A/Sの株式は、売却目的で保有する資産を構成している。

親会社の営業利益は94%減少して169 (2,800) 百万スウェーデン・クローネとなったが、これは主に、前年と比較して金融取引による純損益が2,020百万スウェーデン・クローネ減少したこと、スウェーデンのリスク税に係る費用498百万スウェーデン・クローネが計上されたことによるものである。当第2四半期において金融取引による純損益が減少したのは、子会社であるスタッドフィボテックが発行し、貸借対照表及び損益計算書において公正価値で評価されている、劣後ローンの市場でのスプレッドが大幅に拡大した影響によるものである。受け取った配当金は、261 (626) 百万スウェーデン・クローネであった。当期利益は減少し、72 (2,230) 百万スウェーデン・クローネとなった。純利息収益は13%増加して7,561 (6,675) 百万スウェーデン・クローネとなり、純手数料及びコミッション収益は6%増加して2,669 (2,527) 百万スウェーデン・クローネとなった。2021年度末以降、親会社の資本は137,458 (144,220) 百万スウェーデン・クローネに減少している。

貸借対照表（親会社）

	2022年6月30日		2021年12月31日	
	（百万スウェーデン・ クローネ）	（百万円）	（百万スウェーデン・ クローネ）	（百万円）
資産				
現金及び中央銀行預け金	540,690	6,980,308	338,768	4,373,495
中央銀行への担保として適格な利付証券	114,338	1,476,104	100,538	1,297,946
金融機関への貸出金	1,049,080	13,543,623	986,897	12,740,840
一般顧客への貸出金	662,966	8,558,891	611,852	7,899,009
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対 象の価値変動	-15,153	-195,625	-1,904	-24,581
債券及びその他の利付証券	40,785	526,534	34,323	443,110
株式	14,819	191,313	13,481	174,040
子会社株式及び関連会社に対する投資	72,757	939,293	71,967	929,094
顧客が価値変動リスクを負う資産	7,838	101,189	8,952	115,570
デリバティブ商品	65,757	848,923	30,946	399,513
無形資産	3,098	39,995	3,129	40,395
不動産、器具備品及びリース資産	6,818	88,020	7,043	90,925
当期税金資産	2,491	32,159	0	0
繰延税金資産	659	8,508	668	8,624
その他資産	19,609	253,152	22,287	287,725
前払費用及び未収金	1,625	20,979	1,187	15,324
資産合計	2,588,176	33,413,352	2,230,134	28,791,030
負債及び資本				
金融機関からの預り金	203,503	2,627,224	153,490	1,981,556
一般顧客からの預金及び借入金	1,326,625	17,126,729	1,173,172	15,145,651
顧客が価値変動リスクを負う負債	7,838	101,189	8,952	115,570
発行済証券	811,445	10,475,755	679,808	8,776,321
デリバティブ商品	27,772	358,537	21,033	271,536
ショートポジション	14,140	182,547	4,105	52,996
当期税金負債	-	-	264	3,408
繰延税金負債	709	9,153	436	5,629
引当金	1,102	14,227	1,011	13,052
その他負債	15,100	194,941	7,631	98,516
未払費用及び繰延収益	3,263	42,125	3,049	39,363
劣後負債	38,516	497,242	32,257	416,438
負債合計	2,450,012	31,629,655	2,085,208	26,920,035
非課税剰余金	706	9,114	706	9,114
株式資本	3,069	39,621	3,069	39,621
資本剰余金	8,758	113,066	8,758	113,066
その他積立金	10,215	131,876	7,651	98,774
利益剰余金	115,344	1,489,091	108,054	1,394,977
当期利益	72	930	16,688	215,442
資本合計	137,458	1,774,583	144,220	1,861,880
負債及び資本合計	2,588,176	33,413,352	2,230,134	28,791,030

持分変動計算書（親会社）

	制限資本			非制限資本					
			内部開発 ソフト ウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 [*]	公正価値 評価差額 準備金 [*]	為替換算 調整 準備金 [*]	当期利益を 含む 利益 剰余金	合計
2022年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	法定 準備金							
2022年期首資本	3,069	2,682	2,913	8,758	823	158	1,075	124,742	144,220
当期利益								72	72
その他包括利益					1,842	-49	767		2,560
うち、資本の中での分類変更							-505		-53
当期包括利益合計					1,842	-49	767	72	2,632
利益剰余金への分類変更								505	505
配当金								-9,900	-9,900
内部開発ソフトウェア積立金			3					-3	
期末資本	3,069	2,682	2,915	8,758	2,665	110	1,843	115,416	137,458

	制限資本			非制限資本					
			内部開発 ソフト ウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 [*]	公正価値 評価差額 準備金 [*]	為替換算 調整 準備金 [*]	当期利益を 含む 利益 剰余金	合計
2021年度 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	法定 準備金							
2020年期首資本	3,069	2,682	3,274	8,758	628	94	28	124,306	142,839
当期利益								16,688	16,688
その他包括利益					195	64	1,047		1,306
うち、資本の中での分類変更							-53		-53
当期包括利益合計					195	64	1,047	16,688	17,994
利益剰余金への分類変更								53	53
配当金 ^{**}								-16,666	-16,666
内部開発ソフトウェア積立金			-361					361	
期末資本	3,069	2,682	2,913	8,758	823	158	1,075	124,742	144,220

	制限資本			非制限資本					
			内部開発 ソフト ウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 [*]	公正価値 評価差額 準備金 [*]	為替換算 調整 準備金 [*]	当期利益を 含む 利益 剰余金	合計
2021年度上半期 百万スウェーデン・クローネ	株式資本	法定 準備金							
2020年期首資本	3,069	2,682	3,274	8,758	628	94	28	124,306	142,839
当期利益								2,230	2,230
その他包括利益					-79	61	522		504
うち、資本の中での分類変更									
当期包括利益合計					-79	61	522	2,230	2,734
配当金								-8,118	-8,118
内部開発ソフトウェア積立金			-193					193	
期末資本	3,069	2,682	3,081	8,758	549	155	550	118,611	137,455

^{*} 公正価値ファンドに含まれる。

^{**} 普通配当は8,118百万スウェーデン・クローネ、特別配当は8,548百万スウェーデン・クローネであった。株主は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーがスヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）から取得したAB Industrivärdenの株式の形で特別配当を受け取った。

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
半期報告書

	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 [*]	公正価値評価差額準備金 [*]	為替換算調整準備金 [*]	当期利益を含む利益剰余金	
2022年度上半期 百万円									
2022年期首資本	39,621	34,625	37,607	113,066	10,625	2,040	13,878	1,610,419	1,861,880
当期利益								930	930
その他包括利益					23,780	-633	9,902		33,050
うち、資本の中での分類変更							-6,520		-684
当期包括利益合計					23,780	-633	9,902	930	33,979
利益剰余金への分類変更								6,520	6,520
配当金								-127,809	-127,809
内部開発ソフトウェア積立金			39					-39	
期末資本	39,621	34,625	37,633	113,066	34,405	1,420	23,793	1,490,021	1,774,583

	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 [*]	公正価値評価差額準備金 [*]	為替換算調整準備金 [*]	当期利益を含む利益剰余金	
2021年度 百万円									
2020年期首資本	39,621	34,625	42,267	113,066	8,107	1,214	361	1,604,790	1,844,051
当期利益								215,442	215,442
その他包括利益					2,517	826	13,517		16,860
うち、資本の中での分類変更							-684		-684
当期包括利益合計					2,517	826	13,517	215,442	232,303
利益剰余金への分類変更								684	684
配当金 ^{**}								-215,158	-215,158
内部開発ソフトウェア積立金			-4,661					4,661	
期末資本	39,621	34,625	37,607	113,066	10,625	2,040	13,878	1,610,419	1,861,880

	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 [*]	公正価値評価差額準備金 [*]	為替換算調整準備金 [*]	当期利益を含む利益剰余金	
2021年度上半期 百万円									
2020年期首資本	39,621	34,625	42,267	113,066	8,107	1,214	361	1,604,790	1,844,051
当期利益								28,789	28,789
その他包括利益					-1,020	788	6,739		6,507
うち、資本の中での分類変更									
当期包括利益合計					-1,020	788	6,739	28,789	35,296
配当金								-104,803	-104,803
内部開発ソフトウェア積立金			-2,492					2,492	
期末資本	39,621	34,625	39,776	113,066	7,088	2,001	7,101	1,531,268	1,774,544

* 公正価値ファンドに含まれる。

** 普通配当は104,803百万円、特別配当は110,355百万円であった。株主は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーがスヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）から取得したAB Industrivärdenの株式の形で特別配当を受け取った。

要約キャッシュ・フロー計算書（親会社）

	2022年度上半期		2021年度上半期	
	（百万スウェーデン・クローネ）	（百万円）	（百万スウェーデン・クローネ）	（百万円）
営業利益	169	2,182	2,800	36,148
損益における非現金項目の調整	1,556	20,088	1,072	13,840
法人税の支払	-2,844	-36,716	-2,173	-28,053
営業活動による資産及び負債の変動	169,247	2,184,979	196,323	2,534,530
営業活動からのキャッシュ・フロー	168,129	2,170,545	198,022	2,556,464
株式の変動	-101	-1,304	-79	-1,020
不動産及び器具備品の変動	-697	-8,998	-1,080	-13,943
無形資産の変動	-236	-3,047	-188	-2,427
投資活動からのキャッシュ・フロー	-1,033	-13,336	-1,347	-17,390
劣後ローンの返済	-	-	-9,811	-126,660
劣後ローンの発行	5,260	67,907	-	-
配当金の支払	-9,900	-127,809	-8,118	-104,803
受領したグループ利益分配	16,685	215,403	15,135	195,393
財務活動からのキャッシュ・フロー	12,045	155,501	-2,794	-36,071
期首流動資金	338,768	4,373,495	297,362	3,838,943
当期キャッシュ・フロー	179,141	2,312,710	193,881	2,503,004
流動資金の為替換算差額	22,781	294,103	5,406	69,791
期末流動資金*	540,690	6,980,308	496,649	6,411,739

* 流動資金は現金及び中央銀行預け金である。

自己資本及び所要自己資本 - 親会社

主な指標

	2022年 6月30日	2022年 3月31日	2021年 12月31日	2021年 9月30日	2021年 6月30日
百万スウェーデン・クローネ					
利用可能な自己資本					
普通株式等Tier1 (CET1) 資本	130,214	129,805	129,054	123,915	131,488
Tier1資本	145,555	143,718	142,567	136,991	144,175
資本合計	168,819	161,096	159,803	154,106	161,199
リスク加重エクスポージャー額					
リスク加重エクスポージャー合計額	471,791	464,799	426,749	423,452	417,216
自己資本比率 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)					
普通株式等Tier1比率 (%)	27.6%	27.9%	30.2%	29.3%	31.5%
Tier1比率 (%)	30.9%	30.9%	33.4%	32.4%	34.6%
総自己資本比率 (%)	35.8%	34.7%	37.4%	36.4%	38.6%
過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)					
レバレッジ (%)	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	
うち、CET1資本の割合 (パーセンテージ・ポイント)	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	
うち、Tier1資本の割合 (パーセンテージ・ポイント)	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	
SREPに基づく所要自己資本合計 (%)	9.6%	9.6%	9.6%	9.6%	8.0%
結合バッファ要件 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)					
資本保全バッファ (%)	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
加盟国単位で特定されたマクロ・ブルーデンスのリスク又は システミック・リスクに対する 保全バッファ (%)					
金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファ (%)	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%
システミック・リスク・バッファ (%)					
グローバルにシステム上重要な金融機関バッファ (%)					
その他の金融システム上重要な金融機関バッファ					
結合バッファ要件 (%)	2.8%	2.7%	2.7%	2.7%	2.6%
所要自己資本合計 (%)	12.3%	12.3%	12.2%	12.2%	10.6%
SREPに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET1 (%)	22.2%	25.1%	23.8%	23.8%	
レバレッジ比率					
レバレッジ比率エクスポージャー合計	1,805,514	1,696,968	1,500,320	1,695,039	1,701,210
レバレッジ比率	8.1%	8.5%	9.5%	8.1%	8.5%
過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本 (エクスポージャー合計額に対する割合)					
過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本 (%)					
うち、CET1資本の割合 (パーセンテージ・ポイント)					
SREPに基づくレバレッジ比率要件合計 (%)	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%

百万スウェーデン・クローネ	2022年 6月30日	2022年 3月31日	2021年 12月31日	2021年 9月30日	2021年 6月30日
流動性カバレッジ比率 (LCR) *					
高品質な流動資産合計 (HQLA) (加重平均)	721,374	690,055	682,980	656,441	638,982
資金流出額 (加重平均)	599,300	592,160	593,559	566,475	555,433
資金流入額 (加重平均)	131,736	122,643	118,459	115,295	115,017
純資金流出額 (調整額)	467,564	469,517	475,100	451,180	440,416
流動性カバレッジ比率	156%	148%	144%	146%	146%
安定調達比率 (NSFR)					
利用可能な安定調達資金	1,382,736	1,318,109	1,271,284	1,258,863	1,252,902
所要安定調達額	1,328,763	1,274,734	1,293,235	1,228,027	1,255,476
NSFR	104%	103%	98%	103%	100%

* 高品質な流動資産及びキャッシュ・フローは、直近12ヶ月における各月末時点の価額の平均を参照している。比率はこれらの平均に基づいて計算されている。

リスク加重エクスポージャー額の概要

	RWEA		所要自己資本	
	2022年 6月30日	2022年 3月31日	2022年 6月30日	2022年 3月31日
百万スウェーデン・クローネ				
信用リスク（CCRを除く）	380,429	372,230	30,434	29,778
うち、標準的手法	153,872	151,837	12,310	12,147
うち、基礎的IRB手法（FIRB手法）	47,922	45,460	3,834	3,637
うち、スロットティング手法				
うち、簡便なリスク加重手法	3,479	3,405	278	272
うち、先進的IRB手法（AIRB手法）	142,741	138,772	11,419	11,102
うち、リスク加重フロア	32,415	32,756	2,593	2,620
カウンターパーティ信用リスク - CCR	14,185	14,225	1,135	1,138
うち、標準的手法	9,952	9,480	796	758
うち、内部モデル方式（IMM）				
うち、CCPIに対するエクスポージャー	266	219	21	18
うち、信用評価調整 - CVA	3,315	3,746	265	300
うち、他のCCR	652	781	52	62
決済リスク	0			
非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー（上限適用後）				
うち、SEC-IRBA手法				
うち、SEC-ERBA手法（IAAを含む）				
うち、SEC-SA手法				
うち、1,250% / 控除				
ポジション、為替、コモディティリスク（市場リスク）	40,085	41,252	3,207	3,300
うち、標準的手法	40,085	41,252	3,207	3,300
うち、内部モデル方式（IMA）				
大口エクスポージャー				
オペレーショナル・リスク	37,092	37,092	2,967	2,967
うち、基礎的指標手法				
うち、標準的手法	37,092	37,092	2,967	2,967
うち、先進的計測手法				
控除の基準値未満の額（リスク加重は250%）				
合計	471,791	464,799	37,743	37,184

2【その他】

(1) 訴訟及び規制手続

該当事項なし。

(2) 後発事象

該当事項なし。

3【IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違】

当行グループの連結財務書類は欧州委員会により承認されている国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)及び国際財務報告委員会解釈指針委員会による基準の解釈指針に準拠して作成されている。さらに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年第1559号)及びSFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。連結財務書類には企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も適用されている。

親会社の財務書類は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法(1995年第1559号)、SFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告、スウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及びスウェーデン財務報告審議会による意見書に準拠して作成されている。SFSAの推奨に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれらの基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り採用されていることを意味する。

以下の記述は、当行グループが適用する会計基準のうち重要と考えられるものと日本の会計原則の差異を概説したものである。当行グループは、連結財務書類並びに親会社の個別財務書類及び関連注記に関して、日本の会計原則との間の比較表を作成しておらず、その差異を定量化していない。したがって、以下の記述が日本の会計原則との差異を網羅している保証はない。

(1) 連結

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、親会社に直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結される。親会社は企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつ、その企業に対するパワーによりそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされるため連結する。

親会社は、類似の状況における同様の取引及び他の事象に関し、統一された会計方針を用いて、連結財務諸表を作成しなければならない。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、親会社は原則として支配しているすべての会社を連結することが求められている。一定の特別目的会社については、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものと推定され、連結することが求められない。

親会社及び子会社が連結財務書類を作成するために採用する会計原則は、原則として統一されなければならない。「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外

子会社の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務書類は原則として親会社の会計方針(日本の会計原則)に修正する必要があるが、在外子会社の財務書類がIFRS又は米国会計基準に準拠して作成されている場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の会計処理、研究開発費の会計処理、投資不動産の時価評価及び固定資産の再評価の会計処理、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をその他の包括利益に表示する選択をしている場合の組替調整等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手続上利用できることと規定されている。

(2) 企業結合及びのれん

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、企業結合は取得法で会計処理されている。のれんは当初取得原価で計上され、その後は減損損失累計額を控除後の取得原価で計上される。のれんについては年一回、及び減損の兆候がある場合にはいつでも減損テストが実施される。

IAS第38号によると、のれん及び耐用年数を確定できない無形固定資産は連結財務書類において償却されない。親会社において、耐用年数を確定出来ないその他の無形固定資産の取得は年次報告法の規定に準拠して償却される。通常、買収により取得したのれんは20年で償却される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業結合は原則としてパーチェス法により会計処理される。また、のれんは20年以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により規則的に償却され、減損の兆候が認められた場合に減損テストの対象となる。

(3) 非金融資産の減損

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産に減損の兆候がある場合に減損について検証が行われる。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。そのような兆候が存在する場合、当該資産の回収可能価額が見積られ、必要な場合に減損損失が損益に認識される。減損損失は、IAS第36号の要件を満たす場合には損益に戻入れることができるが、戻入れ後に増加する資産額は、減損処理前の価格を超えてはならない。

日本の会計原則

日本の会計原則では、減損の兆候が認められ、かつ割引前の見積り将来キャッシュ・フロー総額(20年以内の合理的な期間に基づく)が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額と帳簿価額の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

(4) 退職後給付

IFRS

確定給付型制度において年金債務は数理的手法に基づき測定されるが、ここでは予測単位積増方式を用いて、給付が割り引かれている。制度資産は、公正価値で測定されている。当該制度資産が年金債務を超える場合は資産(超過額)として、不足する場合は負債(不足額)として、それぞれ貸借対照表に計上されている。制度資産からの期待収益は、正味確定給付債務(資産)の算定に使用される割引率を適用することで計算される。数理計算上の損益は、リサイクリングされず、その発生年度においてその他包括利益に計上される。

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、年金費用は年金債務保護法の規定及びSFSAの規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法、親会社の年金債務の計算における将来債務の計算に将来の昇給が考慮されないこと、年金数理差損益は発生時に全額が認識されること(改訂IAS第19号と類似しているが、旧IAS第19号とは異なる。)に関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、支払給付金及び年金拠出金から年金基金支給額を控除したものとされる。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積もり年金債務を超過したことによる超過額は親会社の財務書類において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、確定給付型年金制度は、退職給付債務から年金資産の額を控除した額が貸借対照表に計上される。数理計算上の差異は、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理(その他包括利益からリサイクリング)することとされており、また、発生時に費用処理する方法も認められている。

利息費用は退職給付債務に割引率を乗じて算定され、制度資産からの期待収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算される。

(5) 非継続事業及び売却目的で保有する非流動資産

IFRS

売却目的に分類された非流動資産又は処分予定の資産及び負債は、貸借対照表(財政状態計算書)上、他の資産及び負債と区分して表示しなければならない。これら資産及び負債は相殺されず、1つの区分として表示される。当行グループの他の事業から明確に差別化される重要な独立事業で、売却目的保有に分類されている事業は、非継続事業として認識される。非継続事業として認識するにあたり、当該事業からの利益は損益計算書において他の損益項目とは別の個別科目で計上される。

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

耐用年数が確定している非流動資産は、スウェーデン年次報告法に基づき、売却目的保有に分類されるまでの期間、その耐用年数にわたって減価償却/償却される。非継続事業からの税引後純利益は親会社の損益計算書において個別に認識されない。また売却目的で保有する資産も売却目的で保有する負債も貸借対照表上で個別に表示されない。

日本の会計原則

資産又は負債を売却目的保有あるいは処分予定の資産及び負債へ分類する基準、並びに非継続事業の区分表示に関する基準はない。

(6) 保険契約

IFRS

IFRS第4号「保険契約」の定義を満たす保険契約及び裁量権のある有配当性のある金融商品に対してIFRS第4号が適用される。IFRS第4号における「保険契約」とは、「一方の当事者(保険者)が、他方の当事者(保険契約者)から、特定の不確実な将来事象(保険事故)が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重要な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。

保険契約に関する保険料収入及び支払保険金は損益計算書に純額で計上される。保険負債における変動もまたこの項目に計上される。収入としてまだ認識されていない受取保険料は、払込済保険料として貸借対照表の「保険負債」に計上される。貸借対照表項目の「保険負債」には、疾病年金、終身年金、及びその他の未払保険負債も含まれている。保険負債は保険契約に関する予想将来キャッシュ・フローを割り引くことで評価される。評価は金利、死亡率、疾病率及び将来の費用に関する仮定に基づく。

日本の会計原則

日本においては、IFRS第4号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当局の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。保険契約には保険業法による会計処理が適用される。

(7) 保険契約における預り金要素の区分(アンバンドリング)

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

保険契約の中には保険要素と預り金要素の両方を有するものがある。場合によっては、保険者は、それらの構成要素をアンバンドリングすることを要求又は許容される。

(a) 次の要件をいずれも満たす場合には、預り金要素のアンバンドリングが要求される。

() 保険者が当該預り金要素(すべての組込解約オプションを含む)を分離して(すなわち、保険要素を考慮することなく)測定することが可能である。

() 当該保険者の会計方針が、預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを特に要求していない。

(b) 保険者が預り金要素を(a)()に記述のように分離して測定することが可能であるが、会計方針が預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを求めている場合には、権利及び義務の測定に使用される基礎に関係なく、アンバンドリングは許容されるが要求はされない。

(c) 保険者が預り金要素を(a)()のように分離して測定することができない場合には、アンバンドリングは禁止される。

保険要素と貯蓄(金融要素)の両方で構成される保険契約は、アンバンドリングされ、個別に認識される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、保険契約における預り金要素のアンバンドリングを扱った基準はない。

(8) グループ利益分配

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

スウェーデンにおいては、連結税務申告は認められていない。

子会社から受領したグループ利益分配は、すべて親会社の損益計算書において受取配当金として報告される。このグループ利益分配は、親会社の貸借対照表において子会社持分の価値の増加として報告される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、税金費用の最適化目的で行うグループ利益分配についての基準はない。

(9) 金融商品

金融商品の分類及び測定

IFRS

(金融資産)

IFRS第9号では、金融資産の管理に関する企業の事業モデル及び、金融資産の契約条件により、元本及び元本残高に対する利息の支払のみであるキャッシュ・フローが所定の日に生じるという特性（以下「SPPI要件」という。）に基づき、原則として下記（a）～（c）のいずれかの事後測定が行われる金融資産に分類される。（IFRS第9号「金融商品」）

（a）償却原価測定

契約上のキャッシュ・フローを回収するために金融資産を保有することを目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

（b）その他の包括利益（以下「OCI」という。）を通じて公正価値測定（以下「FVOCI」という。）

契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

（c）純損益を通じて公正価値で測定（以下「FVPL」という。）

上記以外の金融資産

上記の原則的分類に対し、下記の二つの例外が認められている。

・公正価値オプション

会計上のミスマッチを除去又は大幅に低減することとなる場合には、当初認識時に金融資産をFVPL測定するという取り消しできない指定が可能

・OCIオプション

資本性金融商品に対する投資について、当初認識時に公正価値の事後の変動をOCIに表示するという取り消しできない選択を行うことが可能。ただし、投資の売却時において、累積されたOCIを当期の損益に計上すること（以下「リサイクリング」という。）は認められない。

（金融負債）

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債、一定の金融保証契約、公正価値オプションの指定を行った金融負債等の例外を除き、償却原価により事後測定する金融負債に分類される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に従い、金融資産及び金融負債は以下のように測定される。

- ・売買目的有価証券は、時価で測定し、時価の変動は損益認識される。
- ・個別財務書類においては、子会社株式及び関連会社株式は、取得原価で計上される。
- ・満期保有目的の債券は取得原価又は償却原価で測定される。
- ・売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券（「その他有価証券（IAS第39号における売却可能有価証券に類似）」）は、時価で測定し、時価の変動額は、純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される。
- ・市場価格のない株式は、取得原価をもって貸借対照表価額とする。市場価格のない株式とは、市場において取引されていない株式とする。
- ・貸付金及び債権は取得原価又は償却原価から、貸倒引当金を控除した金額で測定される。
- ・金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法で評価される。

- ・ IFRSで認められる公正価値オプションに関する会計基準はない。

金融資産の減損

IFRS

IFRS第9号では、償却原価測定及びFVOCI測定の金融資産、リース債権、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の範囲に含まれる取引から生じた契約資産、ローン・コミットメント、金融保証契約に係る予想信用損失に対して損失評価引当金を認識する（IFRS第9号「金融資産」）。各報告日において、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を全期間の予想信用損失の金額で、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を12か月の予想信用損失の金額で測定する。

金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大しているかどうかを判定するにあたっては、予想信用損失の金額の変動ではなく、当該金融商品の予想存続期間にわたる債務不履行発生リスクの変動を用いて行う。

予想信用損失を測定する際に考慮すべき最長の期間は、企業が信用リスクに晒される最長の契約期間（延長オプションの行使による期間を含む。）を使う。

金融商品の予想信用損失は、下記を反映する方法で見積もる。

- ・ 一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される偏りのない確率加重金額
- ・ 貨幣の時間価値
- ・ 過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況の予測についての、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報

日本の会計原則

日本では「金融商品に関する会計基準」に従い、債権の貸倒見積高は、債務者の財政状態及び経営成績等に応じて、「一般債権」、「貸倒懸念債権」、「破産更生債権等」に区分し、それぞれに応じて定められた方法により算定する。

売買目的以外の有価証券のうち時価があるものについて、時価が著しく下落した場合に、回復する見込みがあると認められる場合を除き、減損損失が認識され、当該資産の帳簿価額は時価まで減額される。減損損失の額は当期純利益に認識される。

その他有価証券について減損損失の認識を行う場合、純資産に認識された累積未実現損失は、純資産から除かれ、当期純利益に認識される。減損損失の戻入は認められない。

ヘッジ

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ(すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、認識済みの資産又は負債の公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益は損益計算書に計上されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、これもまた損益計算書に計上されている。
- ・ キャッシュフロー・ヘッジ(すなわち、認識済み資産又は負債に係る特定のリスク又は発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に

対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益計算書に計上される。

- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益に計上されている。

IFRSでは、類似の資産、負債、発生可能性の非常に高い予定取引又は在外営業活動体に対する純投資のポートフォリオをヘッジ対象とすることができる。このため、IAS第39号は類似した項目のみを1つのポートフォリオにグループ化することを認めている。次の両方に該当する場合、項目は類似していると考えられる。a)ヘッジされるリスクを共有していること、b)ヘッジされるリスクに起因する個々の項目の公正価値の変動は、ヘッジされるリスクに起因するポートフォリオの公正価値の全体の変動におおむね比例すると見込まれること。

日本の会計原則

日本の会計原則では、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益計上されるのと同じの会計期間に損益に計上する。)が適用されるが、その他有価証券については、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に計上するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も計上する。)を適用できる。

日本の会計原則では、リスク要因(金利リスク、為替リスク等)が共通しており、かつ、リスクに対する反応が同一グループ内の個々の資産又は負債との間でほぼ同様である場合に、ポートフォリオに対するヘッジ指定ができる。

金融資産の認識の中止

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

金融資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が消滅し、又は金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。

譲渡においては、報告企業は、資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は資産のキャッシュ・フローの権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けることのいずれかを要求される。譲渡に際して、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスクと経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスクと経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き貸借対照表(財政状態計算書)で認識される。実質的にすべてのリスクと経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。

実質的にすべてのリスクと経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が支配を留保している場合、継続関与の程度に応じて、引続きその資産を認識する。

日本の会計原則

日本の会計原則では、「金融商品に関する会計基準」により、金融資産は金融資産の契約上の権利を行使したとき、権利を喪失したとき、又は権利に対する支配が他に移転したときに認識が中止される。金融資産の契約上の権利に対する支配が他に移転するのは、(a)譲渡された金融資産に対する譲渡人の契約上の権利が譲渡人及びその債権者から法的に隔離され、(b)譲受人が譲渡された金融資産の契約上の権利を直接又は間接に享受でき、(c)譲渡人が譲渡した金融資産を当該金融資産の満期前に買戻す又は償還する権利及び義務を有していない場合である。

(10) リース

IFRS

IFRSでは、IFRS第16号「リース」に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の借手会計処理モデルを適用する。すべてのリース契約（短期リース契約及び原資産が少額であるリース契約を除く）につき、借手の貸借対照表に資産（使用権資産）及び負債が認識される。また当該資産の減価償却費並びにリース債務に係る支払利息は損益計算書に認識される。

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

借手である場合、親会社は、ファイナンス・リースをオペレーティング・リースとして認識する。したがって、当該資産は、リース資産として計上され、減価償却費は損益計算書上の「不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用」に計上される。賃料収入は、損益計算書上の「純利息収益」にリース料として認識される。リース資産は、年金法に従ってリース契約期間にわたり減価償却される。

貸手である場合、親会社はリース期間にわたり、リース料を定額法により費用として認識する。

日本の会計原則

「リース取引に関する会計基準」に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。借手のファイナンス・リース取引は、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件とこれに係る債務をリース資産及びリース債務として貸借対照表に計上する。ただし、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引や、リース期間が1年以内のリース取引などは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行うことができる。

オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。

第7【外国為替相場の推移】

1【当該半期中における月別為替相場の推移】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

月別	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2022年4月	2022年5月	2022年6月
最高	12.83	12.68	13.23	13.57	13.24	13.69
最低	12.24	12.10	11.55	12.98	12.73	13.12
平均	12.56	12.40	12.37	13.21	12.96	13.37

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において
公表されている対顧客電信売買相場の仲値

2【最近日の為替相場】

1スウェーデン・クローネ = 13.19円 (2022年9月21日)

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において
公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第8【提出会社の参考情報】

2022年1月1日以降、本書の提出日までの間に、提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類

2022年6月27日 関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。